

# 演習林年報

1995

東京大学農学部附属演習林  
1996.3

## はじめに

東京大学農学部附属演習林は、1894（明治27）年に千葉県清澄に設立された千葉演習林をはじめとする。したがって、1994年には創立100周年を迎えた。この間、北海道演習林、秩父演習林、愛知演習林、富士演習林、樹芸研究所、田無試験地が順次設立され、現在、本部および7地方演習林によって構成され、総面積3万2千ヘクタールの森林を有している。

過去100年にわたり蓄積されてきた教育研究利用の成果は、きわめて貴重であるが、それぞれの演習林を学生の教育実習ならびに林学・林産学を中心とする研究に最適な試験研究フィールドとして管理運営するためには、演習林所属教官、技官、事務官の協力と不断の努力が必要であった。また、林学・林産学にとどまらず、本学はもとより学外の様々な分野に利用されているのも演習林の特徴のひとつである。一方、東京大学では大学院重点化の方向で新しい大学の再編が図られており、1995年には、演習林も東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻の協力講座（森林生態圏管理学）となって大学院定員（修士7名、博士7名）が認められ、大学院教育研究に正式に携わることとなった。

これまでの蓄積と成果を継承し、新しい研究教育に対応していくためには、まず演習林自ら真摯に実状を検討することが必要であろう。さらに厳しい定員削減や緊縮財政が今後とも続くのであれば、より合理的で適切なシステムを追求する努力も怠ることはできない。そして演習林に対する内外の十分な理解を深めていくことが何よりも重要である。

以上の理由で、本年度より演習林年報を発行することとしたが、年報が演習林に対する理解の一助となり今後の発展につながれば幸甚である。

1996年3月31日

東京大学農学部附属演習林長

熊谷 洋一

# 目次

I	演習林の概要	1
II	演習林の活動	3
1	利用状況	3
(1)	学内実習	3
(2)	学外実習	4
(3)	卒業論文・修士論文等での利用	4
(4)	見学	4
2	教育活動	5
(1)	大学院（講義および演習）	5
(2)	学部講義等	5
(3)	他国公立大学への非常勤講師	5
(4)	受託研究員・研究生等	5
(5)	公開講座・講習会・セミナー・基礎講座・学術講演会	5
(6)	実習	5
3	研究活動 -地方演習林の試験研究課題-	6
(1)	千葉演習林	6
(2)	北海道演習林	8
(3)	秩父演習林	10
(4)	愛知演習林	14
(5)	富士演習林	15
(6)	樹芸研究所	16
(7)	田無試験地	17
4	東京大学農学部附属演習林創設100周年記念行事	18
(1)	記念講演	18
(2)	記念式典	18
(3)	記念祝賀会	19
(4)	参加者名簿	20
5	研修	22
(1)	技官	22
(2)	事務	22
(3)	安全	22

(4) 山火事 .....	22
6 国際交流 .....	23
(1) 国際学術交流協定 .....	23
(2) 国際シンポジウム .....	23
(3) 外国人研究者招聘 .....	23
(4) 外国人研究者の講演会 .....	23
(5) 外国人研究者の来訪 .....	23
(6) 外国出張 .....	23
(7) 共同研究 .....	23
7 出版・広報活動 .....	24
(1) 演習林報告 .....	24
(2) 演習林 .....	24
(3) 著書 .....	24
(4) その他 .....	24
8 科学研究費・受託研究等によって行われた研究 .....	24
(1) 科学研究費 .....	24
(2) 民間等との共同研究 .....	24
(3) 受託研究 .....	24
(4) 奨学寄付金 .....	24
9 各種委員会報告 .....	25
(1) 運営委員会 .....	25
(2) 地方林長会議 .....	25
(3) 補佐会議 .....	25
(4) 演習林会議 .....	25
(5) 将来計画委員会 .....	25
(6) 試験研究計画委員会 .....	26
(7) 演習林編集委員会 .....	26
(8) 組織検討委員会 .....	26
(9) タスクフォース委員会 .....	26
(10) 全演の事務主任会議 .....	26
(11) 技術官等試験研究・研修会議 .....	26
10 学外各種委員会 .....	26
11 試験研究業務 .....	27
(1) 千葉演習林 .....	27
(2) 北海道演習林 .....	28

(3) 秩父演習林 .....	31
(4) 愛知演習林 .....	32
(5) 樹芸研究所 .....	32
1 2 主要設備 .....	34
<b>Ⅲ 資料</b> .....	35
1 利用状況 .....	35
(1) 利用者数 .....	35
(2) 実習等での利用 .....	64
(3) 演習林を利用しておこなった論文等 .....	67
2 教育活動 .....	80
(1) 大学院（講義及び演習） .....	80
(2) 学部講義等 .....	81
(3) 他国公立大学への非常勤講師 .....	81
(4) 公開講座・講習会・セミナー・基礎講座・学術講演会 .....	82
(5) 実習 .....	83
3 研究活動 .....	85
(1) 試験研究課題一覧 .....	85
4 研修 .....	95
(1) 技官 .....	95
(2) 事務 .....	96
(3) 安全 .....	96
(4) 山火事 .....	96
5 国際交流 .....	97
(1) 国際シンポジウム .....	97
(2) 外国人研究者の来訪 .....	98
(3) 外国出張 .....	99
(4) 共同研究 .....	99
6 出版・広報活動 .....	100
(1) 演習林報告 .....	100
(2) 演習林 .....	101
(3) 著書 .....	101
(4) 創設100周年記念関係 .....	101
(5) その他 .....	102
7 科学研究費・受託研究等によって行われた研究 .....	103

(1)	科学研究費 .....	103
(2)	民間等との共同研究 .....	107
(3)	受託研究 .....	107
(4)	奨学寄付金 .....	107
8	学外各種委員会 .....	108
9	業務関係 .....	110
(1)	林相別面積集計表 .....	110
(2)	林相別蓄積集計表 .....	110
(3)	1994年度 立木伐採量 .....	111
(4)	1994年度 育林実行量 .....	112
(5)	1994年度 植栽樹種 .....	112
(6)	1994年度 素材生産総括表 .....	113
(7)	1994年度 土木実行総括表 .....	114
(8)	道路現況 .....	114
(9)	防火線現況 .....	114
10	事務関係 .....	115
(1)	人事異動 .....	115
(2)	歳入総括表 .....	119
(3)	産物売払数量及び価格 .....	120
(4)	歳出総括表 .....	120
(5)	歴代林長及び演習林機構図 .....	121
11	年間行事表 .....	135
12	教職員の写真 .....	137

# I 演習林の概要

1890年に、東京農林学校は帝国大学に併合されて農科大学となり、1894年にはその附属施設として初めて大学演習林が房総半島の東南部に位置する清澄に設けられた。これが、今日の東京大学千葉演習林である。引き続いて、地域の生態的条件、教育研究目的に応じて、北海道演習林（1899）、秩父演習林（1916）、愛知演習林（1922）、富士演習林（1925）、樹芸研究所（1943）、田無試験地（1929）が設置された。現在、当演習林にはこれら7つの地方演習林と本部から構成されている。

千葉演習林は暖帯林及び中間温帯林に位置し、その面積は約2,200ha、スギ、ヒノキ、マツなどの主要林木の育成技術と持続的森林施業に関する試験を100年にわたって実施してきた。また、モミヤツガ、広葉樹からなる天然林を有し、これらの試験研究、貴重な天然資源は学内外の様々な分野の研究・教育に多大の貢献をしている。また、近年では、自然史や立地生態系に関連した調査、研究が幅広く行われている。

北海道演習林は亜寒帯に位置し、その面積は約23,000ha、択伐林施業の実証的かつ理論的研究を通じて林学ならびに北方林業の発展に寄与してきた。特に1958年以降、北方地域の森林の持つ環境保全機能と木材生産機能との調和を図る森林施業実験（林分施業法）が行われ、その成果は国の内外から高い評価を受け、その創始者・指導者である元林長：高橋延清氏はエディンバラ公賞を受賞している。各種の学術林が造成され、また奥地天然林には11,000haに及ぶ鳥獣保護区が設けられ、北海道の森林動植物に関する各種の調査・研究に利用されている。遺伝資源・生物資源の宝庫として世界的に貴重なフィールドである。

秩父演習林は温帯に位置し、その面積は約6,000haである。その山谷は険しく、森林環境は変化に富み、生物相もきわめて多様である。また、大面積にわたる貴重な原生林を対象に森林生態系に関する調査・研究が数多く行われている。また、育苗・育林技術、天然林の更新、中部山岳林の施業法などに関する研究も行われている。そのような多様な森林を背景に、当演習林は森林植物学、森林動物学、森林土壌学、森林利用学、森林土木学など多くの実習教育の場となっている。

一方、愛知、富士、樹芸、田無の演習林は、主に林学個々の専門領域に対応した特別な研究・教材林として設置されている。

愛知演習林では、低生産性林地を対象として森林水文ならびにせき悪地の造林法に関する研究が主に行われている。森林水文に関する60年余にわたる量水観測は、わが国における土壤保全、水文研究の科学的、技術的発展に重要な役割をはたしてきた。さらに、今日では、河川の不安定化、洪水の増大などで苦しんでいる熱帯地域への国際協力の面でその貢献が期待されている。

富士演習林は富士山麓山中湖畔に位置し、森林の保健休養機能を中心的課題としている。

樹芸研究所は南伊豆温暖の地にあり、特用樹木に関する基礎研究とその林地適応試験が実施されている。

田無試験地においては、造林学、森林植物学、森林動物学などの生物系諸分野の圃場実験、室内実

験などが行われている。

事務部、研究部からなる演習林本部は弥生キャンパス農学部に設置されており、各地方演習林を有機的に結びつける役割を担っている。

事務部は、庶務、会計、管財、用度の4掛からなり、全演習林の予算、人事、財務などを統括している。

研究部は約5名の教官を擁し、演習林全体の試験研究計画の円滑な実行を支援・統括する役割を担っている。また、全演習林にまたがる総合的なプロジェクト研究の立案と実行、林学その他学科、他分野との共同研究を推進する企画・調整機能を有するとともに、各教官はそれぞれの専門において独自の研究を進めている。一方、「演習林報告」及び「演習林」の発行、林学関係雑誌の受け入れによる図書館機能、各演習林における気象観測結果のとりまとめと公表、演習林の各種基本データのデータベース化とその提供などの業務が行われている。現在、インターネットに接続されたネットワークシステムが導入され、各地方演習林を結ぶ枢軸としての研究部の情報機能が一層大きくなっている。

## Ⅱ 演習林の活動

### 1 利用状況

本演習林では演習林の利用状況を把握するために、利用団体・利用目的を問わず、演習林を利用するものに対して「演習林利用申込書」の提出を義務づけている。この申込書により

利用演習林名

利用代表者所属機関・部局（学科・研究室）・職

利用の目的（又は研究課題）

利用期間

利用人数

を知ることが出来る。以下ではこの申込書をもとにして、主に利用者の属性及び利用目的に注目して今年度の演習林利用状況をまとめてみた。利用者の属性は本学関係者、他大学・研究機関等の教育研究機関、そしてその他一般利用者の3つに分類した。また、利用目的も同様に、論文をはじめとする研究、実習や実験等の教育、林内見学等のその他に3分類した。

表1 演習林利用状況（1994年度）

属性\目的	研 究	教 育	その他	合 計
学 内	642	707	429	1,778
学 外 (研究・教育機関)	560	1,003	93	1,656
その他	100	263	9,525	9,888
合 計	1,302	1,973	10,047	13,322

1994年度は13,322人の利用があった。利用者の属性の内訳は本学関係者1,778人、他教育研究機関1,656人、その他9,888人となっており、圧倒的にその他の利用者が多い。また、利用目的は、研究1,302人、教育1,973人、その他10,047人となっており、利用者属性でその他が多かったことを反映している。演習林利用の大部分は一般市民による自然観察・林内見学などによってしめられていると言えよう。なお、利用日数と利用人数とを掛け合わせた延べ利用人数は22,837人となり、平均すると演習林利用1回当たり1日以上利用していることがわかる。

#### (1) 学内実習

本学の実習・森林体験セミナーなどで演習林を利用した人数は707人であった。本学に近い千葉演習林・秩父演習林での利用が多かった。主に林学科の実習によって利用されているが、農業生物学科・林産学科・獣医学科などの学部内はもちろん、理学系研究科地質学専攻・理学部植物学科・工学部産業機械学科・工学部土木工学科・教養学部など様々な学部により利用されている。

## (2) 学外実習

学外団体の実習での利用は1,003人を数えた。この中には、植物観察や自然観察学習・林内見学なども含めて数えている。こうした観察や見学も実習と同様に森林生態や林業の実態に関する教育効果があると考えている。なお、学外団体は小中学校を含めずに高校・短期大学以上の研究教育機関とした。

主な利用団体は大学であり、理学部・農学部などの理系部門による利用がほとんどを占めている。従って、利用目的も「植物観察」や「地質調査」、「林内見学」の他、実習がほとんどであるが、「比較農学を学ぶ学生たちとともに暖地型の森林と農業事情の研修」と言う目的もあった。実習の他こうした見学・観察も含めたために、学外実習利用者は学内のそれを上回る結果となった。

利用団体の地域的な広がりを見ると、各演習林の近辺の大学・短大が多いが、四国・九州・沖縄など遠方からの利用もあった。

## (3) 卒業論文・修士論文等での利用

卒業論文・修士論文をはじめとする研究及び調査での利用は学内642名、学外560名、その他100名のあわせて1,302名となった。具体的な論文名等は後の「Ⅲ 資料」の項にまとめてある。

研究分野も利用学部は農学部・理学部・工学部が中心となっている。具体的なテーマとしては、地質学として「流水による岩盤浸食」、生態学として「伐採地における草本の二次遷移」、また森林に限らず河川に着目したものとして「イワナ属種の生態調査」、「魚類・水生昆虫の分布及び生態調査」といったテーマもあった。こうした調査研究での利用には大学や研究機関だけに限らず、企業の利用もみられた。「国産材活用のための基礎的研究」、「森林経営学についての視察」といったテーマがそれぞれある。

## (4) 見学

自然観察会なども含め、利用目的で見学（「その他」）が最も多く、学内はもとより学外及び地域の人々に広く利用されている。

## 2 教育活動

### (1) 大学院（講義および演習）

演習林所属の教官のうち教授、助教授、講師は全員農学生命科学系研究科林学専攻の担当となっており、林学特別演習・特別実験などを通じ博士課程・修士課程の学生の論文指導等に当たっている。また、演習林の教官が直接大学院学生の指導教官となっていない場合でも、現地演習林における大学院学生の研究については、ほとんどすべてのケースで直接、間接に指導をおこなっている。

### (2) 学部講義等

演習林教官はそれぞれの専門分野に応じ、主として林学科学生を対象とした農学部の講義科目を担当している他、教養学部における総合科目等、演習林が独自に開講する森林科学に関する講義も行っている。また、林産学科の学生を主な対象とした林学汎論を演習林教官が分担して開講している。

### (3) 他国公立大学への非常勤講師

演習林教官の一部は、千葉大学、東京都立大学、東京農工大学など関東近辺の大学を中心に他大学の非常勤講師を併任している。併任先学部は、園芸学部・理学部・農学部・生物資源学部等多岐に渡っている。

### (4) 受託研究員・研究生等

演習林研究部において埼玉県茶業試験場から受託研究員1名を受け入れた。

### (5) 公開講座・講習会・セミナー・基礎講座・学術講演会

一般を対象とした自然観察、記念植樹、森林体験セミナーや、研究者・技術者を対象とした講座等を演習林主催により各地方演習林で9件開催した他、東京電力の主催による自然観察会（TEPCOペアウォッチングIN亀山）が千葉演習林で行われた。

### (6) 実習

本学林学科・林産学科の実習・実験の大部分が演習林を利用して行われている他、他学部、他大学の実習・実験も多数行われている。実習は学科の教官が担当する科目であっても、現地演習林の教官が直接に関与する場合はほとんどである。また、実習・実験の準備および現場の作業には多数の演習林技官がこれに当たっている。

### 3 研究活動 -地方演習林の試験研究課題-

#### (1) 千葉演習林

千葉演習林は日本の林学の先駆者的な存在で、創立以来、林学の研究教育の場として管理・運営されてきた。その地理的条件から暖温帯林についての研究教育、特にスギ、ヒノキを主とした人工林の施業に関する試験研究が活発に行われてきた。創立以来数多くの試験林が林内各所に設定されてきたが、これらに関しても造林及び森林経理に関した試験研究が多い。そのうち一部は現在でも主要な研究課題として継続されている。また演習林内各所に天然生林保護林、風致林、樹木園、見本林など数々の学術参考林が設定されているが、その管理も試験研究業績の重要な一部門として考えている。さらに1929年に標本館が設置され、数多くの標本、資料が展示保管されている。これらも林業・林学の研究教育に広く利用されている。

#### i 森林生態系の構造・動態の解明と保全

- ・千葉演習林内のモミ・ツガ天然林、広葉樹天然林の種構成におよぼすニホンジカの影響については、ニホンジカの分布域の拡大及び生息数の増加に伴い食害等による影響が天然林の下層植生に出始めているので、その実態を調査することを目的としている。
- ・当地域におけるヤマビルの生態を明らかにし、大量発生要因を解明する。その結果を被害防除対策のための基礎とする。
- ・森林における土壌表面、リター内、表層土壌内に生息する大型土壌動物の生態を研究することにより、それらの動物類が森林内で果たす機能を把握する。
- ・マツ枯れ等で貴重種となった房総地方のヒメコマツの天然更新を行うため基礎実験を行う。

#### ii 森林の公益的機能の解析と維持増強技術の高度化

- ・袋山沢に量水堰堤を設定し森林の小流域水収支を観測する。

#### iii 人工林の最適管理技術

- ・スギ・ヒノキ成長測定試験を行う。本試験地は1916年に設定され、5年毎に樹高、胸高直径の測定が現在まで75年間継続されている。
- ・環境の相違がヒノキ挿木苗の季節的成長に与える影響をヒノキクローン幼樹を用いて調べている。
- ・スギ・ヒノキ造林地の管理と造林木の成長を調査研究するべく、造林地において下刈・除伐・蔓切りに関する基礎的研究を行っている。
- ・スギ・ヒノキ皆伐跡地の各種地拵え法の工程と苗木の成長比較を実験している。
- ・ヒノキ実生苗と挿木苗の成長比較と育成上の諸技術に関する検討資料を得るべくスギ・ヒノキの施業を行っている。またヒノキ天然生稚樹の成長についても調べている。

- ・皆伐及び間伐前後における林床植生についての生態学的検討を行う。
- ・スギ・ヒノキ高齢林の地位地形等の環境条件と成長経過を明らかにし高齢林の間伐等の基礎資料を得る。
- ・複層林造成後の下木は林内の明るさに大きく影響を受ける。本研究では林内の光条件と立地条件等の解析を行い、スギ・ヒノキの複層林造成のための基礎資料を得る。

#### iv 各種森林被害の発生機構の解明と防止

- ・マツ枯れの要因であるマツノザイセンチュウ病に対する抵抗性母樹の選抜は終了し、この抵抗性母樹を接木、交配等を行い苗木の増産を行う。
- ・苗畑害虫とくに根切り虫の発生により苗木に被害が多く生じている。この成虫時の駆除を行うため誘因剤、トラップを設定し捕獲しその生態を調査する。
- ・山地崩壊跡地の植生回復に関する生態的資料を得ることを目的とし、調査する。

#### v 林業の機械化と省力的作業体系の確立

- ・急峻で複雑な千葉演習林の地形に各種の林業機械を導入し作業能率等の資料収集を行う。
- ・高齢林の利用間伐を実施する場合、伐倒、搬出による残存立木に損傷が生じる。この損傷を最小限度にするために間伐方法、搬出実験を行う。

#### vi 学術参考林および標本館

##### 1) 浅間山原生林 (41林班A小班, 面積3.32 h a)

本林は森林植物帯研究上暖帯林として好個の標本である。この山は地方の信仰により古来より人為の加えられる事無く、1897年演習林に編入後も禁伐林として保存されてきたため固有の林相を保っている。

##### 2) 独鈷山天然林 (42林班A小班, 面積2.11 h a)

暖帯特に房総地方の樹木に関し学術的観察の用に供するため1920年1月に天然植物園に指定された。演習林編入後は風致禁伐林として取り扱われてきた。

##### 3) 堂沢風致林 (27林班A 1小班, 面積9.12 h a)

演習林編入後本林分は中林の見本として保護を加えている。

##### 4) 特別天然保護区

清澄山系は房総丘陵に残された自然が最も豊かな地域であるため、南房総国定公園、養老溪谷奥清澄県立自然公園として特別自然保護区域に指定されている。

##### 5) 標本館

1929年に建設され現在まで60有余年林業林学の貴重な標本、資料が展示公開されてきた。主な展示品等は次の通りである。

表2 主な展示品等

品名	点数	品名	点数
植物さく葉標本	4,000	材幹標本	400
木炭標本	204	炭窯模型	10
種子標本	200	清澄建具	6
民芸品	30	動物の剥製	4
ニホンジカの角	50	鮎物標本	280
各種林業器具	194	昆虫標本	10

## vii 気象観測

本演習林のある房総半島南部は一般的に海洋性気候で、温暖多雨である。気象観測は4カ所で行っており森林の気象災害の解明、さらに卒論、修論、博論そのほか各研究上の資料として多大な貢献をしている。気象観測所の概要は次の通りである。

表3 気象観測所の概要

場所	標高(m)	経緯度	
天津観測所	15	140度9分E	35度7分N
清澄観測所	300	140度9分E	35度9分N
札幌観測所	206	140度9分E	35度12分N
郷台観測所	221	140度7分E	35度12分N

## (2) 北海道演習林

これまでに実施してきた重点的研究課題は、林分施業法の実験、人工林育成技術の究明、林木育種の研究、森林環境の保全等である。

これらの研究は更に内容を整備して継続することとし、演習林内外の状況を勘案した上で新たに次の研究課題を加える。

即ち、風害地の森林形成過程に関する研究、遺伝子資源の保安全管理と利用に関する研究、流域管理に関する基礎研究がそれである。

以上の研究課題について従来の試験研究の成果を踏まえて、以下の重点項目に整序して行うものとする。

## i 林分施業法のシステム化に関する研究

1958年より天然林を対象にして、経験的かつ実証的に進めてきた林分施業法の実験は、1/3世紀を経過した段階において総体的に天然林の改良は進み、加えて経済的にも大きな成果を挙げて、北海道の天然林施業に取り入れられつつある。

実験開始以来社会・経済的情勢はかなり変貌しているが、本施業法は基本的には大きく変更する

ことなく、施業組織・施業仕組みを修正しつつ対応して進めてきたが、1981年以後は台風被害木処理のため、一時実験を中止せざるをえなくなった。しかしその整理を終了した現段階に於いて、本施業法を更に発展させ広く普遍化させるためには、これまでの成果を踏まえつつ、現在未解決の諸問題、即ち森林の発展の裏付けになる森林生態系の解明・森林構造と生産力の定量化・天然更新の技術開発と方式（林道網と伐木集運材技術）・木材の付加価値形成に関する問題等の解決と、更にこれらを統合した最適施業法の確立と、その管理体系のシステム化について理論的・実践的な開発研究を行う。

## ii 遺伝子資源の保全管理と利用に関する研究

近年、地球的規模で自然破壊の悪化が深刻な問題としてとりざたされ、現に数多くの生物種が絶滅し、あるいは絶滅の危機に直面している。就中、森林資源の減少は国際的関心の的となり、森林資源の保全・育成に積極的に対応する必要に迫られている。ここに林木の遺伝子資源の保全が今日的重要課題となっている。

本演では1952年に林木育種の研究が開始され、本道に適する遺伝的に優良な造林樹種の育成と基礎研究が行われている。これまではカラマツ属の交雑育種に関する研究が重点的に行なわれ、その成果は北海道におけるダフリカ系カラマツ各変種とニホンカラマツとの雑種育成の基礎になっている。

一方、北米・北欧・北アジア諸国の林木育種研究機関との交換によって、北方系樹種系統の材料収集に努め、これら系統保存・試植および産地試験など、前記雑種検定林とあわせて約100haの試験地が造成され、生育適応性の試験が長期的に行われているとともに、外来樹種の導入と関連して、1905年より現在までに約300種におよぶ木本植物が樹木園・見本林に展示されている。また、林分施業法の展開過程において、原生林や1・2度伐採の加わった天然林約1,300haを保存林として自生種の保全をはかってきた。更に遺伝形質の優れたものを保存木とし、広葉樹の優良形質木とともに現在約3,500本を登録しているなど林木の優良遺伝子群の確保に努めてきた。

本案ではこれら実績・成果を基盤として、従来の林木育種研究領域を拡大強化して、北方地域における遺伝子資源の保全・研究のセンターとして、位置付け、これまでの研究を継続するとともに天然林の遺伝子育種に関する課題として天然樹種の生態遺伝学的特性を解明し、優良遺伝子群を更新し、植栽試験地・見本林等を造成する。また林内生物全般にわたる生息環境の保全・保護に関する研究も行う。

## iii 風害地の森林形成過程に関する研究

1981年に北海道を襲った台風15号は、本演習林にかつてない大被害をもたらし、被害面積8,735ha、被害材積81万 $m^3$ にも達した。そして、多くの試験地が壊滅するとともに、広大な無立木地が生じた。

風害木の処理がほぼ完了した現在、風害跡地の復旧造林が緊急の課題となっている。被害地のほとんどが奥地天然林に属しているため、天然林形成過程という科学的重要なかつ稀にしか遭遇しない

現象を研究課題として積極的に取り組む必要がある。

具体的には植生遷移・立地と天然更新状況・森林形成過程における動物相の変化・菌類の動向・水収支等を主題とする。

#### iv 人工林育成技術と施業法に関する研究

人工林育成技術に関する問題究明のため、1955年より特別試験林として主要造林樹種の生育適応試験・針広混交林造成試験・林地肥培等を目的とした植栽地190haが設定され、植栽樹種約130種に及んでいる。一方、施業実験林では1908年以降、今日まで現存する人工林が3,200haに達している。今後は各種人工林の育林体系の確立を図ることが重要である。

特に間伐期に到達した各種人工林が多いことから、間伐の実行システムの開発が急務である。また今後の人工林造成にあたって、地拵・下刈・つる切・除伐の省力化、林内更新法等の問題も重要課題として取り組むこととする。

#### v 流域管理に関する基礎的研究

本演習林は、北海道の重要河川である石狩川の支流最上流部に位置し、かつ、北海道の中心部を占める地帯に属する。

今後北海道における水資源の需要は益々増加していくものと思われ、それと同時に洪水災害や水保全の立場から森林の水文的機能に対する期待度も大きくなっていくものと思われる。

水文観測は、1983年より暫定的に実施してきたが、社会的には本道の中心部という重要な位置を占めていることと、科学的には寒冷多雪地における火山灰堆積地帯の水の季節的変動を解明する意味において、山体－森林、相互の関連を解析し、流出過程を究明することが重要な課題である。

この水文観測を長期的に実施し、北海道における水文問題解明の基礎資料としての意義をもって、研究を継続する。

以上、北演の基幹的研究として取り組むべき重要課題について述べた。この外、従来から森林保護学の一分野である森林昆虫・動物の研究が1956年より行われ、これまで食葉性害虫・野鼠の食害・クマゲラの生活史等に関する研究が進められてきた。

また、森林病理に関する研究が1958年より始められ、天然林・人工林の多数の内・外国産樹種の病原菌の究明に関する研究を行っている。

更に1977年より演習林を含む農山村地帯の就業構造と農林業の労働力市場の分析に関する研究を行っている。

これら各研究は前記主要試験研究と関連し、または個別的専門研究としてきた。

今後これら各研究は継続して行う。

### (3) 秩父演習林

近年、森林の効用に関して林産物供給資源としてだけでなく、人類の生存に必要な環境資源

であるという認識が急速に高まりつつある。当演習林における試験研究はこれまで林業生産技術の高度化に関する研究を重点的に進めてきたが、今後は環境保全、保健休養林など森林の公益的機能の高度発揮に関する研究もいっそう充実させる必要がある。

また、演習林内を通過する国道140号の供用開始が近づいており、改修工事が周辺の自然環境及び地域社会に与える影響についての調査研究は、演習林の主要研究課題として継続する。

#### i 気象観測・水文観測

##### ・気象観測

気象は、森林被害の攪乱要因として、また、動物植物の分布・季節現象や成長の要因として重要な環境要素である。とくに広い標高域を有する当演習林では、標高・地形等により気象条件が異なるため、林内各所で気温・湿度・降水量等の気象観測を行う必要がある。特に、高標高域の気象資料は不足している。

気象観測を9地点で実施した(表-1)。

表-4 気象観測地点

観測地点	標高(m)	地形	周辺植生	観測項目	開始年
栃本	770	南斜面	スギ人工林	気温、地温、湿度、降水量	1929
大血川	520	北斜面	スギ人工林	気温、湿度、降水量	1932
影森	240	平地	苗畑	気温、湿度、降水量	1956
滑沢	1,140	南西斜面	カラマツ人工林	気温、湿度	1959
突出峠	1,630	尾根	針広混交林	気温、湿度、降水量	1984
矢竹沢	1,050	南斜面	マツ類人工林	気温、湿度	1980
甲武信岳*	2,460	山頂	シラベ林	気温	1991
雁坂峠*	2,070	鞍部	草地	気温	1990
ダルマ坂*	1,970	尾根	シラベ林	気温	1990

\*：演習林外

##### ・水文観測

当演習林は荒川源流域の主要部分を占め、しかも首都から100km圏内に位置する点で、森林の水源かん養・水質浄化機能等、水資源と森林の関わりについての解明は単に水文学的研究にとどまらず、社会的にも重要な意味を持つものである。

演習林内の異なる流域における流出特性の解明を目的として、堰堤で量水観測を実施した(表-2)。この観測により、林況・地況の異なる流域での流出量を比較し、森林の保水力を推定する。

表-5 水文観測地点

観測地点	標高(m)	流域面積(km <sup>2</sup> )	形状係数*	観測項目	開始年
大血川東谷	770	5.0	1.03	流量	1989
栃本矢竹沢	940	2.5	0.73	流量、水量	1989
滝川久渡の沢	680	2.3	0.50	流量、水量	1990

\*：ホールトンの形状係数

## ii 試験林 -人工林の成長測定-

森林資源の多目的有効利用と生産性の向上、さらに大径材・高品質用材の生産が、今後の林業の重要課題である。造林地の地力の維持を図りながら、それぞれの生産目標に応じたより価値の高い安定した森林を育成管理していくための育林技術の確立を目指している。

### 1)成長試験

秩父山地における人工林施業の基礎資料を得ることを目的とし、齢級別に0.05ha程度の標準地で、5年毎に立木の胸高直径と樹高を測定している。29林班の64年生ヒノキ・サワラ人工林で7～10回目の測定を実施した。また、29林班い1のスギ・ヒノキ・サワラの伐採木について、収穫表を調整のための樹幹形を測定した。

### 2)間伐試験

29林班い1のスギ・ヒノキ・サワラ林で間伐試験区を設定した。設定目的は、最適間伐方法の検討である。

## iii 育林、育苗に関する研究

当演習林には、ケヤキ、シオジ等の有用広葉樹の造林地があるが、今後はこれら造林地における個々の林木の形質、林分構造の解析、大径優良材生産を目指した育林作業を実施し、その後の成長経過を解析することによって広葉樹育林技術の基礎資料を得る。

また、複層林施業については、技術面に問題点はあるが、保育作業の省力化や森林の公益的機能の恒常的発展が望めること等について利点も多い。そこで、一部の林分を複層林に転換し、上層木の間伐率と林床の光環境と下木の成長及び林床植生の変化などについて調査を行い、複層林施業の利点を十分発揮させるための基礎資料を得る。

### ・ケヤキ人工林の成長経過

1林班と29林班のケヤキ人工林で、1991年よりリタートラップを、1993年より成長バンドを設置し調査を行っている。ケヤキ人工林は長伐期大径材生産と風致林造成を目的に設定され、更新・保育方法の確立をめざして測定している。

### ・複層林試験地の設置

1林班と29林班で複層林の試験地を設定した。1林班はスギ人工林を間伐しスギの2段林の複層林とした。29林班はサワラ人工林を間伐しスギ・ヒノキを植栽し2段林とした。

#### iv 立地、生態系に関する研究

当演習林は多様な自然環境を有しているが、これを最大限に活用し森林の多面的な機能を十分発揮させるために、生物学的な視点から種々の専門分野の研究者による多面的・総合的研究を通して森林生態系の構造と機能を解明することが、本研究の基本となる。

##### ・イヌブナ天然林の更新

イヌブナの萌芽更新と実生更新の実態を明らかにする。さらに、冷温帯天然林において更新法の違いにより空間を占めるプロセスの差を明らかにする。28林班

##### ・主要森林害虫の生態と防除

穿孔虫類の生態および個体数の変動について定期的に調査を行い、それらの防除方法の研究を行った。

##### ・鳥類群集の研究

演習林周辺の鳥類群集の目視観察およびさえずりの録音によるセンサスを行った。  
演習林および周辺地域

##### ・コゲラの分布と生態

コゲラの分布とその生態について調査を行った。演習林および関東周辺

##### ・奥秩父における植物季節観測

特に、産地の異なるブナの開芽・紅葉の時期の違いを明らかにする。27林班、29林班

##### ・天然ヒノキ林の生態遺伝学的研究

演習林内に生立するヒノキ天然林の遺伝特徴を明らかにし、遺伝子資源としての保全を図るための基礎資料とするため遺伝的解析を行った。17林班、29林班

##### ・大面積調査地

天然林の成立を明らかにする。地形の違いによる樹種の分布様式・樹種ごとの径級分布などを明らかにする。27林班、28林班

##### ・秩父演習林の昆虫相

##### ・奥秩父地域のオサムシ類の生活史および分布

オサムシ類のとくに標高と林相との関連について調査を行った。1林班、28林班、29林班

##### ・自生種の天然分布と保存

##### ・秩父山地天然林の更新に関する基礎的研究

秩父山地天然林において成長解析ならびに林分構造について調査を行った。11林班、23林班、27林班、28林班

#### v 林政、経理、利用

近年、森林に対する社会的要請が大きく変化し、また多様化するなかで、とくにその多面的機能の発揮がもとめられている。国産材の価格の低迷、山村における林業後継者・労働力の不足等わが国の林業の今後のあり方が大きな問題となっている今日、資源と環境の両面からバランスのとれた

森林の取扱が重視される時代に至った。

従来は、原生林の択伐施業を含めて輪伐期を約30～40年にする想定で、植林、保育、伐採作業が行われてきたが、木材需給および、伐採・搬出に係わる林道設備の遅れなどの現状に鑑み、今期は、より長伐期の大径木生産施業への移行をめざした作業の見直しを行う。また、今後は、保育・伐採作業計画に対応した林道配置・密度の最適化、伐採木の販売経路・利用目的等の追跡（市場）調査も実施する。

・森林の管理システムに関する研究

森林現況簿・造林原簿などの各種森林管理資料の、データベース化を行った。

・車両系林業機械の不整地走行に関する実車実験

当演習林は、近年集材機付き軽車両機械の充実を目指して逐次整備されつつあり、各種作業の実験を行った。29林班

・林道規格と開設単価

施工方法について、技術的な改良を加えながら試験研究計画の主旨に適合したかたちで距離・幅員・構造物等の検討を行った。入川林道

#### (4) 愛知演習林

##### i 森林水文に関する試験研究

試験流域の量水観測成果は、気象要素とともに観測以来70年の資料が蓄積され、きわめて貴重な学術的価値を有している。現在のところ、量水観測は降雨－流出系の観測態勢であり、その種の研究が中心となっている。今後は、この貴重な森林量水試験の蓄積を継続発展させ、降雨遮断・蒸発散・斜面流出等の水文素過程別の研究とあわせて、水源かん養機能のメカニズムを解明することを目標としている。

量水観測は流域の森林成長と同時並行的に継続観測されることが学術的に貴重である。しかし、過去にさかのぼって森林の成長過程を数量的に追跡する方法論が確立されていないことで、森林状態と雨水流出との関連づけが未だ充分に行われておらず、今後の研究テーマの一つである。

犬山地区では斜面ライシメータで集中的な素過程別収支観測が行われ、山地における水循環機構を詳解するための予備的研究が進められている。この研究は将来、小流域レベルに拡張されることを前提とした研究であり、降雨－流出系の制約にとらわれない研究手法である。

蒸発散の直接測定が可能となり、これと組み合わせて森林微気象、樹幹流、降水遮断の研究が赤津でも進展しつつあり、物質循環と水循環の関係の観測・解析と同様に森林生態学と水文学を結びつけた研究が計画されている。

##### ii 山地保全に関する試験研究

荒廃地復旧の研究も重要テーマであり、これまで大きなエネルギーを投入してきた。犬山地区の山林荒廃はとくに激しく、沢沿いの低地にわずかな緑が認められる程度であったと言われている。

しかし1950年来の砂防造林の結果、緑は復活し、当時の荒廃山地の面影は全くない。降雨時の出水も安定し、溜池の農業用水も涸れることはなくなった。まさに名古屋市、犬山市の都市近郊林としての保全・環境保護機能を十分果たしている。

これらの地区の今後の研究課題は、植栽した樹木の生育、裸地斜面の水文特性、地中水の移動と崩壊との関係、山腹緑化工の効果、緑化樹種などに関する研究である。

### iii 痩せ地における森林造成に関する試験研究

森林の環境保全機能（水源かん養、洪水防止、保健休養等）を維持しつつ木材生産を行う森林施業法を確立することも、愛知演習林における試験研究の重要な柱である。

天然生林については、1968年からモザイク状皆伐更新法試験（沢を中心に左右交互0.1haを上限に伐採、植栽）を実施している。これは、一斉皆伐に比較して、土壌の保全、あるいは動植物への影響の軽減、台風等気象災害の防止等、有効と考えられる。

人工林においては、間伐法を変えたスギ、ヒノキの総収穫量の比較試験、植栽密度を変えたヒノキ林の生産量の比較試験、恒続的収穫と森林の公益的機能の発揮を両立させる複層林造成試験、成長が劣る林地における肥培効果の比較試験等を行っている。

### iv 都市近郊林に関する研究

愛知演習林は立地条件から、東海都市圏をとりまくグリーンベルト地帯にあるので、森林の多元的機能の解明を目的とする研究実験林としての位置づけを明確にし、都市近郊林・環境林に関する自然科学、社会科学を複合する総合的研究が始まろうとしている。

計画段階の項目が多いが、具体的には、都市部と森林との相互作用を水・大気・土壌を媒介として測る自然科学的研究、都市住民あるいは都市部・農村部の作業活動に及ぼす森林環境の機能評価に関する社会科学的研究、森林生態系を保持しながら都市公園的機能を有する森林域の造成実験及びそれに関する各種の試験研究があげられる。

### v 森林水文・環境に関わる森林システムの方法論的研究

森林水文、山地保全、環境林、痩せ地造林、社会科学的問題の各研究を総括して、流域管理の方法論を確立する。

## (5) 富士演習林

富士演習林は、わが国の代表的なリゾート地にあるため、森林レクリエーション計画、快適環境の維持、景観管理および森林風致施業手法の確立に関する研究を最近の課題としてとりあげている。また、寒地性気候下における森林育成に関する課題をとりあげ、カラマツを中心に寒地性樹種の育苗、育林、林地肥培等に関する研究が継続されている。

## (6) 樹芸研究所

### i 熱帯・亜熱帯産樹木の増殖・管理・利用に関する研究

温室施設を利用し、造林学研究室と共同で、フタバガキ科樹木の生育条件、生理特性に関する調査研究を進め、熱帯産アカシア属を中心に、酸性土壌に対する生理特性に関する研究を行っている。さらに、温室に導入した熱帯・亜熱帯産樹木について、組織培養による優良個体のクローン増殖、種苗の迅速・大量生産技術の確立を計る。なお、これらの研究は大学院生の研究テーマにもなっている。

また、熱帯・亜熱帯産樹木を温泉熱を利用した温室へ導入して、温室施設内における管理方法を検討し、遺伝子資源の現地外保存に努める。

### ii 資源樹木としてのアカシア属・ユーカリ属の造林学的基礎研究

アカシア属・ユーカリ属の導入可能な樹種を選抜するため、現地適応試験を実施する。ある程度可能性のある樹種について、各地に適応試験地を設定し、導入可能地域を明らかにする。そして、アカシア属・ユーカリ属の現地適応試験地において、優良形質個体の選抜を行い、組織培養、さし木、取り木などのクローン増殖方法を検討する。

また、ユーカリ属の育苗において、ポットの材料、形状が根系に及ぼす影響について調査する。

### iii 針葉樹の人工林に関する研究

針葉樹人工林に固定標準地を設定し、経年的に成長経過を測定するとともに樹幹解析などにより、伊豆半島南部の針葉樹人工林の成長量を推定する。

スギ、ヒノキを中心に、枝打ち、除間伐について、省労力化、作業危険性の回避、材の有効利用を加味した保育管理方法を検討する。

スギの地方品種、ヒノキの採種母樹林別、マツの地方品種・母樹別材料により、選抜育種、交雑育種の研究を行う。

スギ、ヒノキ人工林を広葉樹との二段林に誘導することによって、長伐期大径材の生産と、特用広葉樹導入、混交林による林分の健全化について検討する。

ヒノキの母樹林から育成した実生集団、実生集団から育成したさし木集団、これらの育成過程における遺伝的変化を調査研究する。なお、この研究は大学院生の研究テーマにもなっている。

### iv 環境・資源保全林の造成に関する研究

クスノキ林を中心とした暖帯広葉樹林の非皆伐更新に関する環境条件（林分構造、種子の生産、種子の発芽、稚樹の成長など）について調査研究する。

地理情報システムを活用した調査により、伊豆半島を中心にして、優良形質木の存在位置を確認登録する。

その他、ブナの樹木フェノロジーに関する研究を進めている

#### v 樹木園造成に関する研究

設立以来導入した植物を中心に、保存樹木の生育状況、適応性の調査を行い、データベースに登録する。それについては地理情報システムを活用することを考えている。また、森林教育に寄与するための展示用樹木園、温室等の造成、整備方法について検討する。

#### (7) 田無試験地

##### i 暖帯二次林の植生遷移に関する研究

武蔵野台地のほぼ中央部（暖帯－常緑広葉樹林）に位置する当地には、1975年以来、林床管理を中止した二次林（アカマツ－コナラ林）と、同タイプの二次林を1970年皆伐後放置区として設定した再生二次林が存在する。これらの2林分について、その後の植生遷移について、特に潜在植生との関連に注目しつつ、継続的な解析、調査が行われている。

##### ii 松くい虫の被害動態及び防除法に関する研究

本試験地に点在する主林木であるアカマツ（70-90年生）林に、1989年より発生した松くい虫による被害動態を追跡し、さらに、樹幹注入剤等による同虫の防除試験も継続的に行われている。

##### iii 改良ポプラに関する研究

1950年頃に導入された約100種の改良ポプラは、現在では約半分に減少したものの全国的に貴重なものであり、そのクローン保存をかねて、成長試験等を行っている。

## 4 東京大学農学部附属演習林創設100周年記念行事

明治27（1894）年に創立された東京大学演習林は、平成6（1994）年に100周年を迎え、以下の記念講演及び記念式典、祝賀会を記念事業の一環として執り行った。

### (1) 記念講演

日時 1994年11月25日（金） 15:00-16:20

場所 東京大学山上会館 大会議室

講演内容及び講演者

「林学の教育研究と演習林」	東京大学名誉教授	嶺 一三
「地球環境と森林問題」	元林野庁長官	小沢 普照

### (2) 記念式典

日時 1994年11月25日（金） 16:30-17:30

場所 東京大学山上会館 大会議室

式次第

開会

東京大学農学部附属演習林長挨拶	熊谷 洋一
東京大学総長挨拶	吉川 弘之
東京大学農学部長挨拶	佐々木恵彦

来賓祝辞

文部省高等教育局長	吉田 茂
全国大学演習林協議会会長	汰木 達郎

感謝状贈呈

千葉県天津小湊町長  
千葉県君津市長  
北海道富良野市長  
東山森林愛護組合  
麓郷森林愛護組合  
山部森林愛護組合  
布部森林愛護組合  
富良野地区製材林産協同組合  
東大演習林林業振興会  
富良野地区樹海育林協同組合

埼玉県大滝村長  
愛知県瀬戸市東明自治連合会  
愛知県瀬戸市東山自治連合会  
静岡県新居町  
愛知県犬山市塔野地地区  
愛知県犬山市今井地区  
愛知県犬山市善師野地区  
山梨県山中湖村長  
静岡県南伊豆町青野区  
静岡県南伊豆町加納区  
東京都田無市長

閉会

### (3) 記念祝賀会

日時 1994年11月25日（金） 17:30-20:00

場所 東京大学山上会館 談話ホール

次第

開会挨拶

東京大学演習林長

熊谷 洋一

東京大学名誉教授

平井 信二

北海道大学演習林長

滝川 貞夫

林野庁長官

塚本 隆久

乾杯

東京大学名誉教授

高橋 延清

閉会挨拶

東京大学演習林千葉演習林長

大里 正一



#### (4) 参加者名簿

相川 弘二	元北海道演習林総務主任	蒲谷 肇	演習林助手
相澤エイ子	元演習林技官	上飯坂 實	東京大学名誉教授
相田 嗣郎	富良野地区製材林産協同組合理事長	河原 漢	北海道演習林業務主任
浅野猪久夫	元演習林長	川端 澄子	元演習林技官
浅見 新吉	元演習林庶務掛長	菊池 宏	農学部学務主任
天池 道之	元演習林会計掛長	菊池 雄也	元演習林事務長補佐
甘利 敬正	新王子製紙常務取締役	木佐貫博光	北海道演習林助手
伊太知正久	文学部事務長	柳引 伸彦	前演習林会計掛長
池田 訓江	演習林庶務掛庶務主任	熊谷 洋一	演習林長
石井 寛治	経済学部長	熊澤 時雄	医学部附属病院分院事務長
石井 紫郎	東京大学副学長	倉橋 昭夫	北海道演習林講師
石川 純男	東洋文化研究所事務長	黒川 高秀	医学部長
石津 敦	東京大学名誉教授	小久保 醇	前田無試験地主任
磯貝 明	農学部助教授	小嶋 壮介	演習林会計主任
井出 雄二	樹芸研究所長	小島 武彦	大山市助役
伊藤 清	元演習林事務長	小島 宏	元愛知演習林職員
伊藤 幸也	元秩父演習林長	小林 正樹	演習林管財掛
今泉 光史	農学部用度掛長	小林 正彦	農学部評議員
岩本 純明	農学部助教授	小林 洋司	農学部教授
岩元 忠幸	工学部事務部長	合志 陽一	工学部長
上野川修一	生物生産工学研究センター長	後藤 明	東洋文化研究所長
鶴飼 保雄	農学部附属緑地植物実験所長	斎藤 馨	演習林講師
江原 勉	農学部庶務掛長	酒井 醇	元演習株管財掛長
遠藤健治郎	元演習林講師	酒井 秀夫	農学部助教授
遠藤 延昌	農学部事務長補佐	崎野みどり	演習林会計掛
大石 道夫	分子細胞生物学研究所長	佐久間 丞	富良野市建設部長
大川 勉	薬学部事務長	佐倉 詔夫	千葉演習林講師
大熊 幹章	農学部教授	笹井 和夫	元演習林事務長
大里 正一	千葉演習林長	佐々木恵彦	農学部長
太田 猛彦	農学部教授	佐々木陸雄	元演習林事務長補佐
太田 正光	農学部助教授	佐々 信吉	演習林管財掛長
大野 正哉	前樹芸研究所技官	佐藤亜矢子	演習林庶務掛
大橋 邦夫	富士演習林長	佐藤大七郎	東京大学名誉教授
大場 秀章	総合研究資料館助教授	佐藤 孝	北海道演習林総務主任
小笠原隆三	鳥取大学農学部附属演習林長	佐藤 寛	前演習林事務長補佐
小川 雄也	元演習林事務長補佐	座間 秀子	演習林庶務掛人事主任
尾崎 一雄	附属図書館総務課長	品川 陽一	演習林用度掛
小澤 普照	元林野庁長官	柴田 叡武	名古屋大学農学部附属演習林教授
尾鍋 史彦	農学部教授	芝野 博文	愛知演習林講師
小野 拓邦	農学部助教授	下田 晏正	田無市生活環境部長
海寶 照一	農学部林産学科事務主任	下村 彰男	農学部助教授
加々見晋一	前演習林用度掛長	白井 啓史	日本製紙(株) 主席調査役
笠井 徳人	樹芸研究所事務主任	白石喜美子	元演習林技官
梶 幹男	演習林助教授	菅原 正弘	庶務部長
片桐 一正	元農学部教授	杉田 信孝	農学部事務長
勝野 良則	愛知演習林事務主任	杉本 和永	玉川大学農学部演習林長
加藤 光一	農学部附属農場事務長	鈴木 昭憲	東京大学副学長
加藤 咲夫	元演習林講師	鈴木 和夫	農学部教授
加藤 喜子	農学部林学科事務官	鈴木 健治	元富士演習林技官
金丸 敏真	演習林会計掛主任	鈴木 雅一	農学部助教授

高槻 成紀	農学部助教授	樋口 昭夫	庶務課長
高橋 郁雄	北海道演習林助手	平井 信二	元演習林長
高橋 延清	東京大学名誉教授	平田 種男	元演習林長
高橋 迪雄	農学部附属牧場長	廣重ウタ子	前演習林庶務掛人事主任
高濱 静子	千葉演習林技官	深尾 良夫	地震研究所長
滝川 貞夫	北海道大学農学部附属演習林長	福島 謙蔵	元秩父演習林事務主任
瀧口 節生	演習林管財掛	福島 康記	元演習林長
竹内 實	学生部次長	伏谷 賢美	東京農工大学農学部付属演習林長
田崎 篤郎	社会情報研究所長	藤本 強	文学部長
館 鄭	農学部教授	布施 覚治	原子核研究所事務長
辰馬 和郎	天津小湊町長	古田 公人	農学部教授
千島 茂	秩父郡大滝村長	寶月 岱造	農学部助教授
茅野 充男	農学部教授	星 圭介	元演習林用度掛長
塚本 隆久	林野庁長官	前田 和雄	富良野地区樹海育林協同組合理事長
塚本 威彦	元愛知演習林技官	真下 育久	元演習林長
筒井 迪夫	東京大学名誉教授	榭谷 壽世	東大演習林林業振興会会長
手代木一夫	工学部附属総合試験所事務長	松尾 毅	宇都宮大学農学部附属演習林長
手塚 重郎	演習林事務長	松崎 健	元演習林助教授
寺田 桂三	前演習林事務長	松下 繁治	演習林用度掛
戸澤 俊治	岩手大学農学部附属演習林長	三浦 勝広	元演習林庶務掛
富田 浩二	岐阜大学農学部附属演習林長	松本 晶子	元演習林庶務掛
豊田 勲	前北海道演習林総務主任	三浦 サト	元演習林用度掛主任
道鎮 正雄	演習林庶務掛長	三浦 俊暁	理学部事務長
仲世古善雄	北海道釧路木材工業(株)取締役社長	三井 伸子	演習林研究部事務官
中田銀佐久	東農大学農学部附属演習林副林長	南方 康	東京大学名誉教授
中谷 繁	元演習林庶務掛長	嶺 一三	東京大学名誉教授
中村 兼治	アイソ-ブ総合センター事務主任	箕輪 光博	演習林研究部長
中村 龍雄	経済学部事務長	宮田 弘	農学部人事掛長
中元 昭二	元演習林管財掛長	富永 博章	元北海道演習林総務主任
中元 優	北海道東山森林愛護組合長	室伏 旭	農学部図書館長
中山 正道	演習林研究部技官	飯塚 堯介	農学部教授
水田 信	農学部助教授	守屋 勝國	保健センター事務主任
永野 京子	北海道ログビー代表取締役	諸戸 清一	前樹芸研究所長
南雲秀次郎	前演習林長	八木喜徳郎	元田無試験地主任
難波 宜士	日本大学農獣医学部附属演習林長	八木 久義	愛知演習林長
仁多見俊夫	北海道演習林助教授	山口 博人	住友林業(株)取締役
二官 彰	分子細胞生物学研究所事務長	山根 明巨	元演習林教授
二村義八郎	農学部教授	山本 博一	北海道演習林長
沼田 忠彦	国際交流課長	汰木 達郎	全国大学演習林協議会会長
根岸賢一郎	東京大学名誉教授	吉川 弘之	東京大学総長
根岸宗一郎	秩父演習林事務主任	吉田農夫男	演習林会計掛長
則武 諲	演習林事務長補佐	興那原 進	留学生課長
長谷川篤彦	農学部附属家畜病院長	若月八重子	千葉演習林事務主任
長谷川洋一	元演習林用度掛	若林 久嗣	農学部附属水産実験所長
畑野 健一	元演習林教授	和気 太司	文部省高等教育局専門教育課長補佐
服部 肇	情報処理課長	渡邊 定元	前演習林研究部長
花島 栄	元演習林管財掛長	渡辺 隆弘	本州製紙(株)取締役
花俣 茂	地震研究所事務長	渡邊 玉夫	社会情報研究所事務長
濱谷 稔夫	元演習林長	渡邊 正昭	前演習林庶務掛長
林 良博	農学部評議員	亘 信夫	(社)国土緑化推進機構常務理事

## 5 研修

### (1) 技官

今年度の技官研修は技術官等試験研究研修会議・業務研修発表会・植物群落調査技術研修など、全部で35件であった。参加延べ人数では300人以上にのぼる。演習林内部の研修会の他、日本林学会北海道支部研修・東海地区農学部附属演習林技術職員研修などの外部研修にも積極的に参加し、演習林業務の改善に努めている。

また、ユニークな試みとして、「退職職員の技術伝承研修会」を開催するなど、森林管理技術の継承を図っている。

### (2) 事務

大学、演習林における事務を遅滞なく円滑に推進するため、各種業務研修に担当者を参加させている。また、定められた職員研修には該当者を必ず参加させ、資質の向上を図っている。

### (3) 安全

作業の安全及び職員の健康に関する研修を実施している。演習林独自に実施するものの他、地域で開催される各種講習等にも積極的な参加を図っている。

### (4) 山火事

山火事の防止は森林の管理の中でも極めて重要な位置を占めており、消火訓練や研修だけでなく通常の警戒にも力を入れている。

## 6 国際交流

### (1) 国際学術交流協定

本演習林と国立台湾大学農学院演習林（中華民国）との間の共同研究推進の覚え書きを交わし（1993.4.30）、相互の演習林訪問を実現した。

1990年に東京大学とソウル大学校との間で締結された学術交流協定に基づいて、両大学演習林間の交流促進を協議中である。

### (2) 国際シンポジウム

富良野市および北海道演習林において演習林主催によるIUFRO国際研究集会を開催した。他の集会、シンポジウムへの参加は、国内2件、海外3件であった。

### (3) 外国人研究者招聘

国立台湾大学農学院の姚榮乃、李國忠の2氏を招聘した。

### (4) 外国人研究者の講演会

今年度の該当はなし。

### (5) 外国人研究者の来訪

アジア各国を中心に22件、70名の来訪があった。

### (6) 外国出張

13件の出張があった。渡航先をすべてあげると、台湾・中国・豪州・オーストリア・ポーランド・ブラジル・ケニア・インドネシア・マレーシア・韓国となる。

### (7) 共同研究

「森林利用に関する研究」（台湾大学）および「火山体水収支に関する研究」（インドネシア国）の2件あった。

## 7 出版・広報活動

### (1) 演習林報告

学術論文「演習林報告」91号（5論文209ページ）、92号（10論文197ページ）を印刷発行し、国内向け484部、国外向け114部を配布した。

### (2) 演習林

演習林に関する資料集である「演習林」33号（240ページ）を演習林100周年記念の第2巻目として印刷出版した。

### (3) 著書

単著、共著をふくめ演習林教官により4編が発刊された。

### (4) その他

学内広報に5件の記事が掲載された他、演習林概要を改定した。

## 8 科学研究費・受託研究等によって行われた研究

### (1) 科学研究費

演習林教官が研究代表者となった科学研究費の採択は合計49件あった。種目別の内訳は、一般研究34件、総合研究6件、試験研究7件、国際学術研究および奨励研究各1件である。また、演習林教官が研究代表者となっている科学研究費は合計32件であった。

### (2) 民間等との共同研究

5件の共同研究があった。

### (3) 受託研究

演習林が受託している秩父演習林環境調査に演習林の多くの教官が関った。

### (4) 奨学寄付金

3件あった。

## 9 各種委員会報告

### (1) 運営委員会

運営委員会は、演習林規則第5条により設置したもので演習林の管理及び運営に関する重要事項を審議する。今年度は7月、3月の2回開催された。

また、委員は、委員長である演習林長が

- ・演習林の教授及び助教授
- ・農学部長が推薦する農学部の教授又は助教授

に委嘱する。

### (2) 地方林長会議

演習林における種々の活動について報告及び審議がなされる。今年度の開催は7月、12月、3月の3回であった。

会議は、

- ・本部研究部の講師以上の教官
- ・地方演習林の林長
- ・事務長、事務長補佐、掛長

で構成されている。

### (3) 補佐会議

本演の林長の補佐会議であり、演習林会議と同様に演習林長の諮問機関である。ほぼ月1回の割合で会議がもたれる。

### (4) 演習林会議

演習林長の諮問機関の役割を持つ。月に1度開催され、会議のメンバーは、助教授以上の教官、事務長である。

### (5) 将来計画委員会

1992年3月3日の演習林長会議で、自己点検・評価を行うために発足した。委員会設置後、12回（うち1994年度は3回）開催し、検討結果を林長に報告し、演習林長会議に諮られ、すでに各地方演習林の「試験研究計画」にも反映されている。

「試験研究計画」は昨年から出版物として内外に公表することが決定され、すでに秩父演習林、愛知演習林、富士演習林、樹芸研究所、田無試験地に関しては、1992年「演習林29号」に公表されている。なお、他の演習林の「試験研究計画」も逐次公表される予定である。

#### (6) 試験研究計画委員会

農学部改組や大学院講座化に対応した演習林全体の試験研究の在り方について検討し、各演習林の研究計画に反映させるための検討を行った。今年度は1回開催した。

#### (7) 演習林編集委員会

当演習林の発行する「東京大学農学部演習林報告」、「演習林」の発行編集を行う委員会である。

1994年度は計7回の委員会が開催され、「東京大学農学部演習林報告」は91号（5論文209ページ）、92号（10論文197ページ）を印刷発行し、「演習林」は33号（240ページ）を印刷出版した。

#### (8) 組織検討委員会

1993年12月6日の演習林長会議で、農学部の改革・改組に即応するために設置された。今年度は2回の委員会がもたれ、課程制への移行および森林科学専攻への協力大講座化に対応して、研究部および地方演習林の研究室体制、カリキュラム実習のあり方について点検・検討した。

#### (9) タスクフォース委員会

1994年7月19日の演習林長会議で課程制移行及び協力大講座化の具体的対応事項決定のために設置された。

1994年度は1994年12月及び1995年3月の2回委員会を開催し、学生の受け入れ、施設の整備等について決定した。

#### (10) 全演の事務主任会議

年に1度、7月もしくは8月に開催される。会議の内容としては、当初予算配分の説明、地方演の近況報告、各掛所管事項の説明などがあげられる。いわば、周知確認のための会議で、構成員は本部事務部掛主任以上、地方演事務主任である。

#### (11) 技術官等試験研究・研修会議

本会議は年に1回開催される会議で、各地方演習林における日頃の研究成果を発表する技術発表と、主に教官による最新の研究内容などを盛り込んだ講義形式に似た技術研修から成る。毎年、各演習林の持ち回りで主催され、今年度の会議は愛知演習林にて行われた。

## 10 学外各種委員会

延べ32人の教官が学外で各種委員会の委員となっている。

## 1.1 試験研究業務

### (1) 千葉演習林

#### i 植伐

人工林の主間伐材積をほぼ年成長量とし、主伐は伐期齢を60年から95年までのうち年間約6ha、3,000m<sup>3</sup>。間伐は高輪伐期施業林を中心とした高齢林を主とし、年間約15ha、1,000m<sup>3</sup>（本数で20%～30%程度）を目標にしている。処分方法は、一般競争入札による立木売払処分である。材積調査は処分前年の12月に毎木調査を行い、処分年度の7月に立木で競争入札にかける。

人工植栽は基本的には春植えとし、皆伐跡地の二代目造林で、その20～30%は岩石地等により植栽不能地が出る。植栽樹種は、スギ、ヒノキ、マツを主とし、ha当り、スギ・ヒノキ3,500～4,500本、マツ5,000～6,500本として、土地の肥沃度に応じ樹種を選定し、植されている。

#### ii 林道

当演習林の林道は森林施業路としての機能の他に、教育研究の場として、さらに森林の視察や資材、人員を運搬する輸送路としての機能がある。

したがって、林道開設や維持管理は、これらのニーズに応じて行われている。

林道開設は、近年尾根筋に多く、その理由は下記のとおりである。

- 1)集材機械の発達により、上げ荷集材が可能になった。
- 2)最新の集材機械（タワーヤーダー）は主に上げ荷集材を行うため、尾根線林道で実験を行っている。
- 3)尾根線林道からは、見本林等の林分全体を観察することができる。
- 4)開設費、維持費が谷沿林道よりも安価である。
- 5)谷沿林道と比較して災害が少ない。

林道維持管理については、当演習林の林道は、一般の林道と違い、実験フィールドとして利用されることもある。近年の直接的利用としては、新しい横断排水の方法を試験的に行っている。間接的利用としては、タワーヤーダー、プロセッサ等の試験を行っている。また日常業務においては、路面状態に合致した砕石の種類及び敷均し方を模索しながら行っている

以上、当演習林の林道は、演習林の試験研究機関としての機能を最大限に発揮できるように開設及び維持管理を行っている。

#### iii 土地管理

千葉演習林の総面積は2,171haで、行政区画上は天津小湊町に861ha、君津市に1,310haである。その境界は総延長82kmに及ぶ。現在大部分の境界杭は木柱からコンクリート杭に立替えられたが、一部木柱の腐朽や山地崩壊、河川敷地の流亡等によって不明な箇所がある。これらは早急に明らかにする。

現在計画されている追原ダムの建設、それに伴う道路の開設さらに林道南房総線の開設等重要な

課題をかかえ、教育・研究機関としての慎重な対応がせまられている。

## (2) 北海道演習林

北海道演習林は北方林業・林学に関する研究・教育を目的として1899年に設立されて以来96年を経過している。この間、森林に関する自然科学の探求と森林経営を実証的かつ実践的に進め成果を挙げるとともに、北海道中央部の富良野地域における地域社会、地域経済の発展に少なからぬ影響を与えてきた。一方、研究林・教育林としてだけでなく、UniversityForestとして大学の財産的施設としての性格をも併せ持ち、林産物収入によって大学の運営に貢献してきた。近年、社会経済環境の変化に伴って演習林をめぐる状況も多様化し、学内外から自然科学を中心とするあらゆる分野の研究・教育利用が増大している。特に地球的規模で進行している環境変化に伴い、森林資源の維持造成への関心が高まるとともに、大学等の研究機関による研究利用、一般市民による教育利用などに開かれた演習林としての役割が強く要請されている。

北海道演習林に対する要請は時間の経過とともに変化しており、適宜対応してゆかねばならないが、農学・生命科学分野における人類社会への知的貢献を基本とし、学内・学外の幅広い分野の研究・教育の場として健全な森林を維持造成することを試験研究業務の目的とする。

特に、北海道演習林の特筆すべき特長である

- 1)冷温帯林と亜寒帯林の特徴を併せ持つ自生植物種の多様性
- 2)樹木園の北方系樹木コレクション
- 3)多様な自然環境とそれに基づく生態系の豊富さ
- 4)面積2万3千ha、標高差1300mの連続した空間的スケールの大きさ
- 5)96年間にわたる持続的森林経営の時間的スケールの大きさ
- 6)高レベルの森林生態系管理技術をもつ林業技術者の集団
- 7)高密度の林内到達林道網による利便性
- 8)地域のていねいな素材生産技術と林産物の高度利用システムの存在

を十分に活かし、

- ①北方林の自然生態系を尊重した持続的森林経営のための施業実験
- ②多様な生態系を基盤とした遺伝子資源の保全管理と天然樹種の生態遺伝特性の解明
- ③広大な森林を対象とした気候変動・酸性降下物などによる森林環境変化の組織的モニタリング
- ④森林資源を基盤とした農山村社会・経済システムの研究
- ⑤森林生態圏が生み出す水資源および水辺の環境に関する研究

を今後充実させるべき研究テーマと位置づけて試験研究体制を整備する。

また、演習林は森林全体が継続的研究の対象となっていることから、演習林を利用した研究にあたっては、その管理方針を尊重したものでなければならない。

健全な森林を育成する過程で森林の機能をより多様に発揮し、人類社会に必要な資源の持続的利用を図るため、択伐と天然更新によって持続的に運営できるよう、本来の自然生態系を尊重した森林の管理を行う。こうした森林では種構成を攪乱しないよう自生種以外の生物種の導入は行わない。そして、森林環境の多様性、種の多様性を維持するため保存林・保護区の規模および箇所数を拡大する。

#### i 森林施業について

##### 1)天然林施業(16,871ha)の考え方

- ・林分施業法に基づき、個々の林分の状況に応じた持続的森林経営を実行する。
- ・蓄積経理の方法は照査法に準拠する。択伐にあたっての伐採率は材積成長率の範囲内とし、選木にあたっては立木本数・樹種構成・後継樹の維持に配慮する。
- ・回帰年は第1作業級10年、第2作業級20年とする。
- ・択伐率は第1作業級では固定標準地の調査結果から年平均成長率2.07%を採用し16%とする。第2作業級では年平均成長率1.16%を採用し択伐率17%とする。
- ・林況調査の簡素化を図るためにメッシュ法による現存量調査を実施する。
- ・ヤツバキクイムシによる虫害を回避するため、第2作業級では伐区が連続しないよう伐採順序に配慮する。

##### 2)人工林施業(3,067ha)の考え方

- ・人工林は針広混交複層林へ誘導し、択伐施業の対象とするため、風害に配慮しながら本数密度調整のための間伐を積極的に促進する。(829ha,52,000m<sup>3</sup>)
- ・原則として人工林の皆伐は行わないため、伐期齢は定めない。
- ・間伐率の決定には相対幹距比を指標として用い、常に相対幹距比が20~30%程度となるようにする。
- ・間伐の時期はトドマツ・エゾマツは30~35年生、カラマツ、広葉樹は20~25年生以降とし、10年目ごとに繰り返し実行する。

##### 3)更新事業(677ha)の考え方

- ・種構成を攪乱しないよう植栽種は自生種とし、種子は林内健全木から採取する。
- ・天然更新の困難な風害跡地(193ha)、無立木地(20ha)では地拵えの翌年、人工植栽(650,000本)を実行する。
- ・更新場所は機械地拵えを実行する観点から、面積のまとまりがあり、緩傾斜地を優先させる。実行にあたっては更新指令書を作成する。押し幅は将来の保育作業の機械化に備え、従来よりも広くし、少なくとも8m以上とする。
- ・植栽後の作業条件の悪い場所(224ha)では、天然更新木を優先させる地がきを実行する。地がき地への播種作業はこれまでの更新成績が不良であるため方法を見直し、補助造林(112,000本)を行い、原則としてあとの保育は行わない。

- ・補植林分(396ha)、皆伐林分(80ha)において、更新技術を継承するために必要な伐採実行後、人工植栽(101,700本)を実行する。
- ・奥地林においては北方林帯を代表する樹種であるエゾマツの個体数の維持に配慮し、後継樹の少ない場所では伐採後の林間にエゾマツの補助造林を実行する。
- ・地拵え跡地の植栽木は1,500本/ha、地がき跡地の補助造林は500本/ha、奥地林択伐跡のエゾマツの補助造林は50本/haを基準とする。

## ii 特別試験林(1,856ha)の整備について

- ・特別試験林については特に断らない限り、施業の対象とはしない。
- ・試験地の調査方法、調査間隔、試験地としての期間、担当掛を明確にする。
- ・環境の変化により試験地としての機能を失ったり、当初の目的を終了した試験林は一般施業林に編入する。

### 1)天然林試験林

- ・天然林施業試験地（固定標準地）のうち風害により成長量試験地としての機能を失った17箇所を廃止し、広葉樹を主体とした林分で新たに8箇所を新設する。  
保存林以外の天然林試験林では、一般施業林と同様の取扱いを行う。

### 2)風害試験林

- ・箇所数は変わらないが、風害無処理区の周辺に緩衝区を増設して、面積は2.8倍。

### 3)育種・遺伝資源試験林

- ・目的の終了した育種系統試験林9箇所を廃止し、面積も47%に減少。
- ・外来樹種試験地9箇所、23haは、一般造林地に編入し、施業対象とする。
- ・目的の終了した採種園・採種林の26箇所のうち、11箇所は一般造林地に編入し、14箇所は遺伝子保存林、1箇所は参考林に編入し、残りは5箇所4.5haに縮小。

### 4)人工林試験地は設定後、長期間を経過し、個体サイズが大きくなったため当初の目的を果たした試験林は一般造林地に編入し、施業対象とする。

- ・林地肥培試験林23箇所、7.8haは、設定目的終了のため一般造林地に編入する。
- ・学術参考林は6箇所、11.8haを新たに設定。
- ・新たに広葉樹林造成試験地14箇所、16haを設定し、植栽木の成長を調査する。この試験地では通常の保育を実行する。

### 5)1981年災害復旧造林

- ・新たに1981年風害跡復旧造林地に、74箇所11.6haの試験地を設定し、植栽木と侵入天然木の成長を調査する。植栽木には一般造林木と同様の保育を実行する。

### 6)森林衰退観察試験林

- ・本当に森林衰退が生じているか否かを検証するために9箇所、2.3haを設定。

## 7)保存林・保護区

- ・保存林は13箇所、166haを追加し、多様な森林環境を保全する。このうち、原生保存林は1箇所のみである。
- ・特殊植物保護区はエゾムラサキツツジ群落の岩屋保護区を追加する。

### iii 土地管理の基本方針

北海道演習林は富良野地域における地域社会、地域経済の発展に少なからぬ影響を与えてきた。演習林に対する要請は時間の経過とともに変化しており、適宜対応してゆかねばならぬが、研究・教育林としてだけでなく、大学演習林として大学の財産的施設としての性格を考慮し、土地の管理については、慎重に対処していかなければならない。

森林地域の土地利用の変更は、試験研究に与える影響が多大なものになることから、健全な森林を維持造成する上からも、今後河川改修工事・道路拡幅工事・電線敷地等の申請があった時は、従来どおり公共性のあるもので試験研究に支障がなく、他の方法や場所がない場合に限り使用を承認・許可し、工事完了後は必要最小限について、所管換・売払する。

また、除地（林地以外の土地）については、1950-1964年に開放できないまま残っている、一級河川（河川管理は北海道）、普通河川（河川管理は富良野市）については、現在改修計画のある、西達川・ポン布部川以外にも改修工事が予見されるので、土地の使用にあたっては、残り少ない河畔林を保全する見地から、できるだけ自然を残す施工法でなければ許可しない。

農地内にある用水路・排水路敷地については、増水時の氾濫、崩壊が生じているため、今後関係機関による改修工事が行われると見込まれるが、面積も小さく管理の上からも、研究・教育の目的利用することは適切でなく、関係機関に移管・売払処分するのが妥当と思われる。

## (3) 秩父演習林

### i 植伐

気象害、病虫害に抵抗性の高い林として維持するために、保育を主目的とした間伐を行い、長伐期の施業を目指す。林地保全の観点から、裸地化による土砂の流亡を避けるために皆伐は極力控える。間伐率の高い林分では、複層林の造成のために下層植栽を行う。

### ii 林道

研究教育を基本とした円滑な林内到達機能を発揮し、また木材森林資源の有効活用ができるような路線としていきたい。

### iii 土地管理

大滝村に山林5,816ha、作業所・学生宿舎等敷地1.02ha、秩父市に実験林1.93ha、苗畑1.64ha、事務所宿舎敷地等0.88ha合計5,821haを所有し、その管理については国有財産監守計画表に基づき、監守者は林長、補助監守者は各口座に所属する事務主任、掛主任および関係職員（作業所）が林内の保護巡視等により、林道、建物、火気防火消火栓、給排水、境界石、標識等の点検をそれぞれの項目に

より毎日から3カ月に1回実施している。

#### (4) 愛知演習林

##### i 植伐

- 1) 量水試験の対象流域は原則として禁伐とし、森林の自然の回復過程に対応した水文現象の観測を達成することとしている。
- 2) 復旧された荒廃地が2次林として広域に生育している。ここでは病虫害の駆除あるいは緑化の遅れた部分の山腹工事と砂防植栽を導入している。原則として拡大造林を行わず、一部に試験的な施業を行うことがある。
- 3) 上記以外は森林のもつ公益的機能の最大限の発揮を標榜した一般的な施業の対象となっており、毎年0.5ha程度の小面積皆伐を実施している。ただし、水源かん養保安林、土砂流出防備保安林の規制がほとんどの林地に課せられており、業務上の理念を条件づけている。

##### ii 林道

新設は行っていない。ただし、上記の理念に従って保守を行う。

##### iii 土地管理

都市に近いこと、伝統産業である窯業と関連したことなど特徴的な立地をもっている。大学の研究施設として試験研究と森林保全・育成を第一の目的とした土地管理を行い、地元との協調関係を損なわない範囲での協力を慎重に進めている。

#### (5) 樹芸研究所

樹芸研究所は、試験林や温室に収集保存している熱帯・亜熱帯樹木を中心とする豊富な遺伝子資源を背景に、これらの保存と試験研究に有効な活用を図っている。特に、熱帯・亜熱帯樹木の増殖・育成研究、ユーカリ属・アカシア属樹木による森林育成にかかる研究など、幅広く世界的規模での森林環境問題の解決を基礎付ける研究は、当所の最重要課題である。また、暖帯林における森林育成全般に関する施業に関する実験も、地域森林の維持・増進および他演習林との比較研究の上から重要な課題として位置付けている。

##### i 植伐

樹芸研究所における試験研究は、上記の課題にそって、外国産樹種の導入試験として、アカシア属、ユーカリ属の現地適応・成長比較試験地、遺伝子資源の収集・保存、評価のための、スギ地方品種試験地、採種母樹林別ヒノキ試験地、マツの産地別・母樹別試験地など多くの試験地を設定し研究を行っている。

これらの研究を遂行するために、1960年代には6.7ha/年、1970年代には1.8ha/年、1980年代には1.1ha/年の試験地設定を行って来たが、最近では人員削減による人手不足から、新たな大面積の試験地設定が難しい状況になってきた。このことは、学生の教育と研究を目的とする演習林にとって大きな問題である。

また、人員削減の状況下において、熟達した現地担当職員の退職に伴い、今後の試験地管理には、地理情報システムを取り入れた試験地等のデータベース化により、各種意思決定支援を行うことが必要になっており、現在システムの構築に取り組んでいるところである。

樹芸研究所は、1943年に設立された比較的若い演習林のため、1970年頃までは薪炭林の伐採・売り払いはあったが、針葉樹人工林の伐採・売り払いはほとんどなかった。針葉樹林は7齢級以下の若い林がほとんどであるため、当分の間主伐の計画はないが、間伐の必要がある。しかし、間伐による売り払い収入は見込めない。

## ii 林道

1994年現在、車道3,151m (12.8m/ha)、歩道11,753m (47.8m/ha) と林道密度は非常に低い状態で、試験研究、試験地管理、林内巡視、山火事予消防、作業員送迎などの研究、管理面において多大な不便をきたしている。また、車道が少ないため、間伐材などの売り払いも出来ない状態である。

1967年には15名であった職員が、1995年には定員削減により、6名(60%の削減)になることが決まっている。また、試験地の管理業務を中心に行っている非常勤職員も、1978年には5名であったが、1955年には2名となり、その2名も1998年には停年退職する。

このような人員削減の状況下において、研究、試験地管理を効率的に行うために、2林班を中心に、林道網の充実を計画している。この計画に基づいて、1991年以来継続的に予算の配布を受け、車道の延長工事を実施している。今後もこの工事を遂行するとともに、林道保守管理用の大型機械の導入も計画している。

## iii 土地管理

樹芸研究所は、1943年民有林を購入して設立された。試験林は比較的民家に近く、里山的状態の所もあるが、境界測量、境界石標の埋設も進んでいるため、民地との境界線に関する問題はない。また、13.2kmの境界と、2.3kmの林班界について、毎年、境界石標の確認、防火線を兼ねた境界の刈り払い手入れを実施している。

今後とも、国有財産管理の上から境界管理、試験地内の利用者に対する対応を検討する必要がある。特に、休日における無断利用者と山火事予消防の問題が大きい。人員削減の状況下においては、十分な境界管理、林内巡視、利用者対応ができなくなることが危惧される。

また、人員削減の状況下においては、熟達した現地担当職員の退職に伴い、今後の土地管理・試験地管理には、地理情報システムを取り入れた試験地等のデータベース化により、各種意思決定支援を行うことが必要になってくる。

## iv 温泉・温室管理

樹芸研究所では他の演習林と異なる温泉と温室を有しており、特に、100℃以上の源泉の維持管理は非常に危険を伴う作業である。また、スケール付着による温泉供給機能の低下や配管の破損など

に対して、常時点検と監視を行っていないなければならない。

一方、化石エネルギーを利用しない、クリーンなエネルギーの温泉熱を利用した温室で、熱帯・亜熱帯の樹木に関する研究、遺伝子資源の収集・保存と展示を行っている。

温室では、温度の管理や機器の点検、鉢植え植物の生育状態を観察しながら、それぞれの種特性に応じたきめの細かい管理が必要である。これらの作業を職員の経験に頼っているのが現状であり、今後は、温泉管理の安全確保、スケール除去、配管の破損時における対処法のマニュアル化、コンピュータを使った温室環境・育成植物の管理、休日中の諸問題に対する対処法の検討、研究材料の安定供給、研究施設・環境の充実、研究システムの検討などが大きな問題であるが、農学部の大学院重点化、アジア生物資源環境研究センターの設立などに伴う新たな要求に対処するためにも、これらの問題に積極的に対処する必要がある。

## 1 2 主要設備

概ね 100万円以上の主要設備の所有は82件である。

### Ⅲ 資料

#### 1 利用状況 (1994年度)

##### (1) 利用者数

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
1	千葉	4	1	日本大学薬学 学部	4	19	1	1	25	植物観察
2	千葉	4	1	NHK学校放送 番組部	0	0	0	1	1	取材
3	千葉	4	1	千葉大学教育 学部生物学教 室	2	3	2	1	8	アンモニア菌の発生機作に関する研究
4	千葉	4	1	木更津市立富 来田公民館	0	0	0	68	68	自然観察
5	千葉	4	16	東北大学理学 部地学科	0	2	0	0	2	地質調査
6	千葉	4	2	砂防	0	1	2	0	3	水文・土質調査
7	千葉	4	3	植物	0	0	1	0	1	ヒメコマツのこぶ病
8	千葉	4	2	慶応大学経済 学部生物学教 室	1	0	0	0	1	両生類の繁殖と生活史
9	千葉	4	2	砂防	0	1	2	0	3	水文・土質調査
10	千葉	4	2	慶応大学経済 学部生物学教 室	1	0	0	0	1	両生類の繁殖と生活史
11	千葉	4	2	演習林	1	0	1	6	8	自然観察
12	千葉	4	2	砂防	0	1	2	0	3	水文・土質調査
13	千葉	4	2	植物	0	0	1	0	1	ヒメコマツのこぶ病
14	千葉	4	3	千葉大学理学 部生態学教室	1	2	2	0	5	調査地の選定
15	千葉	4	3	千葉大学理学 部生態学教室	0	0	1	0	1	伐採地における草本の二次遷移
16	千葉	4	2	慶応大学経済 学部生物学教 室	1	0	0	0	1	両生類の繁殖と生活史
17	千葉	4	3	筑波大学生物 科学系	2	0	0	1	3	イワタバコの生理生態
18	千葉	4	4	京都大学理学部地 質学鉱物学教室	0	0	1	0	1	岩石サンプルの採取
19	千葉	4	2	砂防	0	1	2	0	3	水文・土質調査
20	千葉	4	2	千葉大学理学 部生態学教室	0	2	2	0	4	常緑樹の生理特性の測定
21	千葉	4	2	植物	2	0	2	0	4	実習下見
22	千葉	5	1	千葉大学理学 部生態学教室	1	2	0	0	3	常緑広葉樹の葉の寿命と展開のフェノロジー

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
23	千葉	5	1	坂畑小学校保護者代表	0	0	0	75	75	自然観察
24	千葉	5	1	千葉大学理学部生態学教室	1	2	0	0	3	常緑広葉樹の葉の寿命と展開のフェノロジー
25	千葉	5	1	朝日カルチャーセンター千葉	0	0	0	1	4	バードウォッチング講座
26	千葉	5	1	県指導林家	0	0	0	2	2	造林全般
27	千葉	5	1	日本野鳥の会千葉県支部	0	0	0	30	30	野鳥観察会
28	千葉	5	5	造林	3	32	9	0	44	実習
29	千葉	5	1	千葉大学園芸学部	4	7	11	0	22	スギ林内の生態調査
30	千葉	5	2	日本テレビ	1	0	0	7	8	カエルの観察
31	千葉	5	2	慶応大学経済学部生物学教室	1	0	0	0	1	両生類の繁殖と生活史
32	千葉	5	5	経理	2	6	0	0	8	実習
33	千葉	5	3	筑波大学地球科学研究科	0	0	1	0	1	付加帯に発達する破壊・流動構造とその意義
34	千葉	5	4	植物	3	29	5	0	37	実習
35	千葉	5	2	一般	0	0	0	3	3	複層林施業林を主な対象とする実地研修
36	千葉	5	2	筑波大学農林技術センター	3	0	0	0	3	抵抗性マツ苗木引取及び演習林見学
37	千葉	5	2	砂防	0	2	1	0	3	水文調査
38	千葉	5	4	千葉大学理学部生態学教室	0	2	0	0	2	常緑広葉樹の葉の寿命と展開のフェノロジー
39	千葉	5	4	千葉大学理学部生態学教室	0	0	1	0	1	伐採地における草本の二次遷移
40	千葉	5	2	慶応大学経済学部生物学教室	1	0	0	0	1	両生類の繁殖と生活史
41	千葉	5	2	演習林	1	0	1	3	5	自然観察
42	千葉	5	5	千葉大学自然科学研究科環境科学専攻	0	0	2	0	2	モミ・ツガ常緑広葉樹林の群落調査
43	千葉	5	2	砂防	0	2	1	0	3	水文調査
44	千葉	5	2	植物	0	0	4	0	4	ヒメコマツのこぶ病
45	千葉	5	3	筑波大学地球科学研究科	0	0	1	0	1	付加帯に発達する破壊・流動構造とその意義
46	千葉	5	2	慶応大学経済学部生物学教室	1	0	0	0	1	両生類の繁殖と生活史
47	千葉	5	2	理学系研究科地質学専攻	4	21	1	0	26	実習

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
48	千葉	5	1	砂防	0	2	1	0	3	水文調査
49	千葉	5	2	千葉大学教育学部生物学教室	2	3	0	0	5	アンモニア菌の発生機作に関する研究
50	千葉	5	1	千葉大学教育学部生物学教室	2	3	2	1	8	アンモニア菌の発生機作に関する研究
51	千葉	5	1	千葉大学教育学部生物学教室	2	3	2	1	8	アンモニア菌の発生機作に関する研究
52	千葉	6	1	千葉大学理学部生態学教室	1	1	1	0	3	常緑広葉樹の葉の寿命と展開のフェノロジー
53	千葉	6	1	砂防	0	2	1	0	3	水文調査
54	千葉	6	1	千葉大学教育学部生物学教室	1	3	1	0	5	アンモニア菌の発生機作に関する研究
55	千葉	6	1	植物	0	0	1	0	1	ヒメコマツのこぶ病
56	千葉	6	1	植物	0	0	3	0	3	モミの外生菌根に関する研究
57	千葉	6	1	千葉大学理学部生態学教室	1	2	0	0	3	常緑広葉樹の葉の寿命と展開のフェノロジー
58	千葉	6	1	植物	0	0	1	0	1	ヒメコマツのこぶ病
59	千葉	6	1	造林	2	2	0	0	4	スギの針葉の採集
60	千葉	6	1	造林	2	2	0	1	5	スギの針葉の採集
61	千葉	6	1	館山青年会議所	0	0	0	8	8	現地研修
62	千葉	6	1	千葉大学教育学部生物学教室	2	3	3	0	8	アンモニア菌の発生機作に関する研究
63	千葉	6	1	千葉大学理学部生態学教室	1	2	0	0	3	常緑広葉樹の葉の寿命と展開のフェノロジー
64	千葉	6	3	千葉県生物学会	1	0	0	1	2	ハエ類及び蛾類の分布調査のための採集
65	千葉	6	3	理学系研究科地質学専攻	4	21	1	0	26	実習
66	千葉	6	2	砂防	0	1	2	0	3	水文調査
67	千葉	6	4	千葉県中央博物館環境科学研究科	0	0	2	1	3	房総半島におけるニホンジカの研究
68	千葉	6	5	動物	0	0	1	0	1	房総半島におけるニホンジカの研究
69	千葉	6	5	動物	0	0	1	0	1	房総半島におけるニホンジカの研究
70	千葉	6	2	千葉県立君津農林高校	2	38	0	0	40	演習林内植物採集及び見学
71	千葉	6	3	千葉大学自然科学研究科環境科学専攻	0	0	1	0	1	モミ・ツガ常緑広葉樹林の群落調査

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
72	千葉	6	3	筑波大学地球 科学研究科	0	0	1	0	1	付加帯に発達する破壊・流動構造とその意義
73	千葉	6	2	東京農工大学 農学部附属演 習林	3	0	2	0	5	東京農工大学院農学研究科における森林経営 学持論に関する視学
74	千葉	6	2	動物	0	0	1	0	1	房総半島におけるニホンジカの研究
75	千葉	6	2	砂防	0	1	2	0	3	水文調査
76	千葉	6	3	千葉大学自然 科学研究科環 境科学専攻	0	0	1	0	1	モミ・ツガ常緑広葉樹林の群落調査
77	千葉	6	3	立正大学文学 部地理	1	0	0	0	1	流水による岩盤浸食
78	千葉	6	4	千葉大学自然 科学研究科	0	1	0	0	1	フサザクラに関する生態学的研究
79	千葉	6	2	伊藤忠林業	0	10	0	0	10	関東最南端の天然林相を主とした自然の観察
80	千葉	6	2	砂防	0	1	2	0	3	水文調査
81	千葉	6	3	千葉大学自然 科学研究科環 境科学専攻	0	0	1	0	1	モミ・ツガ常緑広葉樹林の群落調査
82	千葉	6	4	千葉大学理学 部生態学教室	0	0	2	0	2	草本の二次遷移と地形パターンとの関連
83	千葉	6	2	演習林	1	0	1	8	10	自然観察
84	千葉	6	4	静岡大学理学 部地球科学教 室	2	20	1	0	23	地質調査
85	千葉	6	4	千葉大学自然 科学研究科	0	1	0	0	1	フサザクラに関する生態学的研究
86	千葉	6	2	砂防	0	1	2	0	3	水文調査
87	千葉	7	1	静岡大学理学 部地球科学教 室	2	20	1	0	23	地質調査
88	千葉	7	1	千葉大学自然 科学研究科	0	1	0	0	1	フサザクラに関する生態学的研究
89	千葉	7	1	千葉県天然紋 研究会	0	0	0	15	15	採種、養苗技術及び複層林における上木本数 杉品種の個性
90	千葉	7	1	千葉大学教育 学部生物学教 室	2	3	2	1	8	アンモニア菌の発生機作に関する研究
91	千葉	7	1	理学部植物生 態研究室	0	0	1	1	2	光環境が異なる場所での植物分布の調査
92	千葉	7	5	動物	1	1	0	0	2	マツノザイセンチュウによるマツ枯れ跡地の 植生変化
93	千葉	7	3	砂防	0	1	2	0	3	水文調査

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
94	千葉	7	4	千葉大学自然科学研究科環境科学専攻	0	0	1	0	1	モミ・ツガ常緑広葉樹林の群落調査
95	千葉	7	2	経理	0	0	1	0	1	演習林の利用者に対するアンケート調査
96	千葉	7	4	千葉大学自然科学研究科	0	0	1	0	1	フサザクラに関する生態学的研究
97	千葉	7	4	千葉大学自然科学研究科環境科学専攻	0	0	1	0	1	モミ・ツガ常緑広葉樹林の群落調査
98	千葉	7	5	林産	1	16	1	0	18	実習
99	千葉	7	5	砂防	0	1	2	0	3	水文調査
100	千葉	7	2	演習林	1	0	1	3	5	自然観察
101	千葉	7	4	宇都宮大学農学部森林科学科	1	43	0	0	44	実習
102	千葉	7	5	千葉大学自然科学研究科環境科学専攻	0	0	1	0	1	モミ・ツガ常緑広葉樹林の群落調査
103	千葉	7	4	千葉大学理学部生態学教室	0	1	0	0	1	常緑広葉樹の葉の寿命と展開のフェノロジー
104	千葉	7	4	千葉大学理学部生態学教室	0	0	2	0	2	伐採地における草本の二次遷移
105	千葉	7	3	東京大学教育学部付属高校	3	15	0	0	18	照葉樹林の生態系解析
106	千葉	7	4	千葉大学自然科学研究科	0	0	1	0	1	フサザクラに関する生態学的研究
107	千葉	7	2	砂防	0	1	2	0	3	水文調査
108	千葉	7	3	造林	1	0	4	0	5	スギ高齢木の水分生理状態の測定
109	千葉	8	1	砂防	0	1	2	0	3	水文調査
110	千葉	8	1	日本ボーイスカウト市原第一団	0	0	0	60	60	ハイキング
111	千葉	8	1	砂防	0	1	2	0	3	水文調査
112	千葉	8	1	千葉大学理学部生態学教室	1	1	0	0	2	常緑広葉樹の葉の寿命と展開のフェノロジー
113	千葉	8	1	兵庫県立人と自然の博物館	0	0	0	1	1	オバノイノモトソウの遺伝的変異
114	千葉	8	1	館山青年会議所	0	0	0	150	150	ハイキング
115	千葉	8	1	館山市立第三中学校	2	25	0	0	27	ハイキング
116	千葉	8	3	東京農工大学農学部環境資源学科	6	38	6	0	50	実習

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
117	千葉	8	27	東北大学理学部地学科地学	0	2	0	0	2	房総半島上部中新統の微化石による古環境分析
118	千葉	8	4	千葉大学自然科学研究科環境科学専攻	0	0	1	0	1	モミ・ツガ常緑広葉樹林の群落調査
119	千葉	8	3	東京電力環境部環境総括課	0	0	0	150	150	自然観察
120	千葉	8	4	資料編纂所	1	0	0	15	16	夏期における千葉安房周辺の樹木分布及び生育について
121	千葉	8	2	砂防	0	1	2	0	3	水文調査
122	千葉	8	2	林野弘済会	0	0	0	25	25	演習林見学会
123	千葉	8	2	砂防	0	1	2	0	3	水文調査
124	千葉	8	4	千葉大学理学部生態学教室	0	0	1	0	1	伐採地における草本の二次遷移
125	千葉	8	4	千葉大学理学部生態学教室	0	0	1	0	1	常緑広葉樹の葉の水分特性の測定
126	千葉	8	2	植物	0	0	2	0	2	ヒメコマツのこぶ病
127	千葉	8	2	演習林	1	0	1	3	5	自然観察
128	千葉	8	2	砂防	0	1	2	0	3	水文調査
129	千葉	8	2	植物	0	0	1	0	1	ヒメコマツのこぶ病
130	千葉	8	3	千葉県生物学会	1	0	0	1	2	県内のハエ蚊の調査
131	千葉	8	1	演習林	2	0	0	0	2	視察
132	千葉	9	1	砂防	0	1	2	0	3	水文調査
133	千葉	9	1	千葉大学理学部生態学教室	1	1	0	0	2	常緑広葉樹の葉の寿命と展開のフェノロジー
134	千葉	9	1	砂防	0	1	2	0	3	水文調査
135	千葉	9	5	東北大学理学部地学科地学	0	1	0	0	1	房総半島上部中新統の微化石による古環境分析
136	千葉	9	2	植物	0	0	2	0	2	ヒメコマツのこぶ病
137	千葉	9	5	京都大学理学部地質学鉱物学教室	4	17	0	0	21	実習
138	千葉	9	2	植物	0	0	1	0	1	ヒメコマツのこぶ病
139	千葉	9	2	森林総研	0	0	0	1	1	林道計画
140	千葉	9	2	立正大学文学部地理	1	1	0	0	2	流水による岩盤浸食
141	千葉	9	3	造林	1	0	2	0	3	ゴボウ沢、高齢木の光合成蒸散測定
142	千葉	9	2	砂防	0	1	2	0	3	水文調査
143	千葉	9	2	砂防	0	1	2	0	3	水文調査
144	千葉	9	2	演習林	1	0	0	7	8	自然観察
145	千葉	9	5	動物	1	2	0	0	3	マツノザイセンチュウによるマツ枯れ後の植生変化

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
146	千葉	9	5	理学部植物学 教室生態学研 究室	3	17	0	0	20	実習
147	千葉	9	3	千葉大学理学 部生態学教室	0	0	1	0	1	常緑広葉樹の葉の水分特性の測定
148	千葉	9	3	千葉大学理学 部生態学教室	0	0	1	0	1	伐採地における草本の二次遷移
149	千葉	10	1	一般	3	0	0	0	3	ハイキング
150	千葉	10	1	筑波大学農林 技術センター	3	0	4	10	17	筑波アジア農業教育セミナー
151	千葉	10	1	千葉大学教育 学部生物学教 室	1	5	0	0	6	アンモニア菌の発生機作に関する研究
152	千葉	10	1	千葉大学教育 学部生物学教 室	1	7	0	0	8	アンモニア菌の発生機作に関する研究
153	千葉	10	1	一般	16	165	0	0	181	ハイキング
154	千葉	10	1	森林総研	0	0	0	1	1	千葉演習林における路網配置計画
155	千葉	10	1	早稲田大学理 工学研究科	0	0	1	0	1	林床下植物の調査
156	千葉	10	1	千葉大学教育 学部生物学教 室	1	1	0	0	2	アンモニア菌の発生機作に関する研究
157	千葉	10	1	早稲田大学理 工学研究科	0	0	2	0	2	林床植物の光合成能力の比較
158	千葉	10	3	砂防	0	1	2	0	3	水文調査
159	千葉	10	2	砂防	0	1	2	0	3	水文調査
160	千葉	10	8	京都大学理学部地 質学鉱物学教室	0	0	1	0	1	岩石サンプルの採取、写真撮影
161	千葉	10	2	砂防	0	1	2	0	3	水文調査
162	千葉	10	2	演習林	1	0	0	6	7	自然観察
163	千葉	10	2	経理	3	0	0	0	3	東京大学演習林と台湾大学実験林との共同研 究プロジェクト推進のため
164	千葉	10	2	砂防	0	1	2	0	3	水文調査
165	千葉	10	4	千葉大学理学 部生態学教室	0	0	1	0	1	常緑広葉樹の葉の水分特性の測定
166	千葉	10	4	千葉大学理学 部生態学教室	0	0	1	0	1	伐採地における草本の二次遷移
167	千葉	11	1	千葉県木更津 高校	13	45	0	0	58	希望生徒による自然観察学習
168	千葉	11	1	経理	0	0	2	3	5	GPSによる林相界測位
169	千葉	11	1	森林総研	0	0	0	1	1	千葉演習林における路網配置計画
170	千葉	11	1	千葉大学教育 学部生物学教 室	1	2	1	0	4	アンモニア菌の発生機作に関する研究

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
171	千葉	11	1	君津市立蔵玉小学校	7	26	0	0	33	植相の変化や動植物の種類、地層の学習をする
172	千葉	11	1	千葉県観光公社内浦山県民の森管理事	0	0	0	120	120	ハイキング
173	千葉	11	1	富来田公民館	0	0	0	67	67	自然観察
174	千葉	11	1	君津市周南公民館	0	0	0	35	35	ハイキング
175	千葉	11	2	砂防	0	1	2	0	3	水文調査
176	千葉	11	2	砂防	0	1	2	0	3	水文調査
177	千葉	11	2	立正大学文学部地理	1	1	0	0	2	流水による岩盤浸食
178	千葉	11	3	千葉大学理学部地球科学	3	27	0	0	30	実習
179	千葉	11	5	動物	0	1	0	0	1	マツ枯れ跡地の植生変化
180	千葉	11	2	砂防	0	1	2	0	3	水文調査
181	千葉	11	4	千葉大学理学部生態学教室	0	0	1	0	1	伐採地における草本の二次遷移
182	千葉	11	4	千葉大学理学部生態学教室	0	0	1	0	1	常緑広葉樹の葉の水分特性の測定
183	千葉	11	2	演習林	1	0	1	3	5	自然観察
184	千葉	11	2	演習林	5	0	0	0	5	調査
185	千葉	11	2	動物	0	0	1	0	1	下見
186	千葉	12	1	夷隅町公民館	0	0	0	36	36	ハイキング
187	千葉	12	1	千葉大学教育学部生物学教室	1	6	1	0	8	アンモニア菌の発生機作に関する研究
188	千葉	12	1	君津地方社会教育研究会青少年教育部会	0	0	0	15	15	ハイキング
189	千葉	12	1	テレビ朝日メディア開発局ソフト企画部	0	0	0	11	11	取材
190	千葉	12	1	千葉大学理学部生態学教室	1	3	0	0	4	常緑広葉樹の葉の寿命と展開のフェノロジー
191	千葉	12	1	一般	0	0	0	25	25	ハイキング
192	千葉	12	1	千葉大学教育学部生物学教室	1	6	1	0	8	アンモニア菌の発生機作に関する研究
193	千葉	12	1	上総ロータリークラブ	0	0	0	60	60	見学
194	千葉	12	1	君津市立小中学校	0	0	0	130	130	ハイキング
195	千葉	12	1	千葉大学理学部生態学教室	0	0	2	0	2	常緑広葉樹の葉の水分特性の測定

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
196	千葉	12	1	日本野鳥の会 千葉県支部	0	0	0	20	20	野鳥観察会
197	千葉	12	3	千葉大学自然 科学研究科	0	0	1	0	1	フサザクラに関する生態学的研究
198	千葉	12	4	砂防	0	1	2	0	3	水文調査
199	千葉	12	2	演習林	3	0	0	0	3	内部監査立ち会い
200	千葉	12	3	植物	0	0	3	0	3	ヒメコマツのこぶ病
201	千葉	12	2	経理	2	18	0	0	20	実習
202	千葉	12	4	砂防	0	1	2	0	3	水文調査
203	千葉	12	3	経理	2	19	0	0	21	実習
204	千葉	12	2	演習林	5	0	0	0	5	給与監査
205	千葉	12	2	砂防	0	1	2	0	3	水文調査
206	千葉	12	2	演習林	1	0	1	3	5	自然観察
207	千葉	12	2	演習林	1	0	1	12	14	房総丘陵のニホンザルの生態
208	千葉	12	2	砂防	0	1	2	0	3	水文調査
209	千葉	1	1	千葉大学教育 学部生物学教 室	1	6	1	0	8	アンモニア菌の発生機作に関する研究
210	千葉	1	2	教養学部生物 学教室	1	30	0	0	31	実習
211	千葉	1	3	立正大学文学 部地理	1	1	0	0	2	流水による岩盤浸食
212	千葉	1	2	筑波大学農林 技術センター	1	2	0	0	3	シカ調査
213	千葉	1	2	砂防	0	1	2	0	3	水文調査
214	千葉	1	2	砂防	0	1	2	0	3	水文調査
215	千葉	1	3	信州大学農学 部附属演習林	2	0	0	0	2	樹木フェノロジー調査及び各種見本林試験地の見学
216	千葉	1	2	演習林	1	0	0	4	5	自然観察
217	千葉	1	5	樹研	1	0	0	0	1	試験地管理・調査業務の研修
218	千葉	1	1	砂防	0	1	2	0	3	水文調査
219	千葉	2	1	砂防	0	1	2	0	3	水文調査
220	千葉	2	1	千葉県立千葉 工業高校山岳 部	0	30	0	20	50	道標の点検及び周辺の清掃のため
221	千葉	2	1	放送大学教養 学部自然の理 解専攻	0	0	0	1	1	卒業論文
222	千葉	2	1	安房支庁産業 課	0	0	0	2	2	森林管理モデル林調査
223	千葉	2	1	日本緑化セン ター	0	0	0	2	2	マツ抵抗性の育種の現状
224	千葉	2	1	千葉大学教育 学部生物学教 室	2	3	3	0	8	アンモニア菌の発生機作に関する研究

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
225	千葉	2	1	一般	0	0	0	4	4	ハイキング
226	千葉	2	1	内浦山県民の 森管理事務所	0	0	0	100	100	ハイキング
227	千葉	2	11	立正大学文学 部地理学科	0	1	0	0	1	清澄砂岩層の谷頭における土層と植生
228	千葉	2	2	砂防	0	0	2	0	2	水文調査
229	千葉	2	4	立正大学文学 部地理学科	0	4	0	0	4	清澄砂岩層の谷頭における土層と植生
230	千葉	2	3	経理	0	0	1	0	1	間伐林分の調査
231	千葉	2	2	砂防	0	0	2	0	2	水文調査
232	千葉	2	2	演習林	1	0	0	4	5	自然観察
233	千葉	2	1	砂防	0	0	2	0	2	水文調査
234	千葉	3	1	砂防	0	0	2	0	2	水文調査
235	千葉	3	1	千葉大学理学 部生態学教室	1	3	1	0	5	調査地下見
236	千葉	3	1	内浦山県民の 森管理事務局	0	0	0	20	20	マウンテンバイクスクール
237	千葉	3	1	千葉ハイキン グ連盟事務局	0	0	0	65	65	ハイキング
238	千葉	3	1	岩手大学農学 部附属演習林	3	0	0	0	3	事務研修
239	千葉	3	1	千葉大学教育 学部生物学教 室	3	3	2	0	8	アンモニア菌の発生機作に関する研究
240	千葉	3	2	千葉大学自然 科学研究科	0	0	1	0	1	フサザクラに関する生態学的研究
241	千葉	3	3	千葉県立中央 博物館生態学 研究科	3	0	0	0	3	清澄山の植物とその生態の研究、コケ物の採集
242	千葉	3	3	筑波大学生物 科学系	1	1	1	0	3	イワタバコの生育調査
243	千葉	3	2	農業生物学科 緑地学研究室	2	6	0	0	8	実習
244	千葉	3	2	森林総研	0	0	0	5	5	列状・群状植栽による施業改善効果の評価と 施業効果の確立の研究
245	千葉	3	2	砂防	0	1	1	0	2	水文調査
246	千葉	3	2	千葉大学理学 部生態学教室	1	5	2	0	8	調査地下見
247	千葉	3	2	立正大学文学 部地理	1	1	0	0	2	流氷による岩盤の浸食
248	千葉	3	3	宇都宮大学農 学部生物生産 学科	2	7	0	0	9	比較農学を学ぶ学生たちとともに暖地型森林 と農業事情の研修
千葉計					214	928	240	1,451	2,833	

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
249	北海道	4	4	北海道大学農学部	0	0	1	0	1	北海道の素材生産システムの展開と適切な作業機械化の研究
250	北海道	4	4	一般	0	0	0	1	1	森林生態撮影
251	北海道	4	4	植物	0	0	1	0	1	天然更新に関する研究
252	北海道	4	4	NHK札幌放送局	0	0	0	4	4	取材
253	北海道	4	1	住友林業紋別事業所	0	0	0	2	2	林分施業法の視察
254	北海道	5	7	植物	0	0	1	0	1	天然更新に関する研究
255	北海道	5	1	南富良野町立幾寅中学校	6	0	0	36	42	自然観察
256	北海道	5	1	自然農法国際研究開発センター	0	0	0	3	3	林内見学
257	北海道	5	1	中富良野町立中富良野小学校	2	0	0	54	56	自然観察
258	北海道	5	1	ヤイユーカーラの森	0	0	0	30	30	林内見学
259	北海道	5	3	演習林	0	0	0	0	0	事務打ち合わせ
260	北海道	5	1	富良野市立山部小学校	3	0	0	63	66	自然観察
261	北海道	5	1	富良野市立山部中学校	0	0	0	6	6	演習林の概要及び仕事について
262	北海道	5	1	大雪と石狩の自然を守る会	0	0	0	50	50	天然林及び天然林施業見学
263	北海道	5	1	南富良野町立北落合小学校	4	0	0	29	33	自然観察
264	北海道	5	5	NHK札幌放送局	0	0	0	4	4	取材
265	北海道	6	1	富良野高校	1	0	0	2	3	イワナ属2種の生態調査
266	北海道	6	2	生活の家	0	0	0	25	25	林内見学
267	北海道	6	3	北海道大学農学部	0	0	1	0	1	機械化素材生産作業システムと林況保全に関する研究
268	北海道	6	2	東京大学教育学部附属高校	1	0	0	0	1	研修打ち合わせ
269	北海道	6	1	富良野高校	2	0	0	3	5	魚類・水生昆虫の分布及び生態調査
270	北海道	6	1	山部厚生病院	0	0	0	8	8	林内見学
271	北海道	6	1	富良野高校	8	0	0	160	168	自然観察
272	北海道	6	10	NHK札幌放送局	0	0	0	4	4	取材
273	北海道	6	2	演習林	2	0	0	0	2	事務打ち合わせ
274	北海道	6	1	富良野高等技術専門学院	0	0	0	13	13	林内見学

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
275	北海道	6	1	専修大学北海道短期大学	3	35	0	2	40	実習
276	北海道	6	1	ミサワホーム総合研究所	0	0	0	2	2	国産材活用のための基礎的研究
277	北海道	6	3	東京農工大学演習林	2	0	0	0	2	森林経営学についての視察
278	北海道	6	2	英国大使館	0	0	0	2	2	林内見学
279	北海道	6	1	新王子製紙	0	0	0	8	8	林内見学
280	北海道	6	5	経理	1	0	2	0	3	森林資源調査におけるGPS利用の高度化の研究
281	北海道	6	1	日高町教育委員会	2	0	0	52	54	研修
282	北海道	6	1	所沢緑が丘高校	2	0	0	26	28	林内見学
283	北海道	6	2	北海道大学電子科学研究所	5	11	0	0	16	林内見学
284	北海道	7	17	新潟大学理学部	0	1	0	0	1	地質調査
285	北海道	7	2	家畜衛生試験場	3	0	0	0	3	自然観察
286	北海道	7	1	北海道上川支庁	4	0	0	0	4	林分施業法視察
287	北海道	7	1	自然に親しむ会	0	0	0	5	5	自然観察
288	北海道	7	3	北海道大学農学部	0	0	1	0	1	機械化素材システムの進展
289	北海道	7	1	長野県林業大学校	2	20	0	3	25	天然林の更新と施業
290	北海道	7	1	海外林業コンサルタント	0	0	0	3	3	マレーシア研修員研修
291	北海道	7	2	森林総研	2	0	0	2	4	試験地見学
292	北海道	7	1	宮城県国有林造林生産請負事業協議会	0	0	0	12	12	林内視察
293	北海道	7	2	森林文化協会	0	0	0	1	1	林内見学
294	北海道	7	1	山水会	0	0	0	11	11	林内見学
295	北海道	7	1	富良野市立釧路小学校	6	0	0	37	43	大麓山清掃登山
296	北海道	7	2	農学部・工学部	0	0	0	4	4	林内見学
297	北海道	7	6	浜松医科大学医学部	1	0	0	0	1	野生マウスの低体温調節能力の種内変異とその遺伝について
298	北海道	7	2	自然に親しむ会	0	0	0	3	3	林内見学
299	北海道	7	5	北海道大学教養学部	0	10	0	0	10	ヒグマの生態調査

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
300	北海道	7	1	木造建築フ ーラム	14	2	4	70	90	林内見学
301	北海道	7	6	NHK札幌放送 局	0	0	0	4	4	取材
302	北海道	7	19	植物	0	0	1	0	1	天然更新に関する研究
303	北海道	7	3	経済学部	4	0	0	0	4	林内見学
304	北海道	7	1	森林総研	6	0	0	0	6	現地検討会
305	北海道	7	1	歩くスキーク ラブ	0	0	0	15	15	林内見学
306	北海道	7	2	北海道大学薬 学部	6	18	0	0	24	ゼミ
307	北海道	7	2	九州大学農学 部	1	17	0	0	18	実習
308	北海道	7	4	東京大学教育 学部附属高校	3	0	0	40	43	森林学習
309	北海道	7	4	明治大学農学 部	3	15	0	0	18	樹木の生育密度調査
310	北海道	8	5	月刊「フロン ト」	0	0	0	1	1	取材
311	北海道	8	3	総長	1	0	0	0	1	演習林視察
312	北海道	8	3	庶務課	5	0	0	0	5	演習林視察
313	北海道	8	2	一般	0	0	0	1	1	林内見学
314	北海道	8	3	砂防	2	0	2	0	4	水文試験地の見学
315	北海道	8	1	富良野市中央 公民館	0	0	0	50	50	公民館講座
316	北海道	8	2	北海道大学農 学部	0	0	1	0	1	森林機械化施業システムの研究
317	北海道	8	3	北海道大学農 学部	0	15	0	0	15	林内見学
318	北海道	8	1	旭川市役所	0	0	0	2	2	イチイ移植に関する調査
319	北海道	8	5	北海道大学教 養学部	0	8	0	0	8	ヒグマ生態調査
320	北海道	8	5	高知大学農学 部	0	9	0	0	9	林内見学
321	北海道	8	17	植物	0	0	1	0	1	天然更新に関する研究
322	北海道	8	6	北海道大学地 球環境研究科	0	0	1	0	1	富良野地方における放射性降下物の土壌への 吸着量の調査
323	北海道	8	11	植物	0	0	1	0	1	エゾマツ・トドマツ衰退現象の調査
324	北海道	8	2	東京大学教育 学部附属高校	4	0	0	0	4	視察
325	北海道	8	5	植物	1	0	0	0	1	エゾマツ・トドマツ衰退現象の調査
326	北海道	8	1	一般	0	0	0	1	1	撮影
327	北海道	8	5	北海道大学教 養学部	0	8	0	0	8	ヒグマ生態調査
328	北海道	8	5	動物	2	0	0	0	2	根圏の生態研究

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
329	北海道	8	2	東京農業大学 生物産業学部	3	0	0	23	26	森林生態系と林業生産との関係
330	北海道	8	2	緑の地球ネット ワーク	0	0	0	9	9	林内見学
331	北海道	8	2	生活の家	0	0	0	15	15	林内見学
332	北海道	8	6	林政	2	24	0	0	26	実習
333	北海道	9	2	施設部	4	0	0	0	4	林内視察
334	北海道	9	2	演習林	1	0	0	0	1	林内視察
335	北海道	9	4	動物	1	0	0	0	1	ストローブマツのマツカレハ被害解析
336	北海道	9	9	動物	0	1	0	0	1	ストローブマツのマツカレハ被害解析
337	北海道	9	2	北海道大学農 学部	0	0	1	0	1	機械化素材生産作業システムと林況保全に関する研究
338	北海道	9	3	演習林	1	0	0	0	1	視察
339	北海道	9	1	庶務部	2	0	0	0	2	視察
340	北海道	9	2	北海道大学農 学部附属植物 園	2	0	0	0	2	植物調査
341	北海道	9	3	演習林	1	0	0	0	1	視察
342	北海道	9	2	施設部	3	0	0	0	3	視察
343	北海道	9	1	島根大学	2	0	0	0	2	視察
344	北海道	9	2	利用	1	0	0	0	1	林道及び生産システムの検討
345	北海道	9	1	北海道労働災 害職業病研究 対策センター	0	0	0	2	2	林内見学
346	北海道	9	1	一般	0	0	0	10	10	林内見学
347	北海道	9	1	日高西部地区 林業経営協議 会	0	0	0	15	15	林内見学
348	北海道	9	2	東日本旅客鉄 道安全研究所	0	0	0	3	3	天然性樹種による鉄道林造成の資料収集
349	北海道	9	5	北海道大学教 養学部	0	12	0	0	12	ヒグマの生態調査
350	北海道	9	3	九州集成材懇 談会	0	0	0	3	3	林内見学
351	北海道	9	2	高知学園短期 大学	4	15	0	1	20	実習
352	北海道	9	2	白老町教育委 員会	0	0	0	3	3	林内見学
353	北海道	9	4	分子細胞生物 学研究所	2	0	0	1	3	林内見学
354	北海道	9	18	植物	0	0	1	0	1	エゾマツ天然更新に関する研究
355	北海道	9	2	森林総研	1	0	0	0	1	エゾマツ生立木に寄生するマツノカタワタケに関する研究
356	北海道	9	2	信州大学農学 部	0	0	1	0	1	菌類の研究

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
357	北海道	9	2	植物	1	0	0	0	1	トウヒ属雑種のDNA分析
358	北海道	9	23	富良野市公民館	0	0	0	53	53	公民館講座
359	北海道	9	1	国立精神・神経センター	0	0	0	1	1	林内見学
360	北海道	9	3	埼玉県自然博物館	1	0	1	0	2	水河時代の古植生の研究
361	北海道	9	2	事務局	2	0	0	0	2	視察
362	北海道	9	2	農学部	1	0	0	0	1	視察
363	北海道	9	2	演習林	2	0	0	0	2	視察
364	北海道	9	3	農学部	1	0	0	0	1	視察
365	北海道	9	2	文部省学術情報センター	3	0	0	0	3	林内見学
366	北海道	9	5	北海道大学教養学部	0	6	0	0	6	ヒグマの生態調査
367	北海道	9	2	演友会	0	0	0	14	14	林内見学
368	北海道	9	1	林業講習所	0	0	0	21	21	林内見学
369	北海道	9	2	ニッセイ緑の財団	0	0	0	1	1	林内見学
370	北海道	9	6	NHK札幌放送局	0	0	0	4	4	取材
371	北海道	9	5	地衣類研究グループ	3	0	1	2	6	地衣植物の調査
372	北海道	9	4	教養学部	0	28	0	0	28	実習
373	北海道	10	1	三重県議会	0	0	0	11	11	農林水産常任委員調査
374	北海道	10	2	演習林	3	0	0	0	3	打ち合わせ
375	北海道	10	2	北海道保健環境部	0	0	0	9	9	北海道環境ビデオ制作
376	北海道	10	1	林木育種センター北海道育種場	2	0	0	1	3	林内視察
377	北海道	10	1	富良野ライオンズクラブ	0	0	0	50	50	林内見学
378	北海道	10	1	ヤイユーカーラの森	0	0	0	40	40	林内見学
379	北海道	10	2	原子核研究所	1	0	0	0	1	林内見学
380	北海道	10	5	一般	0	0	0	1	1	撮影
381	北海道	10	2	経理部	2	0	0	0	2	調査
382	北海道	10	3	演習林	1	0	0	0	1	調査
383	北海道	10	6	演習林	1	0	0	0	1	打ち合わせ
384	北海道	10	4	植物	0	0	0	0	0	天然更新に関する研究
385	北海道	10	4	北海道大学農学部	0	8	0	0	8	ヒグマ生態調査
386	北海道	10	2	演習林	5	0	3	0	8	打ち合わせ

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
387	北海道	10	1	上川地方林業 経営者協議会	0	0	0	14	14	樹木園見学
388	北海道	10	1	岩見沢農業高 校	2	0	0	39	41	実習
389	北海道	10	4	利用	0	0	2	1	3	ユフロ研究集会出席
390	北海道	10	1	ユフロ国際研 究集会	100	0	0	0	100	ユフロ北海道演習林見学会
391	北海道	10	6	植物	0	0	1	0	1	天然更新に関する研究
392	北海道	10	2	経理部	3	0	0	0	3	監査
393	北海道	10	2	演習林	1	0	0	0	1	監査
394	北海道	10	4	北海道大学農 学部	0	8	0	0	8	ヒグマ生態調査
395	北海道	10	3	造林	2	0	1	0	3	天然林の視察
396	北海道	10	3	札幌市立月寒 中学校	6	0	0	19	25	自然観察
397	北海道	11	1	林政研究会	0	0	0	17	17	林分施業法の研修
398	北海道	11	3	千歳演習林	1	0	0	0	1	亜熱帯林における森林衰退現象の生態把握と 環境要因の解析
399	北海道	11	4	演習林	2	0	0	0	2	亜熱帯林における森林衰退現象の生態把握と 環境要因の解析
400	北海道	11	2	北海道大学演 習林	1	0	0	0	1	フェノロジー観察木の発送
401	北海道	11	2	北海道教育大 学札幌分校	1	0	0	0	1	針葉樹若齢木のヤング係数測定法の検討と選 抜育種の研究
402	北海道	11	2	林業科学振興 所北海道支所	1	0	0	0	1	林木育種に関する研究
403	北海道	11	4	北海道大学農 学部	0	10	0	0	10	ヒグマ生態調査
404	北海道	11	2	HTB映像	0	0	0	6	6	取材
405	北海道	11	2	北海道大学農 学部	0	0	1	0	1	機械化素材生産システムの進化とモデルの研究
406	北海道	12	1	国際協力事業 団	0	0	0	3	3	林内見学
407	北海道	2	5	経理	1	0	0	0	1	GPS利用の実用化
408	北海道	2	2	医学部附属病 院分院	2	0	0	0	2	林内見学
409	北海道	3	2	国立婦人教育 会館	2	0	0	0	2	林内見学
410	北海道	3	2	経理部	2	0	0	0	2	視察
411	北海道	3	2	演習林	2	0	0	0	2	視察
412	北海道	3	2	北海道財務局 旭川財務事務 所	0	0	0	14	14	国有財産視察
413	北海道	3	2	宇宙科学研究 所	1	0	0	0	1	林内見学

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
414	北海道	3	2	北海道大学演習林	3	0	0	0	3	林内見学
415	北海道	3	2	北海道大学工学部	2	0	0	0	2	林内見学
416	北海道	3	3	演習林	1	0	0	0	1	林内見学
417	北海道	3	2	国立国語研究所	3	0	0	0	3	林内見学
418	北海道	3	2	庶務部	3	0	0	0	3	林内見学
419	北海道	3	2	医学部	4	0	0	0	4	林内見学
420	北海道	3	2	文学部	2	0	0	0	2	林内見学
421	北海道	3	5	北海道大学農学部	0	0	1	0	1	素材生産システムに関する研究
422	北海道	3	5	農学部	0	0	1	0	1	天然林施業法の研究
423	北海道	3	2	経理部	2	0	0	0	2	検査
424	北海道	3	2	演習林	1	0	0	0	1	検査
北海道計					324	281	33	1,260	1,898	

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
425	秩父	4	1	埼玉県国土緑化推進委員会	0	0	0	1	1	節分草の観察
426	秩父	4	4	埼玉県林業試験場	0	0	0	3	3	環境保全と緑化に関する研究
427	秩父	4	2	早稲田大学教育学部生物	0	0	1	0	1	鳥類調査
428	秩父	4	10	動物	0	0	1	0	1	クマの生態調査
429	秩父	4	1	造林	0	0	4	0	4	水質調査
430	秩父	4	1	利用	2	0	0	0	2	実習下見
431	秩父	4	2	演習林	2	0	0	0	2	調査
432	秩父	4	2	砂防	2	1	3	0	6	水文試験地調査
433	秩父	4	1	植物	2	0	1	0	3	酸性雨が菌根と樹木の生理状態に与える影響の調査
434	秩父	4	4	利用	2	8	1	0	11	実習
435	秩父	4	4	利用	2	0	0	0	2	実習
436	秩父	4	3	千葉大学理学部生物学科	0	0	1	0	1	ブナ・ツガ・イヌブナ林調査
437	秩父	4	2	植物	0	1	3	0	4	ブナの適応的変異の研究
438	秩父	4	2	植物	0	1	0	0	1	ブナ・イヌブナの更新に関する研究
439	秩父	4	2	砂防	0	2	1	0	3	植生の異なる試験地での降雨の樹幹遮断量調査
440	秩父	5	10	動物	1	0	0	0	1	溪流中の落葉分解実験
441	秩父	5	4	植物	0	0	1	0	1	ブナの適応的変異の研究
442	秩父	5	4	砂防	0	1	1	0	2	植生の異なる試験地での降雨の樹幹遮断量調査
443	秩父	5	2	砂防	0	1	1	0	2	植生の異なる試験地での降雨の樹幹遮断量調査
444	秩父	5	4	植物	0	1	0	0	1	ブナの実生の消長調査

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
445	秩父	5	2	埼玉県林業試験場	0	0	0	3	3	環境保全と緑化に関する研究
446	秩父	5	14	動物	0	0	1	0	1	クマの生態調査
447	秩父	5	2	東京農工大学農学部野生動物管理学講座	2	14	4	0	20	ヤマドリ の 区画法調査
448	秩父	5	3	埼玉県高校体育連盟	20	0	0	300	320	埼玉県高校学徒登山大会
449	秩父	5	1	植物	0	0	1	0	1	モミの外生菌根形成に対する様々なストレスの影響について
450	秩父	5	5	千葉大学理学部生物学科	0	1	1	0	2	ブナ・ツガ・イヌブナ林調査
451	秩父	5	5	千葉大学理学部生物学科	0	0	1	0	1	ブナ・ツガ・イヌブナ林調査
452	秩父	5	2	千葉大学理学部生物学科	0	0	10	0	10	ブナ・イヌブナ林見学
453	秩父	5	1	造林	1	0	2	0	3	水質調査
454	秩父	6	3	砂防	1	2	0	0	3	植生の異なる試験地での降雨の樹幹遮断量調査
455	秩父	6	1	植物	0	0	1	0	1	ブナの適応的変異の研究
456	秩父	6	2	埼玉県林業試験場	0	0	0	3	3	環境保全と緑化に関する研究
457	秩父	6	8	動物	1	0	0	0	1	溪流中の落葉分解実験
458	秩父	6	6	植物	0	1	0	0	1	ブナの実生の消長調査
459	秩父	6	12	動物	0	0	1	0	1	クマの生態調査
460	秩父	6	1	農芸化学科	4	5	16	0	25	視察
461	秩父	6	1	植物	0	0	2	0	2	モミの外生菌根形成に対する様々なストレスの影響について
462	秩父	6	1	造林	1	0	1	0	2	水質調査
463	秩父	6	2	経理部	3	0	0	0	3	施設調査
464	秩父	6	1	大蔵省関東財務局	5	0	0	0	5	見学
465	秩父	6	1	利用	3	0	0	0	3	下見
466	秩父	6	1	造林	1	0	2	0	3	水質調査
467	秩父	6	1	植物	2	0	0	0	2	下見
468	秩父	6	4	国際基督教大学教養学部	0	27	0	0	27	実習
469	秩父	6	4	国際基督教大学教養学部	3	0	0	2	5	実習
470	秩父	7	2	植物	1	0	0	0	1	菌類調査
471	秩父	7	2	植物	0	0	3	0	3	菌類調査
472	秩父	7	3	動物	0	27	5	0	32	実習
473	秩父	7	2	動物	2	0	0	0	2	実習
474	秩父	7	3	動物	3	0	0	0	3	実習
475	秩父	7	4	造林	0	28	4	0	32	実習
476	秩父	7	4	造林	3	0	0	0	3	実習

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
477	秩父	7	3	山階鳥類研究所	0	0	0	1	1	鳥類音声研究のため野外録音
478	秩父	7	3	演習林	1	0	0	0	1	昆虫採集
479	秩父	7	3	千葉大学理学部生物学科	0	0	1	0	1	ブナ・ツガ・イヌブナ林調査
480	秩父	7	4	京都大学生態研究センター	2	2	0	0	4	冷温帯林の構造とその維持機構に関する調査
481	秩父	7	10	琉球大学農学部生産環境学科	1	3	0	0	4	実習
482	秩父	7	1	砂防	0	3	0	0	3	植生の異なる試験地での降雨の樹幹遮断量調査
483	秩父	7	1	砂防	1	2	0	0	3	植生の異なる試験地での降雨の樹幹遮断量調査
484	秩父	7	1	砂防	0	2	1	0	3	植生の異なる試験地での降雨の樹幹遮断量調査
485	秩父	7	1	筑波大学応用生物化学系	3	6	8	0	17	森林土壌調査
486	秩父	7	4	植物	0	1	0	0	1	ブナの実生の消長調査
487	秩父	7	10	動物	0	0	1	0	1	クマの生態調査
488	秩父	7	3	利用	0	21	6	0	27	実習
489	秩父	7	3	利用	2	0	0	0	2	実習
490	秩父	7	2	埼玉県林業試験場	0	0	0	3	3	環境保全と緑化に関する研究
491	秩父	7	2	造林	0	1	3	0	4	水質調査
492	秩父	7	4	植物	0	25	6	0	31	実習
493	秩父	7	4	植物	3	0	0	0	3	実習
494	秩父	8	4	植物	0	1	0	0	1	ブナの実生の消長調査
495	秩父	8	2	埼玉県立秩父農工高校	2	0	0	42	44	実習
496	秩父	8	2	応用動物科学	1	0	0	0	1	林内見学
497	秩父	8	3	帯広畜産大学生態系	0	0	1	0	1	カワガラスの観察
498	秩父	8	1	造林	1	0	3	0	4	水質調査
499	秩父	8	1	造林	1	0	1	0	2	水質調査
500	秩父	8	2	砂防	0	2	1	0	3	植生の異なる試験地での降雨の樹幹遮断量調査
501	秩父	8	1	砂防	1	1	1	0	3	植生の異なる試験地での降雨の樹幹遮断量調査
502	秩父	8	1	ツキノワ会	0	0	0	3	3	ツキノワグマ調査見学
503	秩父	8	3	利用	1	1	2	0	4	下刈作業実験
504	秩父	8	1	埼玉県林業試験場	0	0	0	3	3	環境保全と緑化に関する研究
505	秩父	8	1	植物	0	0	1	0	1	モミの外生菌根形成に対する様々なストレスの影響について
506	秩父	8	2	埼玉県環境部大気保全課	0	0	0	5	5	大気汚染物質の大気環境中濃度の測定
507	秩父	9	1	埼玉県林業試験場	0	0	0	3	3	環境保全と緑化に関する研究

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
508	秩父	9	2	(株) プラトー 研究所	0	0	0	18	18	林内見学
509	秩父	9	5	立教大学一般 教育部	3	17	0	0	20	実習
510	秩父	9	4	千葉大学理学 部生物学科	0	0	1	0	1	ブナ・イヌブナ林見学
511	秩父	9	10	動物	0	0	1	0	1	クマの生態調査
512	秩父	9	2	慶応大学環境 情報部	1	0	0	0	1	林内見学
513	秩父	9	4	植物	0	1	0	0	1	ブナの実生の消長調査
514	秩父	9	1	砂防	0	2	1	0	3	植生の異なる試験地での降雨の樹幹遮断量調査
515	秩父	9	2	砂防	1	2	0	0	3	植生の異なる試験地での降雨の樹幹遮断量調査
516	秩父	9	2	利用	3	0	0	0	3	自然環境調査
517	秩父	9	1	造林	1	0	1	0	2	水質調査
518	秩父	9	1	植物	0	0	1	0	1	モミの外生菌根形成に対する様々なストレス の影響について
519	秩父	10	1	砂防	1	3	0	0	4	微地形、植生による樹冠断雨量の相違について
520	秩父	10	2	砂防	1	2	1	0	4	微地形、植生による樹冠断雨量の相違について
521	秩父	10	1	砂防	0	2	1	0	3	微地形、植生による樹冠断雨量の相違について
522	秩父	10	1	砂防	1	2	1	0	4	微地形、植生による樹冠断雨量の相違について
523	秩父	10	4	植物	0	1	0	0	1	ブナの実生の消長調査
524	秩父	10	5	植物	0	0	1	0	1	モミの外生菌根形成に対する様々なストレス の影響について
525	秩父	10	15	動物	0	0	1	0	1	クマの生態調査
526	秩父	10	1	北海道大学農 学研究科	0	0	1	0	1	ブナ林の植生の観察
527	秩父	10	2	造林	1	0	1	0	2	水質調査
528	秩父	10	2	経理	2	0	0	0	2	持続的森林経営ならびに演習林の学外評価に ついての討議
529	秩父	10	1	砂防	1	0	0	0	1	雁坂トンネル湧水観測調査地検討
530	秩父	10	4	経理	2	1	4	0	7	成長試験地の測定
531	秩父	10	7	千葉大学理学 部生物学科	0	0	1	0	1	ブナ・イヌブナ林見学
532	秩父	10	1	埼玉県林業試 験場	0	0	0	3	3	環境保全と緑化に関する研究
533	秩父	10	5	植物	0	0	1	0	1	ブナの適応的変異に関する研究
534	秩父	10	2	植物	0	0	2	0	2	ブナの適応的変異に関する研究
535	秩父	10	4	東京都立大学 理学部生物学 科	0	0	1	1	2	鳥類調査研修
536	秩父	10	2	応用動物科学	1	0	0	0	1	野生獣生息地としての演習林の研究
537	秩父	10	3	農学部他	12	2	2	0	16	森林体験セミナー
538	秩父	10	2	演習林	2	0	0	0	2	鳥類及び水文造林試験に関する研修
539	秩父	11	6	植物	0	1	0	0	1	ブナの実生の消長調査

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
540	秩父	11	1	秩父フレンド リーテニス同 好会	0	0	0	20	20	林内見学
541	秩父	11	2	植物	0	0	1	0	1	ブナの適応的変異に関する研究
542	秩父	11	7	植物	0	0	1	0	1	ブナの適応的変異に関する研究
543	秩父	11	15	動物	0	0	1	0	1	クマの生態調査
544	秩父	11	2	動物	1	0	0	0	1	調査
545	秩父	11	2	演習林	2	0	0	0	2	調査
546	秩父	11	3	宇都宮大学農 学部森林科学 科	1	3	1	0	5	調査
547	秩父	11	1	埼玉県林業試 験場	0	0	0	3	3	環境保全と緑化に関する研究
548	秩父	11	2	植物	1	0	1	0	2	モミの外生菌根形成に対する様々なストレス の影響について
549	秩父	11	3	千葉大学理学 部生物学科	0	0	2	0	2	ブナ・イヌブナ林見学
550	秩父	11	2	経理部	4	0	0	0	4	内部監査
551	秩父	11	1	工学部産業機 械学科	1	0	0	12	13	林内見学
552	秩父	11	2	武蔵大学人文 学部	3	4	0	0	7	生物学実験
553	秩父	11	1	砂防	0	2	1	0	3	微地形、植生による樹冠断雨量の相違について
554	秩父	11	2	砂防	0	5	1	0	6	微地形、植生による樹冠断雨量の相違について
555	秩父	11	2	利用	1	0	0	1	2	調査
556	秩父	11	1	森林文化協会	0	0	0	1	1	林内見学
557	秩父	12	2	埼玉県林業試 験場	0	0	0	3	3	環境保全と緑化に関する研究
558	秩父	12	1	造林	1	0	1	0	2	水質調査
559	秩父	12	3	砂防	0	2	2	0	4	森林地の蒸発散量の観測及び撤収作業
560	秩父	12	2	獣医	1	2	4	0	7	林内見学
561	秩父	12	2	植物	0	0	1	0	1	モミの外生菌根形成に対する様々なストレス の影響について
562	秩父	12	3	動物	1	0	0	0	1	溪流中の落葉分解
563	秩父	12	9	千葉大学理学 部生物学科	0	0	2	0	2	大面積調査区設定・測量補助
564	秩父	12	3	動物	0	0	1	0	1	クマの生態調査
565	秩父	12	1	演習林	0	0	0	0	0	大面積プロットによる秩父地方天然林生態系 の解明
566	秩父	12	3	利用	1	0	2	0	3	調査
567	秩父	12	2	利用	1	0	0	0	1	調査
568	秩父	12	1	植物	0	1	0	0	1	ブナの実生の消長調査
569	秩父	12	2	演習林	1	0	0	0	1	景観ネットワーク
570	秩父	1	2	風致	1	0	9	0	10	調査

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
571	秩父	1	1	演習林	1	0	0	0	1	大面積プロットによる秩父地方天然林生態系の解明
572	秩父	1	2	植物	0	0	1	1	2	モミの外生菌根形成に対する様々なストレスの影響について
573	秩父	1	1	植物	0	0	1	0	1	モミの外生菌根形成に対する様々なストレスの影響について
574	秩父	1	6	千葉大学理学部生物学科	0	0	2	0	2	大面積調査区設定・測量補助
575	秩父	1	3	千葉大学理学部生物学科	0	1	1	0	2	大面積調査区設定・測量補助
576	秩父	1	1	造林	0	0	3	0	3	水質調査
577	秩父	1	2	利用	1	0	2	0	3	調査
578	秩父	1	1	利用	1	0	2	0	3	調査
579	秩父	2	3	植物	0	0	1	0	1	モミの外生菌根形成に対する様々なストレスの影響について
580	秩父	2	1	演習林	1	0	0	0	1	林道法面の植生回復状況調査
581	秩父	2	2	造林	0	0	5	0	5	水質調査
582	秩父	2	2	応用動物科学	1	0	1	0	2	ブナ・イヌブナ林動物調査
583	秩父	2	1	森林総研	1	0	0	0	1	鳥類調査及び森林の見学
584	秩父	3	3	応用動物	2	3	2	0	7	調査
585	秩父	3	2	演習林	1	0	0	0	1	調査
586	秩父	3	6	千葉大学理学部生物学科	0	0	2	0	2	ブナ・イヌブナ林見学
587	秩父	3	3	植物	0	0	1	0	1	モミの外生菌根形成に対する様々なストレスの影響について
588	秩父	3	2	演習林	1	0	0	0	1	林道法面の植生回復状況調査
589	秩父	3	7	動物	0	1	0	0	1	クマ調査の下見
590	秩父	3	2	演習林	3	0	0	0	3	金庫検査
				秩父計	156	252	188	435	1,031	

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
591	愛知	4	1	静岡大学農学部	1	0	0	0	1	花崗岩風化土壌調査
592	愛知	4	2	演習林	1	0	0	0	1	打ち合わせ
593	愛知	4	1	名古屋大学農学部	2	20	0	0	22	実習
594	愛知	4	1	静岡大学農学部	1	0	0	0	1	花崗岩風化土壌調査
595	愛知	4	6	千葉大学理学部	0	1	2	0	3	水文流域における調査
596	愛知	4	2	演習林	2	0	0	0	2	視察
597	愛知	5	6	千葉大学理学部	0	0	2	0	2	水文流域における調査

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
598	愛知	5	1	演習林	1	0	0	0	1	打ち合わせ
599	愛知	6	1	砂防	1	0	0	0	1	量水試験地の視察
600	愛知	6	1	静岡林業技術センター	0	0	0	1	1	新居試験地における海岸クロマツ防災林植栽状況調査
601	愛知	6	3	砂防	1	11	3	0	15	実習
602	愛知	6	8	インドネシア公共事業省	0	0	0	1	1	論文執筆
603	愛知	6	9	千葉大学理学部	0	0	3	0	3	水文流域における調査
604	愛知	6	1	演習林	1	0	0	0	1	打ち合わせ
605	愛知	7	5	千葉大学理学部	0	0	2	0	2	水文流域における調査
606	愛知	7	1	名古屋大学農学部	1	2	2	0	5	樹木穿孔性昆虫に関する研究
607	愛知	7	3	砂防	0	0	2	0	2	ライシメータによる観測整備
608	愛知	7	2	千葉大学農学部	1	0	0	0	1	研究会議
609	愛知	7	2	筑波大学地球科学系	1	0	0	0	1	研究会議
610	愛知	7	1	砂防	1	0	0	0	1	研究会議
611	愛知	7	1	名古屋大学農学部	1	2	2	0	5	樹木穿孔性昆虫に関する研究
612	愛知	8	3	森林総研	0	0	0	1	1	森林土壌試料採取、土壌調査
613	愛知	8	29	砂防	0	0	1	0	1	ライシメータによる観測整備
614	愛知	8	1	演習林	1	0	0	0	1	希少遺伝資源調査
615	愛知	9	2	東京農工大学	1	0	0	0	1	スギ品種による黒心の出現性・心材含水率と仮道管有縁壁孔の開放性に関する研究
616	愛知	9	14	千葉大学理学部	0	0	2	0	2	水文流域における調査
617	愛知	10	2	岡山大学農学部	0	2	0	0	2	樹冠上風速の鉛直成分の特性の検討
618	愛知	10	6	砂防	1	23	1	0	25	実習
619	愛知	10	1	静岡大学農学部	1	0	0	0	1	森林土壌試料の採取
620	愛知	10	2	東京農工大学	1	0	0	0	1	視察
621	愛知	11	2	東京農工大学	3	0	2	0	5	視察
622	愛知	11	2	経理部	3	0	0	0	3	監査
623	愛知	11	2	演習林	1	0	0	0	1	監査
624	愛知	11	5	千葉大学理学部	0	0	2	0	2	水文流域における調査
625	愛知	11	2	千葉大学理学部	1	0	0	0	1	水文流域における調査
626	愛知	11	1	施設部	3	0	0	0	3	監査
627	愛知	11	1	演習林	2	0	0	0	2	監査

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
628	愛知	12	2	東京農業大学 林学科	1	3	0	0	4	水文試験流域の調査
629	愛知	12	3	筑波大学地球 科学系	1	0	0	0	1	水文試験流域における土層調査
630	愛知	12	3	京都大学工学 部	1	0	2	0	3	高分解DEMを用いた分布型流出シミュレーションモデルの開発
631	愛知	12	3	京都大学防災 研究所	1	1	0	0	2	水文試験流域における土層調査
632	愛知	1	1	名古屋大学農 学部	1	2	1	0	4	集材架線に関する実験
633	愛知	1	2	演習林	20	0	0	0	3	会議
634	愛知	1	1	演習林	4	0	0	0	2	会議
635	愛知	1	1	名古屋大学農 学部	1	2	1	0	4	集材架線に関する実験
636	愛知	1	2	砂防	0	1	1	0	2	量水試験地の視察
637	愛知	2	1	名古屋大学農 学部	1	2	1	0	4	集材架線に関する実験
638	愛知	2	2	島根県林業技 術センター	0	0	0	2	2	適地適木調査
639	愛知	3	7	名古屋大学農 学部	2	22	0	0	24	実習
640	愛知	3	1	北海道大学農 学部	3	0	0	0	3	愛知演習林内見学
641	愛知	3	2	(社)日本林業 技術協会国際 部	0	0	0	3	3	森林復旧に関する砂防現場見学
642	愛知	3	1	農学部	2	0	0	0	2	打ち合わせ
643	愛知	3	2	農学部	2	0	0	0	2	打ち合わせ
644	愛知	3	2	演習林	1	0	0	0	1	打ち合わせ
				愛知計	75	94	32	8	209	

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
645	富士	4	3	慶応大学環境 情報学部	3	0	1	0	4	富士産及び新潟産のブナの実生の形態の比較研究
646	富士	4	1	庶務	17	0	0	0	17	新規採用職員研修における施設見学
647	富士	5	1	慶応大学環境 情報学部	3	0	1	0	4	富士産及び新潟産のブナの実生の形態の比較研究
648	富士	5	1	風致	2	4	6	0	12	実習
649	富士	6	1	渋谷区立幡代 小学校	9	0	0	119	128	自然観察
650	富士	6	1	横浜市立汐見 台中学校	0	0	0	200	200	自然観察

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
651	富士	6	1	渋谷区立大向小学校	6	0	0	63	69	自然観察
652	富士	6	1	渋谷区立代々木小学校	5	0	0	34	39	自然観察
653	富士	6	1	事務担当者	30	0	0	0	30	施設見学
654	富士	7	1	青葉学園幼稚園	25	0	0	124	149	自然観察
655	富士	7	1	渋谷幼稚園	15	0	0	46	61	自然観察
656	富士	7	1	慶応大学環境情報学部	3	0	0	0	3	富士産及び新潟産のブナの実生の形態の比較研究
657	富士	7	2	東京丸山学園丸山幼稚園	21	0	0	106	127	自然観察
658	富士	7	12	馬術部	0	33	0	0	33	合宿
659	富士	7	2	静岡星美学園星美小学校	11	0	0	56	67	自然観察
660	富士	8	23	馬術部	0	33	0	0	33	合宿
661	富士	8	1	東京丸山学園丸山幼稚園	9	0	0	34	43	自然観察
662	富士	8	1	林野庁林業講習所	2	0	0	39	41	森林土木技術者のための森林景観研修
663	富士	8	1	慶応大学環境情報学部	3	0	0	0	3	富士産及び新潟産のブナの実生の形態の比較研究
664	富士	8	1	(財)日本児童家庭文化協会	0	0	0	250	250	自然観察
665	富士	9	8	工学部土木工学科	3	55	0	0	58	測量学授業
666	富士	9	1	慶応大学環境情報学部	3	0	0	0	3	富士産及び新潟産のブナの実生の形態の比較研究
667	富士	10	3	東邦大学理学部	3	0	0	0	3	富士演習林の植生とネズミ個体群の個体数変動との関連研究
				富士計	173	125	8	1,071	1,377	

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
668	樹芸	4	1	一般見学者	0	0	0	64	64	見学
669	樹芸	4	2	演習林	1	0	0	0	1	視察
670	樹芸	4	1	住友林業筑波研究所	2	0	0	0	2	見学
671	樹芸	4	1	生物制御工学研究室	0	1	2	0	3	脱硫菌のスクリーニング
672	樹芸	4	2	演習林	2	0	0	0	2	視察
673	樹芸	5	1	一般見学者	0	0	0	10	10	見学
674	樹芸	5	3	造林	0	0	1	1	2	林内光環境と雑樹の生理特性
675	樹芸	5	5	演習林	4	0	0	0	4	試験地立木間伐及び間伐等の指導

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
676	樹芸	6	1	一般見学者	0	0	0	1	1	見学
677	樹芸	6	1	演習林	19	0	0	0	19	見学
678	樹芸	6	1	演習林	1	0	0	0	1	打ち合わせ
679	樹芸	6	2	造林	0	1	2	0	3	熱帯産マメ科樹木の根圏ストレスに対する反応機構試験の苗木の育苗
680	樹芸	7	1	一般見学者	0	0	0	29	29	見学
681	樹芸	7	1	南伊豆町小中学校教頭会	9	0	0	0	9	町内事業所教材利用のための研修
682	樹芸	7	1	森林総研	1	0	0	0	1	打ち合わせ
683	樹芸	7	2	造林	0	0	1	0	1	フタバガキ科樹木の増殖
684	樹芸	7	3	造林	0	0	2	0	2	植物の成長に及ぼす光の影響
685	樹芸	7	1	造林	0	0	2	0	2	熱帯産樹種の増殖と生理的特性
686	樹芸	7	9	下田南高校南伊豆分校	0	0	0	2	2	実習
687	樹芸	8	1	一般見学者	0	0	0	37	37	見学
688	樹芸	9	1	一般見学者	0	0	0	14	14	見学
689	樹芸	9	1	造林	0	0	3	0	3	酸・塩・乾ストレスに対する反応機構
690	樹芸	9	7	千葉大学理学部	2	31	1	0	34	実習
691	樹芸	10	1	一般見学者	0	0	0	3	3	見学
692	樹芸	10	1	造林	0	0	2	0	2	フタバガキ科樹木の増殖
693	樹芸	10	1	一般	1	0	0	0	1	林木種子の採取
694	樹芸	10	1	韓国林業研究院	3	0	0	0	3	遺伝子資源の保存状況調査
695	樹芸	10	1	造林	0	0	1	0	1	植物の成長の及ぼす光の影響
696	樹芸	11	1	一般見学者	0	0	0	19	19	見学
697	樹芸	11	2	演習林	0	0	1	0	1	日本産竹類の栽培と分類に関する研究
698	樹芸	11	1	造林	0	0	2	1	3	熱帯樹木の造林、増殖に関する研究
699	樹芸	11	2	経理部	4	0	0	0	4	監査
700	樹芸	12	1	一般見学者	0	0	0	3	3	見学
701	樹芸	12	5	日本製紙岩国技術研究所	3	0	0	0	3	ユーカリ属の造林学的研究
702	樹芸	12	2	演習林	1	0	0	0	1	職員への研究指導
703	樹芸	12	2	演習林	2	0	0	0	2	職員への指導
704	樹芸	1	1	一般見学者	0	0	0	9	9	見学
705	樹芸	1	1	造林	0	0	2	0	2	フタバガキ科樹木の栽培条件
706	樹芸	1	1	静岡県植物群落同好会	15	0	0	0	15	樹芸研究所植物群落リスト作成予備調査
707	樹芸	1	1	日本シダの会	2	0	0	0	2	伊豆半島南部シダ群落調査
708	樹芸	2	1	一般見学者	0	0	0	12	12	見学
709	樹芸	2	1	造林	0	0	3	0	3	フタバガキ科樹木の造林に関する研究
710	樹芸	2	1	造林	0	0	1	0	1	フタバガキ科樹木の造林に関する研究
711	樹芸	2	1	信州大学教養学部	1	0	1	0	2	ホタルブクロの採集

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
712	樹芸	2	2	東京農工大学 農学部	2	2	1	0	5	実習
713	樹芸	2	2	石川県金沢林 業事務所	3	0	0	0	3	森林土木における森林整備について
714	樹芸	3	1	一般見学者	0	0	0	14	14	見学
715	樹芸	3	1	朝日カルチャ ーセンター千 葉	0	0	0	14	14	植物研修
716	樹芸	3	1	水産実験所	3	0	0	0	3	研修・見学
717	樹芸	3	1	造林	0	0	2	0	2	フタバガキ科樹木の造林に関する研究
718	樹芸	3	5	演習林	20	0	0	0	20	見学
719	樹芸	3	2	静岡県植物群 落同好会	8	0	0	0	8	樹芸研究所植物群落リスト作成調査
				樹芸計	109	35	30	233	407	

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
720	田無	4	8	動物	1	0	0	0	1	モミジイタイケアブラムシと寄生のの相互関係
721	田無	4	2	動物	1	0	0	0	1	ゴミグモ属の生活史戦略
722	田無	4	4	動物	0	0	1	0	1	針葉樹寄生性アブラムシの生態
723	田無	4	2	動物	0	0	1	0	1	ダンゴムシの生活史に関する研究
724	田無	4	1	一般4月計	0	0	0	673	673	林内見学
725	田無	5	6	動物	0	0	0	0	0	モミジニタイケアブラムシと寄生の相互関係
726	田無	5	3	動物	1	0	0	0	1	ゴミグモ属の比較生態
727	田無	5	4	動物	1	0	1	0	2	針葉樹寄生性アブラムシの生態
728	田無	5	5	動物	0	0	1	0	1	トウキョウコシビロダンゴムシの生活史の関 する研究
729	田無	5	3	動物	0	1	0	0	1	マツクイムシによるマツ枯れ被害跡地の植生 変化
730	田無	5	2	動物	0	1	0	0	1	マツの根におけるクロカミキリ寄生数の調査
731	田無	5	4	造林	0	0	1	0	1	土壌に起因するストレスに対する熱帯産樹木 の耐性機構
732	田無	5	2	植物	0	0	1	0	1	ザイセンチュウ病の枯死機構に関する研究
733	田無	5	3	砂防	2	2	2	0	6	武蔵野台地における地下水かん養機構に関す る研究
734	田無	5	2	造林	2	35	0	0	37	実習
735	田無	5	1	動物	2	30	0	0	32	実習
736	田無	5	1	一般5月計	0	0	0	839	839	林内見学
737	田無	6	8	動物	1	0	0	0	1	モミジイタイケアブラムシと寄生の相互関係
738	田無	6	4	動物	1	0	0	0	1	ゴミグモ属の比較生態
739	田無	6	5	動物	0	0	1	0	1	針葉樹寄生性アブラムシの生態
740	田無	6	2	動物	0	1	0	0	1	マツの根におけるクロカミキリ寄生数の調査
741	田無	6	1	動物	0	0	1	0	1	菌類の感染に対するヒノキ樹皮組織の反応
742	田無	6	2	動物	0	0	1	0	1	演習林に棲息するミミズの食性に関する研究

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
743	田無	6	4	動物	0	1	0	0	1	硫酸酸性水と虫の食害によるクロマツへの影響
744	田無	6	3	動物	0	1	0	0	1	マツクイムシによるマツ枯れ被害跡地の植生変化
745	田無	6	5	砂防	2	2	2	0	6	武蔵野台地における地下水かん養機構に関する研究
746	田無	6	2	造林	0	0	1	0	1	土壤に起因するストレスに対する熱帯産樹木の耐性機構
747	田無	6	1	造林	0	0	1	0	1	中国産ポプラの環境ストレス耐性機構解明
748	田無	6	2	造林	0	1	0	0	1	熱帯産樹種の環境ストレス耐性
749	田無	6	6	植物	0	0	1	0	1	ザイセンチュウ病の枯死機構に関する研究
750	田無	6	1	一般6月計	0	0	0	506	506	林内見学
751	田無	7	5	動物	1	0	0	0	1	モミジイタイケアブラムシと寄生の相互関係
752	田無	7	1	動物	1	0	0	0	1	ゴミグモ属の比較生態
753	田無	7	4	動物	0	0	1	0	1	針葉樹寄生性アブラムシの生態
754	田無	7	9	動物	0	1	0	0	1	マツの根におけるクロカミキリ寄生数の調査
755	田無	7	1	動物	0	0	1	0	1	演習林に棲息するミミズの食性に関する研究
756	田無	7	4	動物	0	1	0	0	1	硫酸酸性水と虫の食害によるクロマツへの影響
757	田無	7	2	動物	0	1	0	0	1	マツクイムシによるマツ枯れ被害跡地の植生変化
758	田無	7	2	砂防	2	2	2	0	6	武蔵野台地における地下水かん養機構に関する研究
759	田無	7	2	造林	0	0	1	0	1	土壤に起因するストレスに対する熱帯産樹木の耐性機構
760	田無	7	2	造林	0	0	1	0	1	中国産ポプラの環境ストレス耐性機構解明
761	田無	7	5	造林	0	1	0	0	1	熱帯産樹種の環境ストレス耐性
762	田無	7	6	植物	0	0	1	0	1	ザイセンチュウ病の枯死機構に関する研究
763	田無	7	1	植物	0	0	1	0	1	菌類の感染に対するヒノキ樹皮組織の反応
764	田無	7	1	一般7月計	0	0	0	94	94	林内見学
765	田無	8	1	動物	0	0	1	0	1	針葉樹寄生性アブラムシの生態
766	田無	8	5	動物	0	1	0	0	1	マツの根におけるクロカミキリ寄生数の調査
767	田無	8	1	動物	0	0	1	0	1	演習林に棲息するミミズの食性に関する研究
768	田無	8	5	動物	0	1	0	0	1	硫酸酸性水と虫の食害によるクロマツへの影響
769	田無	8	1	動物	0	0	1	0	1	トウキョウコシビロダンゴムシの生活史に関する研究
770	田無	8	3	砂防	2	2	2	0	6	武蔵野台地における地下水かん養機構に関する研究
771	田無	8	1	造林	0	0	1	0	1	土壤に起因するストレスに対する熱帯産樹木の耐性機構
772	田無	8	2	造林	0	0	1	0	1	中国産ポプラの環境ストレス耐性機構解明
773	田無	8	8	造林	2	1	0	0	3	熱帯産樹種の環境ストレス耐性
774	田無	8	2	植物	0	0	1	0	1	ザイセンチュウ病の枯死機構に関する研究
775	田無	8	1	植物	0	0	1	0	1	菌類の感染に対するヒノキ樹皮組織の反応
776	田無	8	1	一般8月計	0	0	0	190	190	林内見学
777	田無	9	4	動物	1	0	0	0	1	モミジイタイケアブラムシと寄生の相互関係
778	田無	9	2	動物	1	0	0	0	1	ゴミグモ属の比較生態

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
779	田無	9	3	動物	0	0	1	0	1	針葉樹寄生性アブラムシの生態
780	田無	9	4	動物	0	1	0	0	1	マツの根におけるクロカミキリ寄生数の調査
781	田無	9	1	動物	0	0	1	0	1	演習林に棲息するミミズの食性に関する研究
782	田無	9	5	動物	0	1	0	0	1	硫酸酸性水と虫の食害によるクロマツへの影響
783	田無	9	3	動物	0	1	0	0	1	マツクイムシによるマツ枯れ被害跡地の植生変化
784	田無	9	1	砂防	2	2	2	0	6	武蔵野台地における地下水かん養機構に関する研究
785	田無	9	1	造林	0	0	1	0	1	土壌に起因するストレスに対する熱帯産樹木の耐性機構
786	田無	9	1	造林	0	0	1	0	1	中国産ポプラの環境ストレス耐性機構解明
787	田無	9	7	造林	0	1	0	0	1	熱帯産樹種の環境ストレス耐性
788	田無	9	2	植物	0	0	1	0	1	ザイセンチュウ病の枯死機構に関する研究
789	田無	9	1	植物	0	0	1	0	1	菌類の感染に対するヒノキ樹皮組織の反応
790	田無	9	1	動物	2	30	0	0	32	実習
791	田無	9	1	一般9月計	0	0	0	166	166	林内見学
792	田無	10	4	動物	1	0	0	0	1	モミジイタイケアブラムシと寄生の相互関係
793	田無	10	2	動物	1	0	0	0	1	ゴミグモ属の比較生態
794	田無	10	2	動物	0	0	1	0	1	針葉樹寄生性アブラムシの生態
795	田無	10	3	動物	0	1	0	0	1	マツの根におけるクロカミキリ寄生数の調査
796	田無	10	2	動物	0	0	1	0	1	演習林に棲息するミミズの食性に関する研究
797	田無	10	3	動物	0	1	0	0	1	硫酸酸性水と虫の食害によるクロマツへの影響
798	田無	10	1	動物	0	1	0	0	1	マツクイムシによるマツ枯れ被害跡地の植生変化
799	田無	10	3	砂防	2	2	2	0	6	武蔵野台地における地下水かん養機構に関する研究
800	田無	10	9	造林	0	1	0	0	1	熱帯産樹種の環境ストレス耐性
801	田無	10	3	植物	0	0	1	0	1	ザイセンチュウ病の枯死機構に関する研究
802	田無	10	1	一般10月計	0	0	0	1416	1416	林内見学
803	田無	11	4	動物	1	0	0	0	1	モミジイタイケアブラムシと寄生の相互関係
804	田無	11	3	動物	0	0	1	0	1	針葉樹寄生性アブラムシの生態
805	田無	11	8	動物	0	1	0	0	1	硫酸酸性水と虫の食害によるクロマツへの影響
806	田無	11	1	動物	0	1	0	0	1	マツクイムシによるマツ枯れ被害跡地の植生変化
807	田無	11	1	動物	0	0	1	0	1	演習林に棲息するミミズの食性に関する研究
808	田無	11	2	砂防	2	2	2	0	6	武蔵野台地における地下水かん養機構に関する研究
809	田無	11	1	造林	0	1	0	0	1	熱帯産樹種の環境ストレス耐性
810	田無	11	1	植物	0	0	1	0	1	ザイセンチュウ病の枯死機構に関する研究
811	田無	11	1	一般11月計	0	0	0	719	719	林内見学
812	田無	12	4	動物	1	0	0	0	1	モミジイタイケアブラムシと寄生の相互関係
813	田無	12	2	動物	0	0	1	0	1	針葉樹寄生性アブラムシの生態
814	田無	12	8	動物	0	1	0	0	1	硫酸酸性水と虫の食害によるクロマツへの影響
815	田無	12	3	動物	0	1	0	0	1	マツの根におけるクロカミキリ寄生数の調査

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計	利用目的
816	田無	12	1	動物	0	1	0	0	1	マツクイムシによるマツ枯れ被害跡地の植生変化
817	田無	12	1	造林	0	0	1	0	1	中国産ポプラの環境ストレス耐性機構解明
818	田無	12	2	造林	0	1	0	0	1	熱帯産樹種の環境ストレス耐性
819	田無	12	1	砂防	2	2	2	0	6	武蔵野台地における地下水かん養機構に関する研究
820	田無	12	1	植物	0	0	1	0	1	菌類の感染に対するヒノキ樹皮組織の反応
821	田無	12	1	一般12月計	0	0	0	236	236	林内見学
822	田無	1	1	砂防	2	2	2	0	6	武蔵野台地における地下水かん養機構に関する研究
823	田無	1	1	一般1月計	0	0	0	121	121	林内見学
824	田無	2	1	動物	1	0	0	0	1	モミジタイケアブラムシと寄生の相互関係
825	田無	2	1	植物	0	0	1	0	1	ザイセンチュウ病の枯死機構に関する研究
826	田無	2	1	一般2月計	0	0	0	143	143	林内見学
827	田無	3	5	動物	1	0	0	0	1	モミジタイケアブラムシと寄生の相互関係
828	田無	3	3	動物	0	0	1	0	1	針葉樹寄生性アブラムシの生態
829	田無	3	1	動物	0	1	0	0	1	マツクイムシによるマツ枯れ被害跡地の植生変化
830	田無	3	1	動物	0	1	0	0	1	マツの根におけるクロカミキリ寄生数の調査
831	田無	3	2	造林	0	0	1	0	1	中国産ポプラの環境ストレス耐性機構解明
832	田無	3	2	造林	0	1	0	0	1	熱帯産樹種の環境ストレス耐性
833	田無	3	1	一般3月計	0	0	0	217	217	林内見学
				田無計	42	144	61	5,320	5,567	

## (2) 実習等での利用

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計
1	千葉	4	1	日本大学薬学部	4	19	1	1	25
2	千葉	5	5	造林	3	32	9	0	44
3	千葉	5	1	千葉大学園芸学部	4	7	11	0	22
4	千葉	5	5	経理	2	6	0	0	8
5	千葉	5	4	植物	3	29	5	0	37
6	千葉	5	2	理学系研究科地質学専攻	4	21	1	0	26
7	千葉	6	3	理学系研究科地質学専攻	4	21	1	0	26
8	千葉	6	4	静岡大学理学部地球科学教室	2	20	1	0	23
9	千葉	7	1	静岡大学理学部地球科学教室	2	20	1	0	23
10	千葉	7	5	林産	1	16	1	0	18
11	千葉	7	4	宇都宮大学農学部森林科学科	1	43	0	0	44

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計
12	千葉	7	3	東京大学教育学部附属高校	3	15	0	0	18
13	千葉	8	3	東京農工大学農学部環境資源学科	6	38	6	0	50
14	千葉	9	5	京都大学理学部地質学鉱物学教室	4	17	0	0	21
15	千葉	9	5	理学部植物学教室生態学研究室	3	17	0	0	20
16	千葉	11	1	千葉県木更津高校	13	45	0	0	58
18	千葉	11	3	千葉大学理学部地球科学	3	27	0	0	30
19	千葉	12	2	経理	2	18	0	0	20
20	千葉	12	3	経理	2	19	0	0	21
21	千葉	1	2	教養学部生物学教室	1	30	0	0	31
22	千葉	3	2	農業生物学科緑地学研究室	2	6	0	0	8
23	千葉	3	3	宇都宮大学農学部生物生産学科	2	7	0	0	9
29	北海道	6	1	富良野高校	8	0	0	160	168
30	北海道	6	1	専修大学北海道短期大学	3	35	0	2	40
31	北海道	6	1	所沢緑が丘高校	2	0	0	26	28
32	北海道	6	2	北海道大学電子科学研究所	5	11	0	0	16
33	北海道	7	2	北海道大学薬学部	6	18	0	0	24
34	北海道	7	2	九州大学農学部	1	17	0	0	18
35	北海道	7	4	東京大学教育学部附属高校	3	0	0	40	43
36	北海道	7	4	明治大学農学部	3	15	0	0	18
37	北海道	8	3	北海道大学農学部	0	15	0	0	15
38	北海道	8	6	林政	2	24	0	0	26
39	北海道	9	2	高知学園短期大学	4	15	0	1	20
40	北海道	9	4	教養学部	0	28	0	0	28
41	北海道	10	1	岩見沢農業高校	2	0	0	39	41
43	秩父	4	4	利用	2	8	1	0	11
44	秩父	4	4	利用	2	0	0	0	2
45	秩父	5	2	東京大学教育学部附属高校	0	0	10	0	10
46	秩父	6	4	千葉大学理学部生物学科	0	27	0	0	27
47	秩父	6	4	国際基督教大学教養学部	3	0	0	2	5

No.	林名	月	日数	団体名	教職員	学生	院生	その他	人員計
48	秩父	7	3	動物	0	27	5	0	32
49	秩父	7	2	動物	2	0	0	0	2
50	秩父	7	3	動物	3	0	0	0	3
51	秩父	7	4	造林	0	28	4	0	32
52	秩父	7	4	造林	3	0	0	0	3
53	秩父	7	10	琉球大学農学部 生産環境学科	1	3	0	0	4
54	秩父	7	3	利用	0	21	6	0	27
55	秩父	7	4	植物	0	25	6	0	31
56	秩父	8	2	埼玉県立秩父農 工高校	2	0	0	42	44
57	秩父	9	5	立教大学一般教 育部	3	17	0	0	20
58	秩父	9	4	千葉大学理学部 生物学科	0	0	1	0	1
59	秩父	10	7	千葉大学理学部 生物学科	0	0	1	0	1
60	秩父	10	3	農学部他	12	2	2	0	16
61	秩父	11	3	千葉大学理学部 生物学科	0	0	2	0	2
62	秩父	11	1	工学部産業機械 学科	1	0	0	12	13
63	秩父	11	2	武蔵大学人文学部	3	4	0	0	7
64	秩父	12	2	獣医	1	2	4	0	7
65	秩父	3	6	千葉大学理学部 生物学科	0	0	2	0	2
66	愛知	4	1	名古屋大学農学部	2	20	0	0	22
67	愛知	6	3	砂防	1	11	3	0	15
68	愛知	10	6	砂防	1	23	1	0	25
69	愛知	3	7	名古屋大学農学部	2	22	0	0	24
70	富士	5	1	風致	2	4	6	0	12
71	富士	8	1	林野庁林業講習所	2	0	0	39	41
72	富士	9	8	工学部土木工学科	3	55	0	0	58
73	樹芸	5	5	演習林	4	0	0	0	4
74	樹芸	7	9	下田南高校南伊 豆分校	0	0	0	2	2
75	樹芸	9	7	千葉大学理学部	2	31	1	0	34
76	樹芸	2	2	東京農工大学農 学部	2	2	1	0	5
77	田無	5	2	造林	2	35	0	0	37
78	田無	5	1	動物	2	30	0	0	32
79	田無	9	1	動物	2	30	0	0	32

## (3) 演習林を利用しておこなった論文等

No.	発表者全氏名	第一著者 所属機関	学部	題名	誌名
1	新海 明	房総の自然研究会		千葉県清澄山の常緑広葉樹林の土壤中に生息するクモ類	清澄（房総の自然研究会）14
2	新海 明	房総の自然研究会		コケヒメグモの網構造と餌捕獲行動	清澄（房総の自然研究会）14
3	新海 明	房総の自然研究会		清澄山（東京大学千葉演習林内）の真正クモ類	清澄（房総の自然研究会）14
4	蒲谷 肇	東京大学	農学部	千葉演習林植物目録にないアブラナ科2種	清澄（房総の自然研究会）14
5	五十嵐 厚夫	東北大学	理学部	浮遊性有孔虫化石群集の主成分分析による上総層群堆積時の古海洋環境の復元	地質学雑誌100-5
6	鈴木 誠	東京大学	農学部	あの山はどうなった-25 スギ, ヒノキ 39年生集植え試験林	林業技術628
7	東京大学農学部附属演習林 千葉演習林	東京大学	農学部	東京大学農学部附属演習林 千葉演習林 視察案内資料 1994	
8	片桐 一正 古田 公人 八木 久義 仁王 以智夫 倉橋 昭夫 高橋 郁雄 前原 忠	東京大学	農学部	エゾマツの衰弱・枯損と根圏の生態	平成6年度科学研究費補助金（一般研究B）研究成果報告書 研究課題番号4454081
9	山中 征夫 山根 明臣	東京大学	農学部	ヤマビルの生態（V） -索餌行動におよぼす気温・湿度の影響と索餌行動の間隔-	日林論105
10	小林 洋			千葉県のヒトリガ科蛾類について	千葉生物誌43 1.2
11	丹下 健 小島 克巳 八木 久義 鈴木 誠	東京大学	農学部	Influence of Stand Density on the Increment of Leaf Biomass in the Young <i>Cryptomeria japonica</i> Stand before Canopy Closing	東大演報92
12	龍原 哲 南雲 秀次郎 鈴木 誠 斎藤 肇	東京大学	農学部	Geographical Distribution of Forest Types in the Tokyo University Forest in Chiba	東大演報92
13	龍原 哲 鈴木 誠	東京大学	農学部	Modelling Volume Growth for Two-Storeyed Sugi( <i>Cryptomeria japonica</i> ) Stands	-日林誌77 1
14	東京大学農学部附属演習林	東京大学	農学部	千葉演習林	東京大学演習林における試験研究100年(1894年～1994年)
15	酒井 暁子 大沢 雅彦	千葉大学	理学部	Topographical pattern of the forest vegetation on a river basin in a warm-temperate hilly region	-Ecological Research9

No.	発表者全氏名	第一著者 所属機関	学部	題名	誌名
16	酒井 暁子	千葉大学	理学部	" Effects of Ground-surface Disturbances on Pattern of Mountain Vegetation and Tree Strategies with Special Reference to a Disturbance, Tolerant, Euptelea Polyandra"	千葉大学・理・博論
17	新田 郁子	横浜市立大学		常緑広葉樹の開葉と落葉に着目した季節的パターン	横浜市立大学・文理・卒論
18	鈴木 誠	東京大学	農学部	スギ・ヒノキ高齢林の経営論的研究－東京大学千葉演習林における人工林経営に関する実験－	東京大学・農・博論
19	朴 相俊 岩岡 正博 酒井 秀夫 小林 洋司	東京大学	農学部	タワーヤードによる間伐作業システムと適正路網密度	東大演報92
20	三城 昭義 金 炳魯 野崎 隆俊 岡野 健	新潟大学	農学部	" Growth and Wood Properties of Five Sugi ( <i>Cryptomeria japonica</i> D. Don) Cultivars Grown in the Tokyo University Forest in Chiba"	東大演報92
21	浅田 正彦 落合 啓二 山中 征夫	東京大学	農学部	房総半島におけるニホンジカに対するヤマビルの寄生状況	千葉中央博自然誌研究報告3 2
22	塚越 剛史 鶴見 康幸	東京大学	農学部	生息場所の異なるシカの幼齢造林木摂食選好性調査	平成6年度技術官等試験研究・研修会議報告(東大演習林)
23	石川 敏朗 糟谷 重夫	東京大学	農学部	ヤマビルの防除対策－東京大学千葉演習林における現状と問題点－	平成6年度技術官等試験研究・研修会議報告(東大演習林)
24	東京大学農学部 附属演習林	東京大学	農学部	東京大学演習林気象報告(自1993年1月至1993年12月)	演習林(東大)33
25	山中 征夫	東京大学	農学部	母樹年齢が異なるヒノキ挿し木植栽苗の成長	日林関東支論46
26	倉橋 昭夫 芝野 伸策	東京大学	農学部	ブナ産地別幼齢植栽木の成長およびフェノロジー	「森林地域における地球環境モニタリング」第1回研究会
27	中田 誠 田中 浩 八木 久義	新潟大学	農学部	北海道中央部大麓山における植生と土壌の垂直変化	日本生態学会誌44
28	岡崎 泰男 有馬 孝禮 中村 昇	秋田県立 農業短大 付属木材 高度加工 研究所		確率モデルによる接着積層材の強度予測(第1報)接着層重なり長さの影響	木材学会誌40 4

No.	発表者全氏名	第一著者 所属機関	学部	題名	誌名
29	渡邊 定元 芝野 伸策	東京大学	農学部	ブナ産地別相互植栽	「森林地域における地球環境モニタリング」 第1回研究会
30	木佐貫博光	東京大学	農学部	第105回日本林学会大会短信－造林（育種）分野を中心に－	林業技術626
31	山本 博一	東京大学	農学部	森林計画制度への提言	森林計画研究会会報361
32	佐保 春芳 高橋 郁雄 倉橋 昭夫	三重大学	農学部	" Relationship between the Elevation of Seed Collecting Sites and the Susceptibility of <i>Abies sachalinensis</i> to <i>Scleroderris lagerbergii</i> in Hokkaido, Japan"	Proc. of a Joint Meeting of the Working Parties shoot and Foliage Diseases in Forest Trees
33	中村 昇 名波 直道 有馬 孝禮	東京大学	農学部	Evaluating the Properties of Standing Trees	Pacific Timber Engineering Conference 94 Australia
34	仁多見俊夫	東京大学	農学部	素材生産システム・技術と森林資源の持続的利用	林業機械93
35	仁多見俊夫	東京大学	農学部	林業における作業自動化とロボット化の現状	高度農業技術研究会誌 平成5年度セミナー特集号
36	山本 博一	東京大学	農学部	あの山はどうなった－26東京大学北海道演習林(1)	林業技術629
37	山岡 裕一 ウイング フィールド M.J. 高橋 郁雄	筑波大学	農学部	" Ophiostomatoid Fungi Associated with <i>Ips typographus</i> L.F. japonica, Niijima in Hokkaido, Japan"	Proc. of 5th Inter. Myc. Cong. (IMC5)
38	倉橋 昭夫 梶 幹男	東京大学	農学部	ポプラ苗木のフェノロジー観測 —東京大学北海道演習林の事例—	「森林地域における地球環境モニタリング」 第2回研究会
39	渡邊 定元	東京大学	農学部	あの山はどうなった－27東京大学北海道演習林(2) —森林生命科学分野の成果—	林業技術630
40	岩岡 正博 田坂 聡明 仁多見俊夫 酒井 秀夫 小林 洋司	東京大学	農学部	Legged Base Machine for Use in Forest Operations	Proc.IUFRO International Workshop on Sustainable Forest managements
41	木村 徳志 木佐貫博光 倉橋 昭夫 佐々木忠兵衛	東京大学	農学部	ミズナラのフェノロジー —東京大学北海道演習林における35年間の経年変動—	日林論105

No.	発表者全氏名	第一著者 所属機関	学部	題名	誌名
42	木佐貫 博光 木村 徳志 倉橋 昭夫	東京大学	農学部	カラマツとグイマツの雑種F1の一年生枝の有毛性と枝色の遺伝	日林論105
43	木佐貫 博光 倉橋 昭夫 高橋 康夫 岡村 行治	東京大学	農学部	How have the tree species diversity been changed by the stand based forest management ?	Proc.IUFRO International Workshop on Sustainable Forest managements
44	中川 昌彦 高橋 康夫 渡邊 定元 鈴木 和夫	東京大学	農学部	エゾマツ・ダケカンバ林における地表処理後に天然更新した稚樹の動態	日林論105
45	中村 昇	東京大学	農学部	Forest Management and Wood Industry	Proc.IUFRO International Workshop on Sustainable Forest managements
46	仁多見 俊夫 河原 漢 穴沢 力	東京大学	農学部	Development of Selective Harvesting System due to the Forest Road Network in a Natural Forest	Proc.IUFRO International Workshop on Sustainable Forest managements
47	龍原 哲 山本 博一 高田 功一 犬飼 浩	東京大学	農学部	Growth of natural stands dominated by Todo fir ( <i>Abies sachalinensis</i> ) effected of stand structure	Proc. IUFRO International Workshop on Sustainable Forest Managements
48	露木 聡	東京大学	農学部	森林資源調査におけるGPS利用の可能性ーディファレンシャルGPS測位精度の比較ー	森林計画誌23
49	渡邊 定元	東京大学	農学部	Five requisites proposed for sustainable managed forests	Proc. IUFRO International Workshop on Sustainable Forest Managements
50	渡邊 定元 佐々木 恵彦	東京大学	農学部	The silvicultural management system in temperate and boreal forests;A case history of the Hokkaido Tokyo University Forest	Canadian Journal of Forest Research
51	山本 博一	東京大学	農学部	択伐林業施業計画のシステム化に関する研究	森林科学12
52	山本 博一	東京大学	農学部	Natural forest management based on selection cutting and natural regeneration	Proc. IUFRO International Workshop on Sustainable Forest Managements

No.	発表者全氏名	第一著者 所属機関	学部	題名	誌名
53	山本 博一 渡邊 定元 芝野 伸策 高橋 康夫 岡村 行治	東京大学	農学部	北方針葉樹林の大面積プロットの設定	日林論105
54	古田 公人 井口 和信 サイモン ローソン 高橋 郁雄	東京大学	農学部	Effects of Ipsenol on Trap Catches of the Spruce Beetle <i>Ips typographus japonicus</i> NIJIMA	J. Jpn. For. Soc.76 6
55	仁多見俊夫	東京大学	農学部	フィンランド・ノルウェー林業の動向	森林計画研究会会報 364
56	犬飼 浩 高田 功一 伊藤 務 河原 漠	東京大学	農学部	ウダイカンバ二次林の立木密度と成長について	平成6年度技術官等 試験研究・研修会議 報告(東大演習林)
57	木佐貫博光 倉橋 昭夫 加藤 英寿 寺内 良平 河野 昭一 井出 雄二 渡邊 定元	東京大学	農学部	Interspecific relationship of the genus <i>Larix</i> inferred from the RFLPs of chloroplast DNA	J. Jpn. For. Soc.77 1
58	佐藤 烈、 穴戸 憲治 高橋 範和 平田 雅和 小池 征寛 高田 功一	東京大学	農学部	東京大学北海道演習林の天然林における林況調査の手法について	平成6年度技術官等 試験研究研修会議報 告(東大演習林)
59	山本 博一 仁多見俊夫 木佐貫博光	東京大学	農学部	針広混交天然林の林分構造の解析 樹種構造と地形要因の関係	日林誌71 1
60	犬飼 浩 高田 功一 佐藤 烈 穴戸 憲治 高橋 範和 福士 憲司 山本 博一	東京大学	農学部	ウダイカンバ二次林優良木育成試験地択伐後5年間の成長	日林北支論43

No.	発表者全氏名	第一著者 所属機関	学部	題名	誌名
61	木村 徳志 木佐貫 博光 倉橋 昭夫 佐々木 忠兵衛	東京大学	農学部	ウダイカンバのフェノロジー 東京大学北海道演習林における35年間の経年変動—	日林北支論43
62	倉橋 昭夫 木佐貫 博光 小笠原 繁男	東京大学	農学部	トドマツ標高産地試験18年間の結果	日林北支論43
63	中村 昇	東京大学	農学部	超音波による立木の材質測定 —トドマツ・カラマツ類の場合—	日林北支論43
64	中村 昇 道上 昭夫 広川 俊英 佐藤 烈 山本 勝彦 岩本 進一 坂口 敏雄 平田 雅和 笠原 久臣	東京大学	農学部	東京大学北海道演習林より生産される立木・丸太の材質	日林北支論43
65	小笠原 繁男 木村 徳志 倉橋 昭夫	東京大学	農学部	シウリザクラの核果と実生苗の母樹による違い	日林北支論43
66	岡村 行治 高橋 康夫 太田 重之 河原 漠 島 強 平田 雅和 山本 博一	東京大学	農学部	1981年風害跡地の復旧状況 —人工更新と天然更新11年後の結果—	日林北支論43
67	尾張 敏章 仁多見 俊夫 湊 克之	北海道 大学	農学部	北海道における高性能林業機械化-高性能林業機械アンケートの数量化理論Ⅲ類による分析	日林北支論43
68	澤田 晴雄 木村 徳志 井口 和信			ホザキナナカマドの直立地上基の交代と地下基による栄養繁殖	日林北支論43
69	高橋 郁雄	東京大学	農学部	トドマツ衰退木の着葉程度とナラタケ病菌寄生との関係	日林北支論43
70	植本 敬大 有馬 孝禮 中村 昇	東京大学	農学部	木質トラスの振動解析	木材学会誌41 2

No.	発表者全氏名	第一著者 所属機関	学部	題名	誌名
71	片桐 一正 古田 公人 八木 久義 仁王 以智夫 倉橋 昭夫 高橋 郁雄 前原 忠	東京大学	農学部	エゾマツの衰弱・枯損と根圏の生態	平成6年度科学研究費補助金（一般研究B）研究成果報告書
72	倉橋 昭夫 木佐貫 博光	東京大学	農学部	カラマツ属樹木の成長と健全性 ー東京大学北海道演習林の植栽試験を中心にー	北海道の林木育種372
73	倉橋 昭夫 渡邊 定元 高橋 郁雄 中村 昇 木佐貫 博光	東京大学	農学部	トドマツの垂直分布に伴う遺伝的変異に関する研究	平成6年度科学研究費補助金（一般研究C）研究成果報告書
74	中川 昌彦	東京大学	農学部	天然林施業におけるエゾマツ更新の評価	東京大学修士論文
75	仁多見 俊夫 穴沢 力 河原 漠	東京大学	農学部	The Development of Forestroad Network and the Selective Harvesting System in a Natural Forest.	Proc. IUFRO Div.3 Harbin P.R. of China
76	大里 正一 鈴木 和夫 古田 公人 井出 雄二 大橋 邦夫 丹下 健仁 多見 俊夫 山本 博一 倉橋 昭夫 斎藤 馨 有沢 浩 高橋 郁雄 露木 聡 中村 昇	東京大学	農学部	亜寒帯林における森林衰退現象の実態把握と環境要因の解析	平成6年度科学研究費補助金（一般研究A）研究成果報告書
77	尾張 敏章	北海道 大学	農学部	北海道における高性能林業機械化の進展に関する研究 ー素材生産事業体の意志決定要因を中心にー	平成6年度修士論文
78	里見 昌記	東京大学	農学部	ストローブマツ林のマツカレハ被害解析	東京大学卒業論文

No.	発表者全氏名	第一著者 所属機関	学部	題名	誌名
79	井出 雄二 渡邊 定元 佐々木 恵彦 河野 昭一 白石 進 倉橋 昭夫 門松 昌彦 小島 克己 木佐貫 博光	東京大学	農学部	地球温暖化に伴う温帯北方系樹種の生態 遺伝育種に関する研究	平成6年度科学研究 費補助金（総合研究 A）研究成果報告書
80	梶 幹男	東京大学	農学部	秩父演習林における産地の異なるブナ開 芽期比較	日本林学会第105会大 会研究集会「森林地 域における地域環境 モニタリング（第1回 研究会）」講演要旨集
81	梶 幹男 澤田 晴雄 五十嵐勇治 佐々木 潔州	東京大学	農学部	1990年11月下旬秩父山地甲武信岳周辺の 亜高山針葉樹林で発生した雨氷害	東大演報91
82	倉橋 昭夫 梶 幹男	東京大学	農学部	ポプラ苗木のフェノロジー観測東京大学 北海道演習林・秩父演習林の事例	全国大学演習林協議会 研究集会「森林地域に おける酸性雨等地球環 境モニタリング体制の 確立について（第2回研 究会）」講演要旨集
83	澤田 晴雄 大村 和也 五十嵐勇治 梶 幹男	東京大学	農学部	東京大学秩父演習林内ケヤキ人工林のリ ター落下量	日林論105
84	蒲谷 肇	東京大学	農学部	ニホンザル生息保護地域の森林の収容力 の改良（I）－伐採跡地に植えた広葉樹 の成長経過－	日林論105
85	蒲谷 肇	東京大学	農学部	サルと人の共生のあり方	自治体・地域の環境戦 略－3巻 自然との共生 をめざして（ぎょうせい）
86	東京大学農学 部附属演習林	東京大学	農学部	東京大学演習林気象報告（自1993年1月 至1993年12月）	演習林（東大）33
87	石田 健 橋本 幸彦 大村 和也 斎藤 俊浩	東京大学	農学部	東京大学秩父演習林における道路開設が 野生鳥獣の生態に与える影響IV－狩猟 とブナ科種子の豊凶とツキノワグマ個体 群の動態－	日林論105

No.	発表者全氏名	第一著者 所属機関	学部	題名	誌名
88	石田 健 植田 睦之	東京大学	農学部	奄美大島におけるオーストンオオアカゲ ラの生息状況.	奄美大島希少鳥類生息 状況調査報告書 1994年 度環境庁稀少野生動植 物種生息状況調査.
89	石田 健 植田 睦之 藤田 剛	東京大学	農学部	奄美大島におけるオオトラツグミの生息 状況	奄美大島希少鳥類生息 状況調査報告書 1994年 度環境庁稀少野生動植 物種生息状況調査
90	金井 裕 石田 健 植田 睦之	東京大学	農学部	奄美大島における希少鳥類保全上の問題 点と課題	奄美大島希少鳥類生息 状況調査報告書 1994年 度環境庁稀少野生動植 物種生息状況調査
91	橋本 幸彦	東京大学	農学部	秩父山地におけるニホンツキノワグマ ( <i>Ursus thibetanus japonicus</i> ) の食性	東京大学農学生命科学系 研究科林学専攻修士論文
92	五十嵐 勇治 斎藤 登 大畑 茂	東京大学	農学部	65年生サワラ ヒノキ間伐木の造林歩止 まり	平成6年度技術官等試 験研究・研修会議報告
93	斎藤 俊浩	東京大学	農学部	ウグイスのさえずりをもとにした森林環 境評価	平成6年度技術官等試 験研究・研修会議報告
94	藤原 章雄 龍原 哲 五十嵐 勇治 澤田 晴雄 赤岩 朋敏	東京大学	農学部	森林紹介CAIコースウェア作成のための 地理情報システム利用の試み	日林論105
95	龍原 哲 佐々木 潔州 大村 和也	東京大学	農学部	森林簿の情報を用いた人工林の成長予測	日林論105
96	福田 健二 中村 昌有吉 大村 和也 鈴木 和夫	東京大学	農学部	秩父山地における道路開設が林内稚樹の 水分生理状態に与える影響	日林論105
97	五十嵐 哲也	東京大学	農学部	秩父山地のイヌブナ、ブナ天然林におけ るブナ類の堅果落下量と実生の消長	東京大学農学部林学 科卒業論文
98	中田 誠 田中 浩 八木 久義	新潟大学	農学部	北海道中央部大麓山における植生と土壌 の垂直変化	日生態会誌44
99	武内 和彦 八木 久義	東京大学	農学部	Vegetation and Soil Characteristics of the Remnant Afromontane Forests and the Effect of Human Activities on Their Structure on the Nyika、	" Savannization Processes in Tropical Africa II Univ. Tokyo Metropolitan"

No.	発表者全氏名	第一著者 所属機関	学部	題名	誌名
100	丹下 健 小島 克己 八木 久義 鈴木 誠	東京大学	農学部	Influence of Stand Density on the Increment of Leaf Biomass in the Young <i>Cryptomeria Japonica</i> Stand before Canopy Closing	東大演報92
101	丹下 健 八木 久義	東京大学	農学部	" Iron Sulfides Contained in the Tertiary Stratum in the Kiyosumi Mountain Area the Boso Peninsula Japan"	Pedologist382
102	田中 隆文 他	名古屋大学	農学部	Spatio-temporal Distribution of Evapotranspiration around Mt. Merapi in Indonesia	Proceedings of Workshop on Erosion Control through Volcanic Hydrological Approach (WECVHA)
103	芝野 博文 他	東京大学	農学部	Water Balance in South-west Slope of Mt. Merapi Volcano	Proceedings of Workshop on Erosion Control through Volcanic Hydrological Approach (WECVHA)
104	井倉 洋二 他	九州大学	農学部	Direct Runoff Characteristics of Several Streams in Southwest Side of Mt. Merapi	Proceedings of Workshop on Erosion Control through Volcanic Hydrological Approach (WECVHA)
105	窪田 順平 他	東京農工大学	農学部	Runoff Characteristics on Volcanic Areas	Proceedings of Workshop on Erosion Control through Volcanic Hydrological Approach (WECVHA)
106	執印 康裕 他	東京大学	農学部	インドネシア国メラピ火山南西山麓における降雨の時空間特性	新砂防475
107	芝野 博文 他	東京大学	農学部	林相の経年変化が蒸発散損失過程に及ぼす影響	平成6年度文部省科学研究費補助金(一般研究B)研究成果報告書
108	鈴木 雅一 他	東京大学	農学部	Forest Influences on Discharge Duration Curve Using a 56-year daily Discharge Rate in Two Small Watersheds	Proceedings of the International Symposium on Forest Hydrology
109	清水 貴範 他	東京大学	農学部	Application of the eddy correlation method to estimate momentum and sensible heat flux above a forest on rolling terrain.	Proceedings of the International Symposium on Forest Hydrology
110	鍋島 遊	東京大学	農学部	東京大学愛知演習林地温資料による最近50年年間の気象環境解析	

No.	発表者全氏名	第一著者 所属機関	学部	題名	誌名
111	後藤 太成 荒木田 きよみ 原 孝秀	東京大学	農学部	流況曲線にみる森林の水流出に及ぼす影響	東京大学農学部附属演習林 平成6年度技術官等試験研究・研修会議報告
112	築瀬 憲次 渡部 賢	東京大学	農学部	モザイク状更新の現況	東京大学農学部附属演習林 平成6年度技術官等試験研究・研修会議報告
113	井上 淳荒 木田 善隆	東京大学	農学部	ヒノキ間伐試験地の成長	東京大学農学部附属演習林 平成6年度技術官等試験研究・研修会議報告
114	古田 公人	東京大学	農学部	Influence of the maple aphid of long shoots and leaves of young <i>Acer amoenum</i>	日林誌76-3
115	古田 公人 アルー イ シマイリ	東京大学	農学部	Between-tree distance and spread of the Sakhalin fir aphid( <i>Cinara todocola</i> Inouye)(Hom Aphididae)within a plantation	J.Appl.Ent.117-1
116	神長 健夫	東京大学	農学部	熱帯産マメ科4樹種の酸・アルカリストレス下における成長特性	卒業論文
117	平井 さおり 他	東京大学	農学部	クロマツ当年生枝におけるマツノザイセンチュウの移動	日林論105
118	福田 健二 他	東京大学	農学部	Ethylene production symptom development of pine wilt disease	European Journal of Forest Pathology24-4
120	金 正大 熊谷 洋一	東京大学	農学部	韓国ウォーカーヒルを事例としたリゾート開発の成立と展開に関する研究	造園雑誌57-5
121	奥 敬一 下村 彰男 熊谷 洋一	東京大学	農学部	環境への認識を高める手法としてみた東京都内の都市散策路	造園雑誌57-5
122	吉岡 太郎 熊谷 洋一 斎藤 馨	東京大学	農学部	日本画の手法を用いたコンピュータグラフィックスによる森林景観の再現	造園雑誌57-5
123	熊谷 洋一 斎藤 馨	東京大学	農学部	樹木管理のためのGISデータ整備に関する考察	地理情報システム学会講演論文集3
124	大宮 直記 下村 彰男 熊谷 洋一	東京大学	農学部	文学作品にみる「景」の概念の変遷	日観研論9
125	斎藤 陽子 小島 克己 井出 雄二 佐々木 恵彦	東京大学	農学部	In vitro propagation from axillary buds of <i>Acacia mangium</i>	平成5年度科学研究費補助金(一般研究A)酸性硫酸塩土壌の特性および強酸性化現象にともなう樹木の生理反応と耐性種の検索研究成果報告書(研究代表者 佐々木恵彦)

No.	発表者全氏名	第一著者 所属機関	学部	題名	誌名
126	Yong Y. 南雲 秀次郎 Yas Y. 大里 正一 Lin W. 龍原 哲 Lin N. 鈴木 誠			Comparison of the Growth and Development of Cryptomeria Plantation in the Chiba Forest of the Tokyo University and the Experimental Forest of Taiwan University - The Analysis of 70 years Data from the Paymanent Sample Plots	Proc.IUFRO International Workshop on Sustainable Forest Managements.
127	湊 克之 大里 正一 平井 卓郎 由田 茂一			広葉樹枝払機能付ハーベスタの開発に関する研究	平成6年度科学研究費 補助金(試験研究B(1)) 研究成果報告書
128	大川畑修 大里 正一			路網計画の作成例	日林関東支論46
129	赤松 成彰 小島 克己 井出 雄二 佐々木 恵彦	東京大学	農学部	低pHおよび高マンガン濃度の液体培地に対するAcacia mangium培養細胞の反応	平成5年度科学研究費 補助金(一般研究A) 酸性硫酸塩土壌の特性 および強酸性化現象に ともなう樹木の生理反 応と耐性種の検索研究 成果報告書(研究代表 者 佐々木恵彦)
130	斎藤 陽子 小島 克己 井出 雄二 佐々木 恵彦	東京大学	農学部	高マンガン培地および高濃度硫酸培地におけるAcacia mangiumの耐性細胞の選抜と反応	平成5年度科学研究費 補助金(一般研究A) 酸性硫酸塩土壌の特性 および強酸性化現象に ともなう樹木の生理反 応と耐性種の検索研究 成果報告書(研究代表 者 佐々木恵彦)
131	斎藤 陽子 小島 克己 井出 雄二 佐々木 恵彦	東京大学	農学部	Tissue Culture for the Study of Plant Responces to Environmental Stresses	International Wood Biotechnology Symposium
132	井出 雄二 渡邊 良広 池田 裕行	東京大学	農学部	無菌的に発芽させたAcacia auriculiformisのの芽生えの組織培養	日林誌76-6

No.	発表者全氏名	第一著者 所属機関	学部	題名	誌名
133	木佐貫 博光 倉橋 昭夫 加藤 英寿 寺内 良平 河野 昭一 井出 雄二 渡邊 定元	東京大学	農学部	Interspecific relationship of the genus <i>Larix</i> inferred from the RFLPs of chloroplast DNA	J.Jpn.For.Soc.77-1
134	近藤 晃 井出 雄二			「聖ヒノキ」クローンの切り枝脱水抵抗性－自然乾燥法と強制乾燥法によるクローン間差異－.	日林中支論43
135	井出 雄二	東京大学	農学部	地球温暖化に伴う温帯・北方系樹種の生態遺伝育種に関する研究	平成6年度科学研究補助金（総合研究A）研究成果報告書（研究代表者 井出雄二）
136	井出 雄二 倉橋 昭夫	東京大学	農学部	トドマツの健康度と種子中の窒素・炭素・硫黄の含有率の関係	平成6年度科学研究補助金（一般研究A）亜寒帯林における森林衰退現象の実態把握と環境要因の解析研究成果報告書（研究代表者 大里正一）
137	ワーリオ 祿敏 曾田 良 井出 雄二			In vitro plantlet regeneration of <i>Shorea roxburghii</i> G. Don. from axillary buds of germinated seedlings.	J.Jpn.For.Soc.77-3
138	斎藤 馨	東京大学	農学部	景観情報処理システムの開発と応用に関する研究	東京大学博士学位論文
139	斎藤 馨	東京大学	農学部	景観情報処理システムの開発と応用に関する研究	ランドスケープ研究（造園学会誌）58-5
140	斎藤 馨 他	東京大学	農学部	Geographical Distribution of Forest Types in the Tokyo University Forest	The Bulletin of the Tokyo University Forests 92

## 2 教育活動（1994年度）

### (1) 大学院（講義及び演習）

No.	教官名	講義名	対象学部	学科	学年	演習林
1	大里 正一	林学特別演習	農学系研究科	林学専攻	修士課程	千葉
2	大里 正一	林学特別実験	農学系研究科	林学専攻	修士課程	千葉
3	大里 正一	林学特別講義Ⅱ	農学系研究科	林学専攻	博士課程	千葉
4	大里 正一	林学特別実験及び実習Ⅱ	農学系研究科	林学専攻	博士課程	千葉
5	山本 博一	林学特別講義Ⅲ	農学系研究科	林学専攻	博士課程	北海道
6	山本 博一	林学特別実験及び演習Ⅲ	農学系研究科	林学専攻	博士課程	北海道
7	山本 博一	林学特別実習	農学系研究科	林学専攻	修士課程	北海道
8	山本 博一	林学特別実験	農学系研究科	林学専攻	修士課程	北海道
9	仁多見俊夫	林学特別実験	農学系研究科	林学専攻	修士課程	北海道
10	仁多見俊夫	森林科学特別演習	農学系研究科	林学専攻	修士課程	北海道
11	仁多見俊夫	林学特別講義Ⅱ	農学系研究科	林学専攻	博士課程	北海道
12	仁多見俊夫	森林科学特別実験及び演習Ⅱ	農学系研究科	林学専攻	博士課程	北海道
13	梶 幹男	林学特別講義Ⅰ	農学系研究科	林学専攻	博士課程	秩父
14	梶 幹男	林学特別実験及び演習Ⅰ	農学系研究科	林学専攻	博士課程	秩父
15	八木 久義	森林土壌学特論	農学系研究科	林学専攻	修士課程	愛知
16	宝月 岱造	環境植物学	農学系研究科	林学専攻	修士課程	田無
17	宝月 岱造	森林植物学特論	農学系研究科	林学専攻	修士課程	田無
18	熊谷 洋一	風致工学	農学系研究科	林学専攻	修士課程	研究部
19	熊谷 洋一	森林レクリエーション論	農学系研究科	林学専攻	修士課程	研究部
20	熊谷 洋一	林学特別実験	農学系研究科	林学専攻	修士課程	研究部
21	熊谷 洋一	林学特別演習	農学系研究科	林学専攻	修士課程	研究部
22	大橋 邦夫	林学特別演習	農学系研究科	林学専攻	修士課程	研究部
23	大橋 邦夫	林学特別実験	農学系研究科	林学専攻	修士課程	研究部
24	大橋 邦夫	林学特別講義Ⅲ	農学系研究科	林学専攻	博士課程	研究部
25	大橋 邦夫	林学特別実験及び演習Ⅲ	農学系研究科	林学専攻	博士課程	研究部
26	井出 雄二	林学特別講義Ⅰ	農学系研究科	林学専攻	博士課程	研究部
27	井出 雄二	林学特別実験及び演習Ⅰ	農学系研究科	林学専攻	博士課程	研究部

## (2) 学部講義

No.	教官名	講義名	対象学部	学 科	学年	演習林
1	大里 正一	林学汎論	農学部	林産学科	3年	千葉
2	山本 博一	総合科目D「森林と人の関わり」	教養学部		1年	北海道
3	仁多見俊夫		教養学部		1年	北海道
4	梶 幹男	樹木学	農学部	林学科	3年	秩父
5	梶 幹男	林学汎論	農学部	林産学科	3年	秩父
6	梶 幹男	生態圏の取り扱いと演習林	教養学部		2年	秩父
7	蒲谷 盛	森林土壌学実験	農学部	林学科	3年	秩父
8	八木 久義	森林土壌学	農学部	林学科	3年	愛知
9	芝野 博文	測量学Ⅰ	農学部	林学科	3年	愛知
10	芝野 博文	測量学Ⅱ	農学部	林学科	4年	愛知
11	宝月 岱造	植物学	農学部		2年	田無
12	宝月 岱造	細胞学	農学部	林学科	3年	田無
13	熊谷 洋一	森林風景計画	農学部	林学科	3年	研究部
14	熊谷 洋一	森林風景計画実習	農学部	林学科	3年	研究部
15	熊谷 洋一	森林環境と人間活動	教養学部		1年	研究部
16	熊谷 洋一	造園	工学部	建築学科		研究部
17	大橋 邦夫	林学汎論	農学部	林産学科	3年	研究部
18	大橋 邦夫	森林生態圏の取り扱いと演習林	教養学部		1年	研究部
19	井出 雄二	林木育種学	農学部	林学科	3年	研究部
20	井出 雄二	林学汎論	農学部	林産学科	3年	研究部
21	斎藤 馨	環境と生物の情報科学	教養学部		1年	研究部

## (3) 他国公立大学への非常勤講師

No.	教官名	講義名	対象大学	学 部	学 科	学年
1	仁多見俊夫	北海道大学大型計算機センタープログラム指導員	北海道大学	大型計算機センター		
2	梶 幹男	森林立地学	千葉大学	園芸学部	緑地環境学科	3年
3	八木 久義	森林土壌学	三重大学	生物資源学部	森林資源学コース	3.4年
4	八木 久義	生態学実験Ⅲ	千葉大学	理学部	生物学科	1.2年
5	八木 久義	自然地理学特殊講義Ⅱ	東京都立大学	理学部	地理学科	1.2年
6	宝月 岱造	細胞生物学	東京農工大学	農学部		2.3年

No.	教官名	講義名	対象大学	学部	学科	学年
7	箕輪 光博	森林計画学Ⅱ	島根大学	農学部		
8	熊谷 洋一	森林風致学	東京農工大学	農学部		
9	熊谷 洋一	自然公園論	明治大学	農学部		
10	熊谷 洋一	景観シミュレーション論	明治大学大学院	農学部		
11	熊谷 洋一	風致工学	宇都宮大学	農学部		
12	斎藤 馨	景観土地利用論	千葉大学	園芸学部	環境デザイン学科	3年

(4) 公開講座・講習会・セミナー・基礎講座・学術講演会

No.	教官名	講座名	主催	場所
1	大里 正一	TEPCOペアーウオッチングIN亀山	東京電力K.K	千葉演習林郷台 作業所管内
2	大里正一他 30名	創立100周年記念植樹	千葉演習林	千葉演習林清澄 作業所管内
3	山本 博一	択伐林施業計画のシステム化に関する研究	北海道演習林	北海道演習林
4	仁多見俊夫	中華人民共和国の森林作業、林業機械化最先端	北海道演習林	北海道演習林
5	木佐貫博光	樹木の遺伝的変異とDNA分析による解析法の紹介	北海道演習林	北海道演習林
6	松浦 堯	中国福建の林業と民情	北海道演習林	北海道演習林
7	梶 幹男	森林体験セミナー	農学部附属演習林	秩父演習林
8	熊谷 洋一	第17回道路緑化と環境シンポジウム	道路緑化保全協会	
9	熊谷 洋一	森林景観研修	林業土木コンサルタンツ	林業講習所
10	熊谷 洋一	森林景観アセスメント研修	林野庁	林業講習所

## (5) 実習

No.	教官名	実習名	実習地	対象学部	学 科	学年	演習林
1	大里 正一 佐倉 詔夫 鈴木 誠 前原 忠 粕谷伊佐義 唐鎌 勇 鶴見 康幸	造林学実験	千葉演習林 札郷作業所 管内	農学部	林学科	3年	千葉
2	大里 正一 佐倉 詔夫 糟谷 重夫 前原 忠 石川 敏郎 錫田 好	森林植物学実験	千葉演習林 清澄、札郷、 郷台各作業 所管内	農学部	林学科	3年	千葉
3	鈴木 誠 粕谷伊佐義 黒川由太郎	森林経理学実習	千葉演習林 札郷作業所 管内	農学部	林学科	4年	千葉
4	大里正一 佐倉 詔夫 鈴木 誠 粕谷伊佐義 大石 論	林学実習	千葉演習林 郷台作業所 管内	農学部	林産学科	3年	千葉
5	鈴木 誠 粕谷伊佐義 錫田 好	測樹学実習	千葉演習林 札郷作業所 管内	農学部	林学科	3年	千葉
6	大里 正一 佐倉 詔夫 糟谷 重夫	野外生物学実習	千葉演習林 内全域	教養学部	生物学教室	2年	千葉
7	大里 正一 佐倉 詔夫 糟谷 重夫 錫田 好 石川 敏郎	樹木学実習	千葉演習林 内全域	宇都宮大 学農学部	森林科学科	1年	千葉

No.	教官名	実習名	実習地	対象学部	学 科	学年	演習林
8	大里 正一 佐倉 詔夫 鴫田 好 村川 功雄 石川 敏郎	植物実習	千葉演習林 内全域	県立君津 農林高校	林業科	2年	千葉
9	山本 博一	林学総合実習	北海道演習 林	農学部	林学科	3年	北海道
10	山本 博一	現地実習	北海道演習 林	九州大学 農学部	林学科	3年	北海道
11	山本 博一 他	森林学習	北海道演習 林	東京大学 教育学部 附属高校		2年	北海道
12	仁多見俊夫	林学総合実習	北海道演習 林	農学部	林学科	3年	北海道
13	倉橋 昭夫	樹木の生育密度調 査	北海道演習 林	明治大学 農学部		3.4年	北海道
14	倉橋 昭夫	森林生態系と林業 生産	北海道演習 林	東京農業 大学生物 産業学部		3.4年	北海道
15	高橋 郁雄	北方林の生態観察	北海道演習 林	専修大学 北海道短 期大学	造園林学 科	2年	北海道
16	宮本 義憲	天然林更新と施業	北海道演習 林	長野県林 業大学校		2年	北海道
17	中村 昇	樹木に対する知識 習得	北海道演習 林	富良野高 等技術専 門学院	建築科		北海道
18	梶 幹男	森林植物学実習	秩父演習林	農学部	林学科	3年	秩父
19	八木 久義	森林土壌学実習	秩父演習林	農学部	林学科	3年	愛知
20	芝野 博文 原 孝秀 渡部 賢 井上 淳	測量学実習	愛知演習林	農学部	林学科	3年	愛知

### 3 研究活動

#### (1) 試験研究課題一覧

番号	分野名	林名	課題	開始	終了
1	生態系	千葉	森林成長試験	1916	永久継続
2	生態系	千葉	野生動植物の保護・管理	1967	永久継続
3	生態系	千葉	スギ、ヒノキ人工林における雑草木群落の動態	1968	2000
4	生態系	千葉	高齢人工林光合成生産測定試験	1975	未定
5	生態系	千葉	複層林造成に関する基礎的研究	1975	未定
6	生態系	千葉	スギ植栽密度比較試験	1980	未定
7	生態系	千葉	演習林におけるシカ等野生動物管理システムの確立	1980	未定
8	生態系	千葉	房総丘陵におけるモミ・ツガ天然林、広葉樹天然林の下層植生に及ぼすニホンジカの影響	1987	1997
9	生態系	千葉	ヤマビルの生態と防除	1989	1999
10	生態系	千葉	ヒメコマツこぶ病の研究	1991	1994
11	生態系	千葉	千葉演習林におけるカヤ天然木の保育施業に関する基礎調査	1993	2005
12	生態系	千葉	天然林の動態と植物季節	1993	1998
13	生態系	千葉	演習林及び周辺の樹木と菌類の観察	1993	1995
14	生態系	千葉	造網性クモ類の生態	1993	1995
15	生態系	千葉	房総半島におけるニホンジカの生態学的研究	1993	未定
16	生態系	千葉	地表徘徊性昆虫類の生態の解明	1993	未定
17	生態系	千葉	常緑広葉樹の葉の水分特性	1993	未定
18	生態系	千葉	伐採地における草本の二次遷移	1993	未定
19	生態系	千葉	アンモニア菌の発生機作に関する研究	1993	未定
20	生態系	千葉	尾根上に生育するスギ造林木の単木レベルでの水分生理状態の解明	1993	1996
21	生態系	千葉	房総丘陵のニホンザルの生態	1994	1998
22	生態系	千葉	ニホンジカによる造林木食害発生機構の解明	1994	未定
23	生態系	千葉	中新統の微化石による古環境解析	1994	1995
24	生態系	千葉	高木の葉のガス交換特性	1994	1995
25	生態系	千葉	森林に生息する大型土壤動物群集の構造と機能の解明	1995	1996
26	生態系	千葉	コガネグモ上科の生活史戦略	1995	未定

番号	分野名	林名	課題	開始	終了
27	生態系	千葉	常緑広葉樹林における林縁の再生群落の構造と動態	1995	未定
28	生態系	千葉	林内における常緑広葉樹の階層別の葉の変容解析	1995	未定
29	生態系	千葉	常緑広葉樹の葉の寿命と光合成量の関係	1995	未定
30	生態系	千葉	常緑広葉樹の葉のフェノロジー	1995	未定
31	生態系	千葉	様々な光条件におけるヒサカキの成長と表現型	1995	未定
32	生態系	千葉	泥岩中の有孔虫の偏向分布について	1995	未定
33	生態系	千葉	蛾類の分布調査	1995	未定
34	生態系	千葉	北海道に産する白亜紀から第三紀の石化植物化石	1995	未定
35	生態系	千葉	針葉樹化石種と現生種との比較検討	1995	未定
36	生態系	千葉	列状群状植栽による施業改善効果の評価と施業効果の確立	1995	未定
37	生態系	千葉	針葉樹数属に対するマツノザイセンチュウの病原性	1995	1995
38	生態系	千葉	千葉演習林における鳥類相に関する研究	1995	1998
39	生態系	千葉	シカによる林業被害発生メカニズム解明	1995	1998
40	生態系	千葉	コガネグモ上科の生活史戦略	1995	1998
41	生態系	千葉	サル・シカの生息保護地域の森林保全と改良に関する研究	1995	1997
42	生態系	北海道	クマゲラ ( <i>Dryocopus martius</i> ) の生態に関する研究	1960	1997
43	生態系	北海道	北海道産落葉広葉樹のフェノロジー	1960	2010
44	生態系	北海道	人工林育成技術と施業法に関する研究	1986	1995
45	生態系	北海道	風害地の森林形成過程に関する研究	1986	1995
46	生態系	北海道	北方系樹種に対する寄生菌類の検索と主要菌類の生態解明	1990	1999
47	生態系	北海道	森林害虫の防除に関する研究	1990	1995
48	生態系	北海道	トンネル工事による開口部周辺の動植物に与える影響－北演東郷幹線水路用トンネルと国道140号トンネルとの比較－	1991	1997

番号	分野名	林名	課題	開始	終了
49	生態系	北海道	亜寒帯林における森林衰退現象の実態把握と環境要因の解析	1992	1995
50	生態系	北海道	溪畔林における森林の構造および動態	1994	2024
51	生態系	北海道	東アジアにおける地域の環境に調和した持続的生物生産技術開発のための基盤研究	1995	1999
52	生態系	北海道	シウリザクラ個体群の繁殖生態	1995	2004
53	生態系	秩父	穿孔虫類（キクイムシ類）の発生予察試験	1989	1998
54	生態系	秩父	ツキノワグマの個体群動態と管理	1990	2000
55	生態系	秩父	秩父地方山地帯天然林における種子落下量の年変動に関する研究	1991	1997
56	生態系	秩父	ヤマドリの個体群の生息数及び動態を表す指標の把握のための調査	1992	1995
57	生態系	秩父	森林地域における酸性雨等地球環境モニタリング体制の確立	1993	1995
58	生態系	秩父	秩父山地の気温の垂直分布に関する研究	1993	1997
59	生態系	秩父	大面積プロットによる秩父地方山地帯天然林生態系の解明	1994	1996
60	生態系	秩父	ブナ林樹冠部の節足動物相	1994	1996
61	生態系	秩父	ウグイスのさえずりにもとづく環境評価	1994	未定
62	生態系	秩父	共生菌の森林生態系における役割の解明	1994	未定
63	生態系	秩父	ブナ・イヌブナ林の生態	1994	1996
64	生態系	秩父	林冠のギャップと更新	1994	未定
65	生態系	秩父	ブナの適応的変異に関する研究	1994	1995
66	生態系	秩父	ブナ・イヌブナ実生の消長とそれに係わる要因解析	1995	1996
67	生態系	秩父	秩父地方山地帯天然林の林冠ギャップにおける稚・幼樹の動態と更新	1995	1996
68	生態系	秩父	モミの外生菌根に関する研究	1995	1996
69	生態系	秩父	秩父演習林における人工林の保育作業の検討	1995	1998
70	生態系	秩父	土捨て場跡地における植生の動態と環境条件	1995	1997
71	生態系	秩父	秩父演習林とその周辺に生息するニホンザルの生態と被害	1995	1997
72	生態系	秩父	ツキノワグマ雌の生活史戦略	1995	1998
73	生態系	秩父	ツキノワグマ雄の生態	1995	1995

番号	分野名	林名	課題	開始	終了
74	生態系	秩父	ノネズミの生息密度・利用空間と食物資源の関係	1995	1995
75	生態系	秩父	ノネズミの貯食行動と穴の利用形態	1995	未定
76	生態系	秩父	ウグイスの野外内分泌学的研究	1995	1996
77	生態系	秩父	オサムシの生態	1995	1995
78	生態系	秩父	国道140号開発に伴う環境アセスメント調査 (動物分野：地表徘徊性昆虫類)	1995	未定
79	生態系	秩父	溪流における大型有機物動態	1995	1995
80	生態系	秩父	ネズミ類によるブナ種子の利用	1995	1995
81	生態系	秩父	ツキノワグマの睾丸サイズの季節変化	1995	1995
82	生態系	秩父	秩父演習林における鳥類相に関する研究	1995	1998
83	生態系	秩父	大型獣(クマ、シカ、カモシカ)によるすみわけと食いわけについて	1995	1998
84	生態系	愛知	熱帯・亜熱帯土壌の保全や再生に関する研究	1994	1995
85	生態系	愛知	大面積プロットによる秩父地方山地帯天然林生態系の解明	1994	1996
86	生態系	愛知	強酸性黒色土の生成機構の解明	1995	1997
87	生態系	愛知	酸性雨による森林生態系被害の制御に関する研究	1995	2000
88	生態系	愛知	マツタケのシロの立地環境特性の解明	1995	2000
89	生態系	愛知	二次林成長プロセスのモデル化とその応用	1995	2000
90	生態系	愛知	愛知演習林における鳥類相に関する研究	1995	1998
91	生態系	富士	ブナの発芽成長試験	1993	未定
92	生態系	樹研	特用樹種の造林に関する研究	1944	2005
93	生態系	樹研	南伊豆におけるスギ・ヒノキ人工林の成長解析	1965	2005
94	生態系	樹研	針葉樹人工林の保育管理に関する研究	1965	2005
95	生態系	樹研	人工造林地の多段林への誘導に関する研究	1992	2005
96	生態系	樹研	暖帯林構成樹種の発芽および更新特性の解明	1992	1999
97	生態系	樹研	熱帯マメ科樹木の硫酸酸性土壌耐性に関する研究	1993	1996
98	生態系	樹研	フタバガキ科樹種の育苗条件の検討	1994	1996
99	生態系	樹研	ブナ人工林の育成に関する研究	1994	1998

番号	分野名	林名	課題	開始	終了
100	生態系	樹研	ミズメ人工林の育成に関する研究	1994	1998
101	生態系	樹研	用土の種類によるフタバガキ科樹木の芽生えの成長のちがい	1995	1996
102	生態系	樹研	フタバガキ科樹木の形態形成及び生理特性に関する研究	1995	1999
103	生態系	樹研	布製ポットを用いたユーカリの育苗に関する研究	1995	1996
104	生態系	樹研	樹芸研究所植物目録の作成に関する調査・研究	1995	1997
105	生態系	田無	環境ストレス下におけるアカシア根粒の形成と機能に関する研究	1993	1999
106	生態系	田無	Dispersal Ecology of Coniferous Aphids	1993	1995
107	生態系	田無	ヒノキのストレスに対する樹体反応	1994	1995
108	生態系	田無	マツ材線虫病における宿主抵抗性の細胞生物学的解析	1994	1996
109	生態系	田無	ヒノキ漏脂病の被害軽減技術開発のための発病機構の解明	1994	1997
110	生態系	田無	ヒノキのストレスに対する樹体反応	1994	1995
111	生態系	田無	酸性雨が土壤動物、食葉性昆虫に与える影響	1995	1995
112	生態系	田無	モミジニタイケアブラムシの個体群動態	1995	1995
113	生態系	田無	ゴミグモ属の生活史戦略	1995	1995
114	生態系	田無	土壤動物と林相の関係	1995	1995
115	生態系	田無	アオキ群落と大型土壤動物の関係	1995	1995
116	生態系	田無	Dispersal ecology of coniferous aphids	1995	1995
117	生態系	田無	カエデの生物季節とモミジニタイケアブラムシの個体群動態	1995	1995
118	生態系	田無	ナラタケの生物学的種と病原性	1995	1995
119	生態系	田無	材線虫病の病徴進展とマツノサイセンチュウの行動	1995	1996
120	生態系	田無	接ぎ木を利用した環境ストレス耐性樹木創出技術の確立	1995	1999
121	生態系	田無	アカマツ実生の無条件下における菌根合成法の検討	1995	1997
122	生態系	田無	マツ属8種の菌根菌接種効果に関する研究	1995	1998

番号	分野名	林名	課題	開始	終了
123	生態系	田無	林道開設にともなう、林床植生の生理的変化に関する研究	1995	1998
124	生態系	田無	樹木病害におけるエチレン生成と組織変化	1995	1995
125	生態系	田無	材線虫病の病徴進展とマツノザイセンチュウの行動	1995	1996
126	生態系	田無	酸性雨が土壤動物、食葉性昆虫に与える影響	1995	1995
127	生態系	田無	モミジニタイケアブラムシの個体群動態	1995	1995
128	生態系	田無	土壤動物と林相の関係	1995	1995
129	生態系	田無	アオキ群落と大型土壤動物の関係	1995	1995
130	生態系	田無	カエデの生物季節とモミジニタイケアブラムシの個体群動態	1995	1996
131	生態系	田無	ゴミグモ属の生活史戦略	1995	1996
132	生態系	田無	田無試験地におけるクモ類相の調査	1995	1996
133	生態系	研究部	ブナ人工林の造成に関する研究	1992	1997
134	遺伝子	千葉	千葉演習林における天然生保護樹の生育状況	1927	永久継続
135	遺伝子	千葉	天然生ヒメコマツの分布	1970	未定
136	遺伝子	千葉	マツノザイセンチュウ抵抗性マツの選抜育種	1981	1998
137	遺伝子	北海道	トドマツの垂直分布に伴う変異	1970	2010
138	遺伝子	北海道	森林遺伝資源の保全と利用に関する研究	1986	1995
139	遺伝子	北海道	針葉樹若齢木のヤング係数測定法の検討と選抜育種	1993	1995
140	遺伝子	北海道	DNAフィンガープリント法によるカラマツ属交雑家系の遺伝構造の解明	1994	1997
141	遺伝子	北海道	カラマツ属の分類ならびに種間雑種の形質多様性	1994	2003
142	遺伝子	北海道	エゾマツとアカエゾマツの種間雑種の遺伝的多様性の評価	1995	1996
143	遺伝子	北海道	新しい森林管理法「家系管理法」の確立	1995	1997
144	遺伝子	北海道	車道開設にともなう樹木個体群の遺伝構造の変化	1995	1997
145	遺伝子	北海道	ブナの遺伝構造ならびに生態特性の地理変異	1995	1999
146	遺伝子	秩父	コゲラ個体群の生態的・分子生物学的な比較	1992	1998
147	遺伝子	秩父	産地別ブナ苗木のフェノロジーと諸形質の比較	1994	1995

番号	分野名	林名	課題	開始	終了
148	遺伝子	秩父	ツキノワグマの外部形質の個体差	1995	1996
149	遺伝子	樹研	導入ユーカリ属樹木の現地適応試験	1982	1999
150	遺伝子	樹研	導入アカシア属樹木の現地適応試験	1986	1999
151	遺伝子	樹研	組織培養によるフタバガキ科樹木の増殖に関する研究	1992	1996
152	遺伝子	樹研	組織培養による熱帯産アカシア ( <i>A. mangium</i> , <i>A. auriculiformis</i> , <i>A. mangium</i> × <i>A. auriculiformis</i> ) の増殖に関する研究	1992	1997
153	遺伝子	樹研	フタバガキ科樹種の挿し木	1994	1995
154	遺伝子	樹研	フタバガキ科樹木のさし木繁殖に関する研究	1994	1995
155	遺伝子	樹研	ブナのフェノロジーに関する研究	1994	1999
156	遺伝子	樹研	モリシマアカシアのクローン造林に関する研究	1995	1999
157	遺伝子	樹研	乾燥耐性アカシアの探索	1995	1999
158	遺伝子	樹研	ユーカリ属樹木のクローン増殖に関する研究	1995	1999
159	遺伝子	樹研	ヒノキ人工林の育成過程における遺伝的多様性の変化	1995	1999
160	遺伝子	樹研	暖帯広葉樹林の持続的保全と遺伝的多様性維持に関する研究	1995	1999
161	遺伝子	樹研	樹芸研究所保存樹木の選定と登録に関する研究	1995	1999
162	遺伝子	樹研	竹林の遺伝的多様性に関する研究	1995	1996
163	遺伝子	樹研	タケ・ササ類の組織培養に関する研究	1995	1995
164	遺伝子	樹研	マメ科の根粒菌の収集と保存に関する研究	1995	1999
165	遺伝子	樹研	根粒菌株による熱帯産マメ科樹木の成長促進作用の違いに関する研究	1995	1999
166	遺伝子	田無	ナラタケの生物学的種とその生態的性質の解明	1993	1995
167	遺伝子	田無	中国産ポプラの耐乾燥性の生理機構解明	1994	1996
168	遺伝子	田無	中国産耐乾性ポプラのストレス実験による生理特性の究明	1995	1995
169	遺伝子	田無	マツ材線虫病の誘導抵抗性機構	1995	1996
170	遺伝子	田無	カラマツ類の生態生理	1995	1997
171	遺伝子	田無	新しい森林管理法「家系管理法」の確立	1995	1997

番号	分野名	林名	課題	開始	終了
172	遺伝子	田無	ナラタケの生物学的種と病原性	1995	1995
173	遺伝子	田無	カラマツ類の生理生態	1995	1997
174	遺伝子	研究部	天然性ヒノキの育種的利用に関する研究	1985	1999
175	遺伝子	研究部	天然林の遺伝的多様性維持に関する研究	1992	1997
176	遺伝子	研究部	稀少樹木遺伝子資源の保全に関する研究	1992	1997
177	遺伝子	研究部	耐乾燥性ポプラ属樹木の遺伝変異および遺伝子保存に関する研究	1993	1995
178	遺伝子	研究部	フタバガキ科樹木の増殖に関する研究	1993	1995
179	遺伝子	研究部	クローン林業によるバイオマス生産に関する研究	1994	1999
180	遺伝子	研究部	ヒノキ人工林造成に伴うの遺伝的多様性の変化	1995	1999
181	遺伝子	研究部	耐乾燥性新樹木の創出	1995	1999
182	遺伝子	研究部	高耐乾燥性樹木遺伝資源の探索	1995	1997
183	情報・システム	千葉	森林環境保全のための非皆伐施業体系の確立	1990	未定
184	情報・システム	千葉	森林調査支援システムの開発	1994	1995
185	情報・システム	千葉	GPSとレーザ測距計を利用したハイブリッド測位による森林調査手法の開発	1995	1996
186	情報・システム	北海道	山岳森林における循環路網の有効性と形成メカニズム	1990	1994
187	情報・システム	北海道	大型機械伐出による立木および林地に及ぼす影響ー全木集材と天然更新との関係ー	1990	1995
188	情報・システム	北海道	傾斜林地での育林作業システムの開発	1992	1997
189	情報・システム	北海道	森林地域における地球環境モニタリング	1993	1995
190	情報・システム	北海道	天然林施業における素材生産作業システムの適正化	1993	1995
191	情報・システム	北海道	林業と木材工業の結びつきによる森林と人間の新たな関わりに関する研究	1994	1995
192	情報・システム	北海道	森林資源の持続的利用技術と基盤整備	1994	1996
193	情報・システム	北海道	天然林択伐素材生産作業における作業システムと更新	1995	1997
194	情報・システム	北海道	地域森林資源利用システムと素材生産作業技術高度化	1995	1997
195	情報・システム	北海道	林分構造と林内微気象	1995	1997

番号	分野名	林名	課題	開始	終了
196	情報・システム	北海道	林内視認性の研究	1995	1997
197	情報・システム	北海道	森林地理情報システム (GIS) の構築	1995	1997
198	情報・システム	北海道	高精度地理情報利用システムの構築	1995	1997
199	情報・システム	北海道	森林の資源・環境の質的管理と利用限界	1995	1996
200	情報・システム	北海道	林野制度史に関する研究	特定せず	特定せず
201	情報・システム	北海道	アイヌ民族抑圧と北海道開拓史＝演習林経営史に関する研究	特定せず	特定せず
202	情報・システム	北海道	林業地代と鉱山地代に関する研究	特定せず	特定せず
203	情報・システム	北海道	寄せ場に関する研究	特定せず	特定せず
204	情報・システム	秩父	道路開設が森林に与える影響	1987	未定
205	情報・システム	秩父	秩父演習林自然環境保全調査	1995	1995
206	情報・システム	秩父	総合大学における演習林の新たな利用のあり方について	1995	1995
207	情報・システム	愛知	衛星・航空機・地上同時観測データを用いた多元的高分解能の流域環境解析	1993	1995
208	情報・システム	愛知	都市住民の利用と地域環境保全を目的とする森林レクリエーションに関する研究	1995	1995
209	情報・システム	樹研	樹芸研究所地理情報システムの構築に関する研究	1994	1998
210	情報・システム	樹研	樹芸研究所データベースシステムの構築に関する研究	1994	1998
211	情報・システム	樹研	樹芸研究所路網計画に関する調査・研究	1995	1999
212	情報・システム	研究部	森林管理システムと森林所有・利用に関する研究	1990	1999
213	水資源	千葉	小流域量水試験	1991	未定
214	水資源	千葉	流水による岩盤侵食	1993	未定
215	水資源	千葉	千葉演習林内河川の水質モニタリング調査	1994	未定
216	水資源	千葉	新第三紀山地での森林水文現象の解明	1994	1999
217	水資源	千葉	対象流域法による森林－環境系の応答解析	1994	1999
218	水資源	千葉	第三紀砂岩層地域における土層回復と植生	1995	未定
219	水資源	北海道	林分施業法のシステム化に関する研究	1986	1995
220	水資源	北海道	流域管理に関する基礎的研究	1986	1995
221	水資源	北海道	種の特性に着目した北方天然林の林分構成の解析	1993	1995

番号	分野名	林名	課題	開始	終了
222	水資源	秩父	大規模山岳道路の開設が小河川の水質に及ぼす影響	1986	1997
223	水資源	愛知	対照流域法による森林-環境系の応答解析	1994	1997
224	水資源	愛知	火山帯における雨水流出・地形発達の相互作用に関する比較水文学的研究	1994	1996
225	水資源	愛知	膨大な水文気象資料の効率的保存法と高速データベース化手法の開発	1994	2000
226	水資源	愛知	都市近郊林の整備・保全と中小都市の水資源自給に関する研究	1995	2000
227	水資源	愛知	愛知演習林試験流域の流出解析	1995	1996
228	水資源	愛知	飽和-不飽和浸透モデル検証のための水収支・土壌水分観測	1995	1996
229	水資源	愛知	愛知演習林北谷・南谷の流出解析	1995	2000
230	水資源	愛知	白坂南谷流域における蒸発散と土壌水分の季節変動と流出との関連	1995	1996
231	水資源	愛知	長期観測資料を用いた森林影響の研究	1995	1997
232	水資源	愛知	植生の長期変化過程の数量化	1995	1997
233	水資源	愛知	飽和-不飽和浸透モデル検証のための水収支、土壌水分観測計画（犬山ライシメータ）	1995	1996
234	水資源	愛知	愛知演習林試験流域の流出解析	1995	1996
235	水資源	愛知	愛知演習林北谷・南谷の流出解析	1995	2000
236	水資源	田無	武蔵野台地における地下水涵養機構に関する研究	1994	1995

## 4 研修（1994年度）

### (1) 技官

No.	研修名	研修場所	参加人数	演習林
1	新規採用職員研修	東京大学	2	千葉
2	技術官等試験研究研修会議	愛知演習林	4	千葉
3	初任者植物観察研修	千葉演習林清澄管内	3	千葉
4	千葉演習林における路網計画について	千葉演習林清澄学生宿舍	41	千葉
5	試験地管理及び調査業務研修	千葉演習林清澄・札郷・郷台作業所	36	千葉
6	春期業務研修発表会	千葉演習林清澄学生宿舍	22	千葉
7	秋期業務研修発表会	千葉演習林清澄学生宿舍	22	千葉
8	日本林学会北海道支部春季研修	札幌	2	北海道
9	日本林学会北海道支部秋季大会	北見	5	北海道
10	北海道大学演習林技術職員研修	苫小牧	2	北海道
11	東京大学教室系技術職員研修	東京	1	北海道
12	技術官等試験研究・研修会	愛知演習林	2	北海道
13	北海道林務部林業技術研究発表会	札幌	5	北海道
14	帯広営林支局業務研究発表会	帯広	10	北海道
15	旭川営林支局業務研究発表会	旭川	8	北海道
16	北海道営林局業務研究発表会	札幌	5	北海道
17	森林総合研究所北海道支所研究発表会	札幌	12	北海道
18	育種技術研修会	影森	15	秩父
19	育林技術研修	大血川管内	15	秩父
20	直営生産事業安全講習会	栃本管内	15	秩父
21	平成6年度技術官等試験研究研修	愛知演習林	3	秩父
22	国道140号現地検討委員会現地研修会	山梨県三富村	10	秩父
23	林業フォーラム講演会	農林振興センター	3	秩父
24	タワーヤード集材研修会	大滝村強石	4	秩父
25	退職職員の技術伝承研修会	事務所	秩父演習林全員	秩父
26	平成6年度教室系技術職員初任者研修	東京大学	1	秩父
27	年度当初愛知演習林利用者研究会議	赤津作業所	20	愛知
28	平成6年度技術官等・試験研究・研修会議	赤津作業所	37	愛知
29	東海地区農学部附属演習林技術職員研修	静岡大学農学部附属上阿多古演習林	1	樹研
30	林内光環境と稚樹の生理特性に関する技術研修	樹芸研究所	4	樹研
31	根粒菌分離に関する技術研修	樹芸研究所	2	樹研
32	植物群落調査技術研修	樹芸研究所	4	樹研

33	植物群落調査技術研修	樹芸研究所	1	樹研
34	教室系技術職員初任者研修	東京大学	1	事務部
35	教室系技術職員コンピュータ研修	東京大学	1	事務部

## (2) 事務

No.	研修名	研修場所	参加人数	演習林
1	春期業務研修	千葉演習林清澄 学生宿舎	4	千葉
2	秋期業務研修	千葉演習林清澄 学生宿舎	4	千葉
3	平成6年度契約事務担当者事務研修	東京大学	1	千葉
4	中堅職員研修	札幌	1	北海道
5	給与実務担当者研修会	札幌	1	北海道
6	平成6年度契約事務担当者実務研修	東京大学	1	秩父
7	新規採用職員研修	東京大学	2	事務部
8	中堅職員研修	東京大学	1	事務部
9	掛主任研修	東京大学	2	事務部
10	人事事務担当者実務研修	東京大学	1	事務部
11	会計事務担当者実務研修	東京大学	1	事務部
12	契約事務担当者実務研修	東京大学	2	事務部
13	東京大学職員英会話研修	東京大学	1	事務部

## (3) 安全

No.	研修名	研修場所	参加人数	演習林
1	安全労働研修	千葉演習林清澄 作業所	40	千葉
2	救急法に関する講習会	北海道演習林	58	北海道
3	林内作業の安全対策講習会	北海道演習林	62	北海道
4	交通安全講習会	北海道演習林	74	北海道
5	健康管理講習会	北海道演習林	74	北海道
6	防災訓練参加見学	秩父市尾田時小 学校		秩父

## (4) 山火事

No.	研修名	研修場所	参加人数	演習林
1	山火事予防、警戒冬季研修	千葉演習林演習 林清澄管内	30	千葉
2	山火事予防、警戒春期研修	千葉演習林演習 林郷台作業所	30	千葉
3	消防訓練	北海道演習林	85	北海道

## 5 国際交流（1994年度）

### (1) 国際シンポジウム

No.	教官名	シンポ名	主催	開催地
1	大里 正一	持続的森林経営に関するユフロ国際研究集会	東京大学農学部 附属演習林	北海道富良野市
2	山本 博一	持続的森林経営に関するユフロ国際研究集会	東京大学農学部 附属演習林	北海道富良野市
3	仁多見俊夫	持続的森林経営に関するユフロ国際研究集会	東京大学農学部 附属演習林	北海道富良野市
4	倉橋 昭夫	持続的森林経営に関するユフロ国際研究集会	東京大学農学部 附属演習林	北海道富良野市
5	木佐貫博光	持続的森林経営に関するユフロ国際研究集会	東京大学農学部 附属演習林	北海道富良野市
6	八木 久義	JIRACAS International Symposium	熱帯農業研究センター	筑波
7	芝野 博文	International Symposium on Forest Hydrology	IUFRO-J	八王子
8	芝野 博文	Workshop on Erosion Control through Volcanic Hydrological Approach	インドネシア国公共事業省研究開発局水資源開発研究所（水工研）及び日本砂防学会	"Yogyakarta Indonesia"
9	奈良 一秀	BIO-REFOR	FRIM	マレーシア
10	熊谷 洋一	持続的森林経営に関するユフロ国際研究集会	東京大学農学部 附属演習林	北海道富良野市
11	熊谷 洋一	日韓造園学会国際シンポジウム	韓国造景学会	ソウル大学農学部
12	大橋 邦夫	持続的森林経営に関するユフロ国際研究集会	東京大学農学部 附属演習林	北海道富良野市
13	井出 雄二	持続的森林経営に関するユフロ国際研究集会	東京大学農学部 附属演習林	北海道富良野市

## (2) 外国人研究者の来訪

No.	研究者氏名	国籍	来訪目的
1	楊	台湾	視察
2	林文亮	台湾	視察
3	呉順昭	中国	視察
4	方偉	中国	視察
5	A.G.D.ホワイト	ニュージーランド	持続的森林経営ならびに演習林の学外評価についての討議
6	金坂基	韓国	林内光環境と稚樹の生理特性
7	スカルティ・ニンシー	インドネシア	フタバガキ科樹木の増殖
8	金鐘元	韓国	遺伝子資源の保存状況調査
9	方偉	中国	日本産竹類の栽培と分類に関する研究
10	Paul.Fuller	ニュージーランド	緑化と森林施業
11	Anthony.Cox	イギリス	林分施業法
12	Mohd.Hasan Bin Harun 他1名	マレーシア	天然林施業
13	ホリオ・タカオ・イノウエ 他1名	ブラジル他	カラマツ試験地
14	Thomas.Crow	USA	森林生態系を重視した森林管理
15	Arne.Rosvik	ノルウェー	植物相調査
16	Than narin. Na.Nakom 他17名	タイ他	森林施業計画
17	Oemi.Hani <sup>1</sup> in.SCESENO	インドネシア	天然林施業と育種
18	M.N.Salleh 他29名	インドネシア他	持続的森林経営
19	Tanit.Nuyim	タイ王室林野局	天然林施業
20	Darndinaure ngiin.E	モンゴル	森林管理計画 カラマツ育苗・育林
21	ジョニーカオル サン	インドネシア	愛知演習林における治山・森林水文研究視察
22	ステファヌス	インドネシア	愛知演習林における治山・森林水文研究視察

## (3) 外国出張

No.	教官名	出張先	出張目的
1	大里 正一	国立台湾大学及び演習林	森林利用に関する研究
2	仁多見俊夫	中国、ハルビン	ユフロ国際集会「山岳林での集材技術」講演出席
3	中村 昇	オーストラリア	環太平洋木構造国際会議に出席、発表のため
4	梶 幹男	台湾	台湾大学実験林内各種森林の見学研修
5	石田 健	オーストリア・ポーランド	国際鳥学会会議出席・ピアロピアジャ国立公園、森林見学
6	八木 久義	" Saopaulo,Belem, Manaus,Brazilia, BRAZIL"	文部省国際学術研究推進のための現地調査
7	八木 久義	" Nairobi,Kitsui, KENYA"	国際協力事業団による社会林業プロジェクトに関わる現地調査及び指導
8	芝野 博文	" Yogyakarta, Bandung,INDONESIA"	科学技術庁委託研究推進のための現地調査
9	芝野 博文	" Yogyakarta, INDONESIA"	Workshop on Erosion Control through Volcanic Hydrological Approach に出席し、メラピ火山火砕流災害を視察する為
10	奈良 一秀	マレーシア	BIO-REFOR参加のため
11	箕輪 光博	中国	北京林業大学における講義および林業部企画院・林業科学院における討議・情報交換
12	熊谷 洋一	韓国	日韓学術シンポジウム
13	熊谷 洋一	中国	特別講義（北京林業大学）
13	井出 雄二	マレーシア	熱帯林再生技術開発促進事業マレーシア国内現地検討会出席のため
14	手塚 重郎	韓国	日韓造園学術交流シンポジウムに参加のため

## (4) 共同研究

No.	教官名	研究テーマ	共同研究者氏名	国籍
1	大里 正一	森林利用に関する研究	呉順昭（国立台湾大学教授）	中国
2	芝野 博文	火山地域における土砂災害予測手法の開発に関する国際共同研究のうち火山体水収支に関する研究	Dr.Badruddin Machbub	インドネシア

## 6 出版・広報活動（1994年度）

### (1) 演習林報告

号	論文No.	論文題目	著者
91	1	広葉樹優良材の価格形成と販売方法について-東京大学北海道演習林を事例として-	久保山裕史
	2	わが国における温泉地の空間構成に関する研究(Ⅱ)-近代における温泉地空間の変遷-	下村 彰男
	3	1990年11月下旬に秩父山地甲武信ヶ岳周辺の亜高山針葉樹林で発生した雨氷害	梶 幹男 沢田 晴雄 五十嵐勇治 佐々木潔州
	4	雑種ポプラの葉柄培養による植物体再生と不定芽形成能力の品種間差異	井出 雄二 栗田 直明 康 才明
	5	わが国の国立公園の計画管理の実態とその変遷に関する研究(Ⅱ)-利用計画と管理-	堀 繁
92	1	ユーカリ属培養細胞におけるフェニルアラニンアンモニアリアーゼ活性(第2報)-培地構成成分の影響	寺田 珠実 山口 隆司 善本 知孝 佐分 義正
	2	東京大学千葉演習林に生育したスギ5品種の生長と材質特性	三城 昭義 金 炳魯 野崎 隆俊 岡野 健
	3	温室内で育成した <i>Acacia auriculiformis</i> 一年生苗のえき芽の培養による植物体再生	渡邊 良広 井出 雄二 池田 裕行
	4	林冠閉鎖前のスギ幼齢林の葉現存量変化に対する密度の影響	丹下 健 小島 克己 八木 久義 鈴木 誠
	5	景観情報処理システムの開発と応用に関する研究	斎藤 馨

号	論文No.	論文題目	著者
92	6	東京大学千葉演習林における林型の地理的分布	龍原 哲 南雲秀次郎 鈴木 誠 斎藤 馨
	7	水食い材乾燥における残留水分の原因について	信田 聡
	8	マツノマダラカミキリの人工飼育法の検討	Ismail Aloo 片桐 一正
	9	林道開設に伴う経済効果に関する研究	安村 直樹 永田 信
	10	タワーヤードによる間伐作業システムと適正路網密度	朴 相俊 岩岡 正博 酒井 秀夫 小林 洋司

## (2) 演習林

号	項目	題名	著者
33	100周年記念資料	風韻	成瀬 善高
	〃	輪植期・輪伐期-千演の造林状況を考える	平田 種男
	〃	千葉演の思い出	佐藤 修
	〃	演習林の思い出	芝本 武夫
	農学部附属演習林	東京大学演習林気象報告 (自1993年1月至1993年12月)	

## (3) 著書

No.	著書名	著者
1	グリーンえっせんす4 -森のはなし-	大里 正一
2	自然との共生をめざして (岡島 成行編)	蒲谷 肇
3	造林学 -基礎の理論と実践技術-	八木 久義
4	自然環境アセスメント技術マニュアル	斎藤 馨

## (4) 創設100周年記念関係

No.	誌名	題名
1	学内広報No.1005	農学部附属演習林で100周年記念式典開催される

(5) その他

No.	誌名	題名
1	視察案内資料	千葉演習林視察案内資料1994
2	学内広報No.994	総長、北海道演習林を視察
3	学内広報No.998	持続的森林経営に関するユフロ(IUFRO)国際研究集会の開催
4	学内広報No.1000	樹海をまもる
5	学内広報No.1003	北海道演習林で国際林学研究集会 (IUFROふらの' 94) 開催される
6	学内広報No.1005	平成6年度森林体験セミナー行われる

## 7 科学研究費・受託研究等によって行われた研究（1994年度）

### (1) 科学研究費

No.	教官名	研究種目	研究課題	研究代表者名	研究代表者所属
1	山中 征夫	一般研究C	ヤマビルの生態に関する基礎的研究	山中 征夫	千葉演習林
2	前原 忠	一般研究B	エゾマツの衰弱・枯損と根圏の生態	片桐 一正・ 古田 公人	千葉演習林
3	大里 正一	一般研究A	亜寒帯林における森林衰退現象の実態把握と環境要因の解析	大里 正一	千葉演習林
4	大里 正一	試験研究B	広葉樹枝払い機能付ハーベスタの開発に関する研究	湊 克之	北海道大学農学部附属演習林
5	山本 博一	一般研究C	種の特性に着目した北方天然林の林分構造の解析	山本 博一	北海道演習林
6	山本 博一	一般研究C	森林資源の持続的利用技術と基盤整備	仁多見俊夫	北海道演習林
7	山本 博一	一般研究A	亜寒帯林における森林衰退現象の実態把握と環境要因の解析	大里 正一	千葉演習林
8	山本 博一	試験研究B	システム収穫表の実用ソフトウェアの開発に関する研究	木平 勇吉	東京農工大学
9	仁多見俊夫	一般研究C	森林資源の持続的利用技術と生産基盤	仁多見俊夫	北海道演習林
10	仁多見俊夫	一般研究C	種の特性に着目した北方天然林の林分構造の解析	山本 博一	北海道演習林
11	倉橋 昭夫	一般研究C	トドマツの垂直分布に伴う遺伝的変異に関する研究	倉橋 昭夫	北海道演習林
12	倉橋 昭夫	一般研究C	針葉樹若齢木のヤング係数測定法の検討と選抜育種	中村 昇	北海道演習林
13	倉橋 昭夫	総合研究A	地球温暖化に伴う温帯・北方系樹種の生態遺伝育種に関する研究	井出 雄二	研究部

No.	教官名	研究種目	研究課題	研究代表者名	研究代表者所属
14	倉橋 昭夫	一般研究A	亜寒帯林における森林衰退現象の実態把握と環境要因の解析	大里 正一	千葉演習林
15	倉橋 昭夫	一般研究B	エゾマツの衰弱・枯損と根圏の生態	古田 公人	東京大学農学部
16	倉橋 昭夫	試験研究A	森林地域における酸性雨等地球環境モニタリング体制の確立	藤原滉一郎	北海道大学農学部
17	高橋 郁雄	一般研究A	亜寒帯林における森林衰退現象の実態把握と環境要因の解析	大里 正一	千葉演習林
18	高橋 郁雄	一般研究B	エゾマツの衰弱・枯損と根圏の生態	古田 公人	東京大学農学部
19	高橋 郁雄	一般研究C	トドマツの垂直分布に伴う遺伝的変異に関する研究	倉橋 昭夫	北海道演習林
20	有沢 浩	一般研究A	亜寒帯林における森林衰退現象の実態把握と環境要因の解析	大里 正一	東京大学農学部 附属千葉演習林
21	中村 昇	一般研究C	針葉樹若齢木のヤング係数測定法の検討と選抜育種	中村 昇	東京大学農学部 附属北海道演習
22	中村 昇	一般研究C	トドマツの垂直分布に伴う遺伝的変異に関する研究	倉橋 昭夫	東京大学農学部 附属北海道演習
23	中村 昇	一般研究A	亜寒帯林における森林衰退現象の実態把握と環境要因の解析	大里 正一	千葉演習林
24	木佐貫博光	奨励研究A	DNAマーカーを用いた北方林構成樹種の遺伝構造の解明	木佐貫博光	北海道演習林
25	木佐貫博光	総合研究A	地球温暖化に伴う温帯・北方系樹種の生態遺伝育種に関する研究	渡邊 定元	研究部
26	木佐貫博光	一般研究C	種の特性に着目した北方天然林の林分構造の解析	山本 博一	北海道演習林

No.	教官名	研究種目	研究課題	研究代表者名	研究代表者所属
27	梶 幹男	試験研究A	森林地域における酸性雨 当地球環境モニタリング 体制の確立	藤原滉一郎	北海道大学農学部
28	梶 幹男	一般研究B	大面積プロットによる秩 父地方山地帯天然林生態 系の解明	梶 幹男	秩父演習林
29	蒲谷 肇	一般研究B	大面積プロットによる秩 父地方山地帯天然林生態 系の解明	梶 幹男	秩父演習林
30	石田 健	一般研究C	コゲラ個体群の生態的・ 分子生物学的な比較	石田 健	秩父演習林
31	石田 健	一般研究B	大面積プロットによる秩 父地方山地帯天然林生態 系の解明	梶 幹男	東京大学農学部 附属演習林
32	八木 久義	国際学術研究	ブラジルにおける湿潤と 半乾燥熱帯における樹木 の適応戦略に関する研究	西沢 利栄	東京成徳大学 人文学部
33	八木 久義	総合研究B	地球環境計画における土 壌生態系の拡大とその管 理システムの構築	木村 真人	名古屋大学 農学部
34	八木 久義	一般研究A	酸性硫酸塩土壌の特徴及 び強酸性化現象にともな う樹木の生理反応と耐性 種の検索	佐々木恵彦	東京大学農学部
35	八木 久義	一般研究B	エゾマツの衰弱・枯損と 根圏の生態	古田 公人	東京大学農学部
36	芝野 博文	総合研究A	火山体における雨水流出・ 地形発達 of 相互作用に関す る比較水文学的研究	小橋 澄治	京都大学農学部
37	芝野 博文	総合研究A	衛星・航空機・地上同期観 測データを用いた多元的高 分解能の流域環境解析	西尾 邦彦	東京大学農学部
38	芝野 博文	一般研究B	水源かん養林施業法策定の ための蒸発散損失過程解析	芝野 博文	東京大学農学部

No.	教官名	研究種目	研究課題	研究代表者名	研究代表者所属
39	芝野 博文	一般研究B	大面積プロットによる秩父地方山地帯天然林生態系の解明	梶 幹男	秩父演習林
40	芝野 博文	総合研究A	森林蒸発散量の総合的比較計測によるモデル化	鈴木 雅一	東京大学農学部
41	宝月 岱造	一般研究B	マツ材線虫病における宿主抵抗性の細胞生物学的解析	寶月 岱造	田無試験地
42	宝月 岱造	一般研究B	日本産ナラタケの生物学的種と生態的性質の解明	鈴木 和夫	東京大学農学部
43	熊谷 洋一	試験研究B	地理情報システムと樹木成長モデルを用いた森林景観予測システムの開発	熊谷 洋一	東京大学農学部
44	熊谷 洋一	一般研究B	都市住民の利用と地域環境保全を目的とする森林レクリエーションに関する研究	熊谷 洋一	東京大学農学部
45	大橋 邦夫	一般研究A	亜寒帯林における森林衰退現象の実態把握と環境要因の解析	大里 正一	千葉演習林
46	斎藤 馨	試験研究B	地理情報システムと樹木成長モデルを用いた森林景観予測システムの開発	熊谷 洋一	東京大学農学部
48	斎藤 馨	一般研究B	都市住民の利用と地域環境保全を目的とする森林レクリエーションに関する研究	熊谷 洋一	東京大学農学部
49	斎藤 馨	一般研究C	広域景観計画のための景観ポテンシャル評価の実証的研究	斎藤 馨	研究部
50	斎藤 馨	試験研究B	インターネットによる各種の植物園間のマルチメディアネットワークの構築	鈴木 雅一	筑波大学 芸術学系

## (2) 民間等との共同研究

No.	教官名	研究課題	共同研究者
1	前原 忠	多摩川およびその流域の都市化と環境保全	(財) 日本自然保護協会 (とうきゅう環境浄化財 団助成研究)
2	石田 健	環境庁希少野生動植物種等生息状況調査	(財) 日本野鳥の会研究 センター
3	石田 健	「豊かな森」を実現するための森林性鳥獣の保護管 理手法の確立に関する研究	(社) 大日本猟友会
4	八木 久義	熱帯降雨林の再生技術の開発に関する研究	住友林業株式会社
5	斎藤 馨	緑景観の保全形成に関する基礎調査	日本林業技術協会

## (3) 受託研究

No.	教官名	研究課題	委託機関
1	山本 博一	秩父演習林自然環境調査	建設省
2	梶 幹男	秩父演習林自然環境調査	建設省
3	石田 健	秩父演習林自然環境調査	建設省
4	芝野 博文	火山体水収支に関する研究	建設省
5	大橋 邦夫	秩父演習林自然環境調査	建設省

## (4) 奨学寄付金

No.	教官名	研究課題
1	大里 正一	大型高性能機械による伐出作業跡地に関する研究
2	大里 正一	マツノザイセンチュウ抵抗性アカマツ・クロマツの選抜育種に関する研究
3	山本 博一	林業と木材工業の結びつきによる森林と人間の新たな係わりに関する研究

## 8 学外各種委員会（1994年度）

No.	教官名	委員会名称	委員会所轄団体
1	山中 征夫	千葉県鳥獣保護委員会	千葉県
2	佐倉 詔夫	千葉県史編さん 維管束植物・植生執筆委員会	(財) 千葉県史料研究財団
3	大里 正一	森林審議会	千葉県
4	大里 正一	林業機械検査委員会	林業機械化協会
5	大里 正一	日本林学会評議委員会	日本林学会
6	大里 正一	国土利用計画審議会	千葉県
7	仁多見俊夫	機械開発委員会	(社) 林業機械化協会
8	有沢 浩	希少野生動物等の生息および森林施業の調査	(社) 北海道森林技術センター
9	梶 幹男	林業技術編集委員会	林業技術協会
10	梶 幹男	RDB群落編作業委員会	日本自然保護協会
11	梶 幹男	自然環境保全基礎調査植生分科会	環境庁自然保護局
12	蒲谷 肇	千葉県史自然誌系維管束植物・植生執筆委員会	(財) 千葉県史研究財団
13	蒲谷 肇	天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会	千葉県富津市・君津市
14	石田 健	森林科学編集委員会	日本林学会
15	石田 健	目録編集委員会	日本鳥学会
16	石田 健	生態系総合モニタリング調査検討委員会	(財) 日本自然保護協会
17	八木 久義	国際協力事業団林業協力分野プロジェクト委員会	国際協力事業団
18	八木 久義	農用地整備公団熱帯林保全農業・農村開発基礎調査委員会	農用地整備公団
19	八木 久義	海外林業研究会	国際緑化推進センター
20	八木 久義	環境庁酸性雨対策検討会	環境庁
21	八木 久義	森林・木材資源利用先端技術推進協議会編集委員会	森林・木材資源利用先端技術推進協議会
22	八木 久義	国際緑化推進センター海外森林酸性雨被害対策調査委員会	国際緑化推進センター
23	八木 久義	林業分野プロジェクト方式技術協会に係る国内委員会委員	文部省学術国際局

No.	教官名	委員会名称	委員会所轄団体
24	芝野 博文	地球環境観測委員会	宇宙開発事業団地球観測システム本部
25	芝野 博文	砂防学会事業部会	(社) 砂防学会
26	芝野 博文	Organizing Committee of Workshop on Erosion Control through Volcanic Hydrological Approach	Experimental Station for Sediment Control Structure Agency for Research and Development Ministry of Public Works
27	宝月 岱造	学術審議会専門委員会	文部省
28	箕輪 光博	技術士試験委員	(社) 日本技術士会
29	箕輪 光博	林学研究連絡委員会	日本学術会議事務局長
30	熊谷 洋一	環境影響評価制度研究会技術専門委員	環境庁
31	熊谷 洋一	国土審議会調査部会自然環境専門委員会委員	国土庁
32	熊谷 洋一	東京都新宿区みどりの推進審議会委員	東京都新宿区
33	井出 雄二	熱帯林再生技術研究組合技術開発委員会	熱帯林再生技術研究組合
34	井出 雄二	試験専門委員	人事院
35	斎藤 馨	群馬県省力森林土木広報等開発検討委員会 景観対策専門部会	日本林業土木コンサルタンツ
36	埴田 好	千葉県鳥獣保護委員会	千葉県
37	糟谷 重夫	千葉県鳥獣保護委員会	千葉県

## 9 業務関係

(1) 林相別面積集計表 (単位: ha)

	合計	樹林地							竹林	伐採跡地	未立木地	その他
		計	人工林			天然林						
			小計	針葉樹	広葉樹	小計	針葉樹	広葉樹				
千葉	2,170	2,098	861	861	0	1,237	0	1,237	1	4	9	58
北海道	22,825	19,816	3,412	3,177	235	*16,404	-	-	0	0	1,839	1,170
秩父	5,821	5,758	767	749	18	4,991	117	4,873	0	0	0	64
愛知	1,292	1,252	380	378	2	872	-	-	0	0	0	40
富士	35	35	35	31	4	0	0	0	0	0	0	0
樹研	246	214	132	73	59	82	0	82	0	0	0	32
田無	9	3	3	2	1	0	0	0	0	0	3	3
合計	32,399	29,176	5,591	5,272	319	23,586	117	6,192	1	4	1	1,366

(備考)

\*: 北海道演習林天然林の内訳

針葉樹林 1,160ha (針葉樹蓄積が75%以上占める天然林)

広葉樹林 2,316ha (広葉樹蓄積が75%以上占める天然林)

針広混交林 12,928ha

(2) 林相別蓄積集計表 (単位: m<sup>3</sup>)

	計	人工林	天然林
千葉	257,260	179,368	77,892
北海道	3,678,000	258,000	3,420,000
秩父	760,677	134,030	626,647
愛知	195,565	58,751	136,814
富士	2,835	2,835	0
樹研	36,993	26,427	10,566
田無	194	194	0
合計	4,931,524	659,605	4,271,919

(備考)

(3)1994年度 立木伐採量 (単位：m<sup>3</sup>)

	合計	伐採材積(主伐)							間伐材積
		計	人工林			天然林			
			小計	針葉樹	広葉樹	小計	針葉樹	広葉樹	
千葉	立木処分	3,198	3,030	2,997	33	168	54	113	1,457
	直営生産								38
	その他								
	合計	3,198	3,030	2,997	33	168	54	113	1,496
北海道	立木処分	24,526				24,526	16,638	7,888	5,039
	直営生産	7,970				7,970	6,433	1,537	
	その他								
	合計	32,496				32,496	23,071	9,425	5,039
秩父	立木処分	40	3	3		37		37	
	直営生産								265
	その他								
	合計	40	3	3		37		37	265
愛知	立木処分	159	150	150		9	5	4	67
	直営生産								
	その他								
	合計	159	150	150		9	5	4	67
富士	立木処分								
	直営生産								
	その他								
	合計								
樹研	立木処分								
	直営生産								
	その他								
	合計								
田無	立木処分								
	直営生産								
	その他	9	9	*9					
	合計								
合計	立木処分	27,922	3,183	3,150	33	24,739	16,697	8,042	6,563
	直営生産	7,970	0	0	0	7,970	6,433	1,537	304
	その他	9	9	9	0	0	0	0	0
	合計	35,901	3,191	3,158	33	32,709	23,130	9,579	6,867

(備考) \*: 松くい虫被害木

## (4)1994年度 育林実行量 (単位: ha、本)

	更新		保育	備考
	面積	植栽本数		
千葉	4.2	11,826	49.3	
北海道	32.3	48,860	319.5	一般造林
	37.1	17,800	92.2	天然補助造林
秩父	0.1	440	104.3	
愛知	0.8	2,701	-	
富士	24.9	-	-	
樹研	1.7	1,229	5.6	
田無	-	-	-	
合計	101.1	82,856	570.9	

(備考)

## (5)1994年度 植栽樹種 (本数)

	千葉	北海道		秩父	愛知	富士	樹研	田無	合計
		一般造林	天然補助造林						
スギ	7,820			440					8,260
ヒノキ	1,400			700	2,240				4,340
アカマツ	2,606				461				3,067
トドマツ		22,000	3,800						25,800
アカエゾマツ		23,300	9,920						33,220
エゾマツ			4,080						4,080
イヌエンジュ		1,390							1,390
カツラ		1,400							1,400
ハリギリ		770							770
ユーカリ							410		410
イヌマキ							528		528
オニグルミ							55		55
ムク							236		236
アブラギリ							222		222
合計	11,826	48,860	17,800	1,140	2,701	-	1,451	-	83,778

(備考)

(6)1994年度 素材生産総括表 (単位：m<sup>3</sup>、%)

		立木			素材			歩留	
		計	針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹	針葉樹	広葉樹
千葉	立木処分								
	直営生産	51	45	7	38	34	4	76	60
	その他								
	合計	51	45	7	38	34	4	-	-
北海道	立木処分								
	直営生産	7,970	6,433	1,537	5,875	4,902	973	76	60
	その他								
	合計	7,970	6,433	1,537	5,875	4,902	973	-	-
秩父	立木処分	40	10	30					
	直営生産	265	265		205	205		77	
	その他								
	合計	305	275	30	205	205		-	-
愛知	立木処分	226	222	4					
	直営生産								
	その他								
	合計	226	222	4					
富士	立木処分								
	直営生産								
	その他								
	合計								
樹研	立木処分								
	直営生産								
	その他								
	合計								
田無	立木処分								
	直営生産								
	その他								
	合計								
合計	立木処分	266	232	34					
	直営生産	8,287	6,743	1,544	6,118	5,141	977		
	その他								
	合計	8,552	6,975	1,578	6,118	5,141	977		

(備考)

## (7)1994年度 土木実行総括表 (単位：m)

	自動車道新設	自動車道維持	自動車道改修	歩道維持	渡り橋修理
千葉	226	25,559		64,255	
北海道	23,400	371,500	90,200		
秩父		60,426			
愛知		3,400		6,300	
富士					
樹研	68	6,728		2,344	1箇所
田無					
合計	23,694	467,613	90,200	72,899	1箇所

(備考)

## (8)道路現況 (単位：m、m/ha)

	車道延長				歩道延長	
	自動車道延長	作業道延長	計	m/ha	延長	m/ha
千葉	30,784		30,784	14.0	126,181	58.0
北海道	113,900	769,700	883,600	38.7		
秩父	9,589	1,834	11,423	2.0	216,071	37.1
愛知	11,840	1,500	13,340	10.3	12,400	9.6
富士						
樹研	3,151		3,151	12.8	11,753	47.8
田無						
合計	169,264	773,034	942,298	-	366,405	-

(備考)

## (9)防火線現況 (単位：m)

	幅員	延長
千葉	10	464
北海道		
秩父		
愛知		
富士		
樹研		
田無		
合計	10	464

## 10 事務関係 (1994年度)

## (1) 人事異動

1994年4月1日付け

新官職名	氏名	旧官職名
農学部林学科 文部教官 教授	南雲 秀次郎	農学部附属演習林長
農学部附属演習林長 愛知演習林演習林長 田無試験地主任	熊谷 洋一	農学部林学科 文部教官 教授
秩父演習林長 研究部長	箕輪 光博	農学部附属演習林 研究部 文部教官 教授
農学部附属演習林 研究部 講師	斎藤 馨	農学部附属演習林 研究部 助手
農学部附属演習林 愛知演習林 講師	芝野 博文	農学部附属演習林 秩父演習林 講師
農学部附属演習林 事務長補佐	則武 讓	経理部経理課 経理課長補佐
原子力総合センター 総務主任 庶務掛長	渡邊 正昭	農学部附属演習林 庶務掛長
環境安全研究センター 事務主任	加々見 晋一	農学部附属演習林 用度掛長
宇宙科学研究所契約課 契約第二掛長	入手 藤雄	農学部附属演習林 管財掛長
文部省体育局体育課	伊藤 正則	農学部附属演習林 管財掛
農学部附属演習林 会計主任 用度掛長	小嶋 壮介	医学部附属病院分院 業務主任
農学部附属演習林 庶務掛長	道鎮 正雄	分子細胞生物学研究所 庶務掛長

新官職名	氏名	旧官職名
農学部附属演習林 管財掛長	佐々 信吉	原子核研究所 用度掛契約主任
農学部附属演習林 管財掛	瀧口 節生	国立科学博物館 庶務部会計課
千葉演習林調査掛 文部技官	藤平 晃司	新規採用
千葉演習林土木掛 文部技官	里見 重成	新規採用
樹芸研究所 文部技官	辻 和明	新規採用

1994年8月1日付け

新官職名	氏名	旧官職名
農学部附属演習林 教授 愛知演習林長	八木 久義	農学部 助教授 林学科
農学部附属演習林長 田無試験地主任	熊谷 洋一	農学部附属演習林長 愛知演習林長 田無試験地主任

1994年10月1日付け

新官職名	氏名	旧官職名
農学部附属演習林 助手 研究部	奈良 一秀	森林総合研究所 研究員 養分動態研究室
農学部 助手 応用動物科学専攻	宮下 直	農学部附属演習林 助手 研究部
医学部 用度掛 契約主任	及川 政光	北海道演習林 会計掛 予算主任
北海道演習林 会計掛 事務官	米田 久和	北海道演習林山麓作業所 調査第一掛 技術官

1994年11月1日付け

新官職名	氏名	旧官職名
農学部附属演習林 助手 田無試験地	奈良 一秀	農学部附属演習林 助手 研究部

1994年12月1日付け

新官職名	氏名	旧官職名
北海道演習林 調査企画掛 文部技官	宅間 隆二	新規採用

1995年1月1日付け

新官職名	氏名	旧官職名
農学部附属演習林 教授 田無試験地主任	宝月 岱造	農学部 助教授 林学科
農学部附属演習林長	熊谷 洋一	農学部附属演習林長 田無試験地主任

1995年2月1日付け

新官職名	氏名	旧官職名
秩父演習林 講師	蒲谷 肇	農学部附属演習林 助手 研究部

1995年3月31日付け

官職名	氏名	摘要
農学部附属演習林 事務長	手塚 重郎	定年退職
千葉演習林 文部技官	高濱 静子	定年退職
千葉演習林 文部技官	山下 美榮子	定年退職

官職名	氏名	摘要
千葉演習林 文部技官	黒川 由太郎	定年退職
北海道演習林 会計掛長	山坂 孜	定年退職
北海道演習林 文部技官	太田 重之	定年退職
北海道演習林 文部技官	五十嵐 孝男	定年退職
北海道演習林 文部技官	今西 肇	定年退職
秩父演習林 文部技官	中山 勇	定年退職
樹芸研究所 事務主任	笠井 徳人	定年退職

## (2) 歳入総括表

科目及び目の区分	収 納 済 歳 入 額			
	現金分	納入告知書等分	計	
(項) 雑収入				
(目) 学校財産貸付料	826,208	1,818	828,026	
土地貸付料	0	1,818	1,818	分任歳入徴収官徴収分のみ記載
建物及物件貸付料	826,208	0	826,208	
(目) 用途指定寄附金受入				
(目) 受託調査試験等収入		38,213,000	38,213,000	
受託研究調査試験 検査等収入				受託研究 38,213,000円
(目) 農場及演習林収入				
演習林収入	0	323,498,330	323,498,330	
(目) 労働保険料被保険者負担金	33,166 (244,424)	0 0	33,166 (244,424)	内訳：千 葉 33,166円 北海道 199,008円 秩 父 26,385円 愛 知 13,478円 本 部 5,553円
(目) 雑 入	0	2,468,423	2,468,423	
延納利子収入	0	2,465,943	2,465,943	演習林関係 2,465,943円
返納金	0	2,480	2,480	自賠償保険料の戻り2,480円

※下段 ( ) 書きは北海道・秩父・愛知・本部・(田無)の労働保険料被保険者負担金の合計額

## (3) 産物売払数量及び価格

区 分	立 木	素 材	その他	合 計
千葉演習林	4,654.963m <sup>3</sup> 93,913,970円	38.191m <sup>3</sup> 796,151円	660束 59,400円 (ヒサカキ)	94,769,521円
北海道演習林	29,564.85m <sup>3</sup> 121,477,170円	5,875.698m <sup>3</sup> 97,901,119円	10,000本 923,292円 (苗木)	220,301,581円
秩父演習林	39.58m <sup>3</sup> 66,000円	204.914m <sup>3</sup> 5,257,228円		5,323,228円
愛知演習林	226.66m <sup>3</sup> 3,104,000円			3,104,000円
合計	34,486.053m <sup>3</sup> 218,561,140円	6,118.803m <sup>3</sup> 103,954,498円	982,692円	323,498,330円

## (4) 歳出総括表

職 員 給 与	1,011,365千円
校 費	392,669千円
土 地 建 物 借 料	6,842千円
市 区 町 村 交 付 金	91,080千円
受 託 研 究	38,033千円
そ の 他	92,205千円
合 計	1,632,194千円

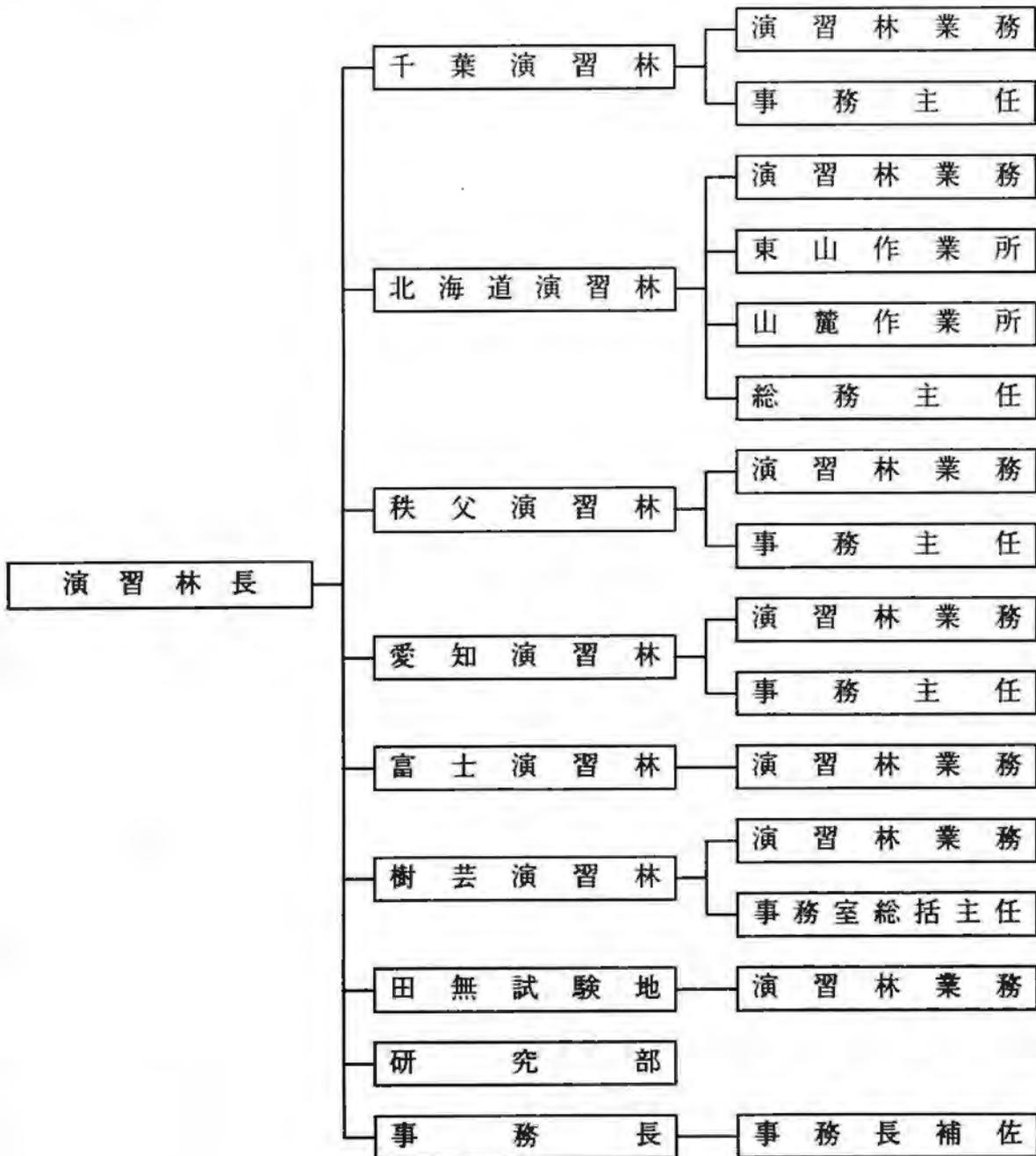
## (5) 歴代林長及び演習林機構図 (1996年3月31日現在)

## i 本部

## 1)歴代林長

氏名	任期期間	備考
川瀬善太郎	1898. 9. 9-1920. 9.28	林政
右田半四郎	1920. 9.29-1930. 3.31	経理
藺部 一郎	1930. 4. 1-1939. 3.31	林政
三浦伊八郎	1939. 4. 1-1941. 3.31	林産
吉田 正男	1941. 4. 1-1947. 6.10	経理
中村賢太郎	1947. 6.11-1950. 6.10	造林
三好 東一	1950. 6.11-1951. 3.31	林産
島田 錦蔵	1951. 4. 1-1954. 3.31	林政
中村賢太郎	1954. 4. 1-1956. 3.31	造林
藤林 誠	1956. 4. 1-1958. 1.10	利用
永田竜之助	1958. 2. 1-1961. 1.31	演習林
島田 錦蔵	1961. 2. 1-1964. 1.31	林政
荻原 貞夫	1964. 2. 1-1966. 4. 1	砂防
平井 信二	1966. 4. 2-1972. 3.31	木材物理
扇田 正二	1972. 4. 1-1974. 3.31	演習林
朝日 正美	1974. 4. 1-1975. 5.31	演習林
平田 種男	1975. 6. 1-1977. 3.31	経理
浅野猪久夫	1977. 4. 1-1982.10.31	木材物理
真下 育久	1982.11. 1-1985.10.31	造林
濱谷 稔夫	1985.11. 1-1988. 3.31	植物
福島 康記	1988. 4. 1-1991. 3.31	林政
南雲秀次郎	1991. 4. 1-1994. 3.31	経理
熊谷 洋一	1994. 4. 1-	風致

2)全体組織図



## 3)本部組織図

組織（主任職員）			配置職員（教職員）	
演習林長	教授	熊谷 洋一		
事務長		鈴木 利次		
事務長補佐		則武 讓		
会計主任		小嶋 壯介		
庶務掛	掛長	道鎮 正雄	事務官	遠藤久美子
	人事主任	座間 秀子	事務官	小林 正樹
会計掛	掛長	吉田農夫男	事務官	紺野喜久恵
	会計主任	金丸 敏眞		
用度掛	掛長（併）	小嶋 壯介	事務官	品川 陽一
管財掛	掛長	古川 松夫	事務官	瀧口 節生
			事務官	伊福 晃
研究部	部長・教授	大里 正一	教務職員	中山 正道
	（併）		事務官	三井 伸子
	助教授	大橋 邦夫	助手	安村 直樹
	助教授	井出 雄二	助手	松下 範久

## ii 千葉演習林

## 1) 歴代林長

氏名	任期期間	備考
松村 繁栄	1905. 8. -1909. 8.	助手
川原勘次郎	1909. 9. -1913. 5.	助教授
藺部 一郎	1913. 6. -1915. 8.	助教授
高島 規孝	1915. 9. -1923. 1.	助教授
牧 俊夫	1923. 2. -1936. 2.	助教授
高原 未基	1936. 3. -1954. 2.	教授
渡辺 資仲	1954. 3. -1969.12.	教授
糟谷 由助	1970. 1. 1-1981. 6.15	事務取扱 技官
金光 桂二	1981. 6.16-1984.11.31	教授
佐倉 詔夫	1984.12. 1-1985. 3.31	事務取扱 助手
根岸賢一郎	1985. 4. 1-1989. 3.31	教授
山根 明臣	1989. 4. 1-1993. 3.31	教授
大里 正一	1993. 4. 1-1996. 3.31	教授

## 2)千葉演習林組織図

組織（主任職員）		配置職員（教職員）	配置職員（非常勤職員）
林 長 教授	大里 正一		
林長補佐 講師	佐倉 詔夫		
事務掛 事務主任	若月八重子	事務官 野山 智 事務官 田山 勝則 事務官 石野 裕昭	山下 和子
宿泊管理掛 主任（併）	錫田 好		糟谷 育代 瀧川マサ子 鈴木 俊江 行方 和子
調査掛 主任・助手	石原 猛		
施設管財掛 主任	永島 初義	技 官 鈴木 祐紀	
施業掛 主任（併）	石原 猛		
生産処分掛 主任	粕谷伊佐義	技 官 村川 功雄 技 官 阿達 康真	
土木掛 主任	朝生 忠義	技 官 大石 諭	
造林掛 主任	糟谷 重夫	技 官 石川 敏明	
試験掛 主任・助手	鈴木 誠	助 手 山中 征夫 助 手 前原 忠 技 官 山中千恵子	
清澄作業所 主任	錫田 好	技 官 永島 利夫 技 官 大塚 明宏 技 官 藤平 晃司 技 官 里見 重成 技 官 菅野 信一	岡本 眸 原 照雄 三枝 博 朝生 義徳
札幌作業所 主任	唐鎌 勇	技 官 塚越 剛史 技 官 軽込 勉	糟谷 いさ 黒川よし子 鈴木 貞夫 鈴木ユキエ 川名 一夫
郷台作業所 主任	鶴見 康幸	技 官 米道 学	錫田美登里 錫田 英子 加藤 みよ 鈴木 保 榎本 進

## iii 北海道演習林

## 1) 歴代林長

氏名	任期期間	備考
三浦 常雄	1905. . -1923. .	
苫名孝太郎	1923. . -1929. .	
中山 正章,	1929. . -1941. .	
林 静一郎	1941. . -1942. 5.	
高橋 是清	1942. 5. -1974. 4.	
岩本己一郎	1974. 5. -1976. 3.	事務取扱
宮永 博章	1976. 4. -1978. 3.	事務取扱
柴田 前	1978. 4. -1978. 5.	事務取扱
畑野 健一	1978. 5. -1984. 7.	
仁王以智夫	1984. 8. -1985. 8.	事務取扱
渡邊 定元	1985. 9. 1-1990. 4.30	教授
大里 正一	1990. 5. 1-1993. 3.31	教授
山本 博一	1993. 4. 1-	助教授

## 2)北海道演習林組織図

組織（主任職員）		配置職員（教職員）		配置職員（非常勤職員）	
林 長	助教授	山本 博一			
林 長 補 佐	助教授 講師	仁多見俊夫 倉橋 昭夫			
総 務 主 任		日向 雅道			
庶 務 掛	掛長	間口 辰博	事務官 技 官	天山 学 大屋 裕子	穴澤三恵子
会 計 掛	掛長 經理主任 用度主任	横田 隆義 越智 俊子 五十嵐信春	事務官 事務官	米田 久和 横山 和宏	
管 財 掛	掛長	野沢 時彦	事務官	岡田 教和	
営 繕 掛	掛長（併）	野沢 時彦			
セミナーハウス（併）		間口 辰博	技 官（併）	伊藤 務	矢野勝次郎、松平 安雄 山本ハナ子、飯沼 芳子
業 務 主 任		河原 漢			
調査企画掛	主任	道上 昭夫	技 官 技 官	伊藤 務 犬飼 浩	
種苗造林掛	主任	鎌田 登	技 官	岡平 卓巳	
生産処分掛	主任	高田 功一	事務官（併）	越智 俊子	吉田 幸子、藤島ノブ子
土 木 掛	主任	五十嵐秀雄	技 官 技 官	稲葉 文吉 飯沼 利雄	佐々木政夫
資料管理掛	主任	高橋 康夫	技 官 技 官	岡村 行治 浅間 雅子	
試 験 掛			講 師 助 手 助 手 助 手 技 官	高橋 郁雄 有沢 浩 宮本 義憲 中村 昇 木佐貫博光 木村 徳志	伊原 悦子
東山作業所	主任	伊藤 義弘			
事 務 掛	事務主任	中島 満治			座間 悦子
造林第一掛	主任	小沢 慰寛	技 官	鈴木 憲	
造林第二掛	主任	島 強	技 官 技 官	清水目元一 大屋 一美	押切 春二、日向エイ子 若菜ヤイコ、鎌田 敬子 本田 サタ、大島スミ子 小川二二男、渡辺 徳男 藤原 澄子、影山 キヨ 佐藤 文子
生 産 掛	主任	岩本 進一	技 官 技 官 技 官	坂口 敏雄 井口 和信 福士 憲司 伊原 重男	荒木 壽幸、三和 謙一 芳賀 一雄、牧村 博 嶋田 博昭、千徳 勝洋
山麓作業所	主任	穴澤 力			
調査第一掛	主任	廣川 俊英	技 官 技 官 技 官	山本 勝彦 澤田 晴雄 笠原 久臣 宅間 隆二	
調査第二掛	主任	佐藤 烈	技 官 技 官 技 官	宍戸 憲司 高橋 範和 平田 雅和 小池 征寛	
山部樹木園	主任	小笠原繁男	技 官	高橋 稔	本田 サヨ、堀口 澄子 佐々木雅子、五十嵐嘉子 伊藤 君江、吉川 忠雄

## 1) 歴代林長

氏名	任期期間	備考
佐藤弥太郎	1916.12.23-1917. 6.30	
中村 軍良	1917. 7. 1-1921. 4.25	
牧 俊夫	1921. 4.26-1923. 2. 4	
川内義左衛門	1923. 2. 5-1926. 9.30	
西垣 晋作	1926.10. 1-1927. 6.29	兼職
中山 正章	1927. 6.30-1929. 9. 5	
望月 岑	1929. 9. 6-1930.11.18	
宮下 保雄	1930.11.19-1935. 3.30	
沢田 一郎	1935. 3.31-1936. 6. 3	
朝倉 發次	1936. 6. 4-1936. 8.27	代理
住田芳太郎	1936. 8.28-1957. 3.31	
佐藤 修	1957. 4. 1-1971. 3.31	
若林 義男	1971. 4. 1-1979. 3.31	事務取扱(1971-1978)
伊藤 幸也	1979. 4. 1-1985.10.31	事務取扱(1979-1981)
山根 明臣	1985.11. 1-1989. 3.31	
伊藤 幸也	1989. 4. 1-1993. 3.31	
南雲秀次郎	1993. 4. 1-1993.10.31	併任 本演林長
箕輪 光博	1993.11. 1-1995. 5.31	併任 教授
梶 幹男	1995. 6. 1-1996. 3.31	助教授～教授

## 2) 秩父演習林組織図

組織（主任職員）		配置職員（教職員）		配置職員（非常勤職員）
林 長 教授	梶 幹男			
事務掛	事務主任 根岸宗一郎 事務室主任 大畑喜久江	事務官 大村 栄 事務官 萩原 稔		柴崎テル子
施設・調査掛	主任 齋藤 登	技 官 五十嵐勇治 技 官 齋藤 俊浩		
造林掛	主任 山中 隆平	技 官 高野 充広		
生産処分掛	主任 佐々木和男			
土木掛	主任 千嶋 武			
試験掛	主任・講師 蒲谷 肇	助 手 石田 健 技 官 芝野 伸策 技 官 大村 和也		
栃本作業所	主任 大畑 茂	技 官 小河 民也 技 官 大村 幸正 技 官 神塚 武一		原田多恵子 澤登きわ子
大血川作業所	主任 田代 八郎	技 官 平野 和男		黒沢 音治 加藤 光三 千島啓之介
影森苗畑	主任（併） 山中 隆平			大森己知男

v 愛知演習林

1)歴代林長

氏名	任期期間	備考
乾 貞夫	1922. 9.14-1946. 9.29	
中島 圭一	1946. 9.30-1962. 3.15	
朝日 正美	1962. 3.16-1974. 3.31	
金光 桂二	1974. 4. 1-1977. 3.31	事務取扱
諸戸 清一	1977. 4. 1-1989. 7.31	事務取扱(1977-1981)、 講師(1981-1989)
西尾 邦彦	1989. 8. 1-1994. 3.31	教授
熊谷 洋一	1994. 4. 1-1994. 7.30	併任 本演林長
八木 久義	1994. 8. 1-	教授

## 2)愛知演習林組織図

組織（主任職員）	配置職員（教職員）	配置職員（非常勤職員）
林 長 教授 八木 久義		
林長補佐 講師 芝野 博文		
事務掛 事務主任 勝野 良則 事務室主任 春田まち子	事務官 加藤 正勝	
調査処分掛	技 官（併） 築瀬 憲次 技 官 荒木田善隆	
造林掛	技 官（併） 原 孝秀 技 官 後藤 太成	
土木営繕掛	技 官 渡部 賢	
試験掛 主任（併） 芝野 博文	助 手 春田 泰次 助 手 吉田 孝久 助 手 桐村 剛 技 官 荒木田きよみ	
赤津作業所 主任 原 孝秀 白坂苗畑	技 官 井上 淳	熊谷喜美子 大川くに子 胡桃沢 清 胡桃沢 晃子 横道ヨシエ 長尾志奈子
犬山作業所 主任 築瀬 憲次		伊藤半二郎
東山試験地	助 手 春田 泰次	
穴の宮試験地	技 官 後藤 太成	
新居試験地	講 師 芝野 博文	近藤よし江

## 1) 歴代林長

氏名	任期期間	備考
菌部 一郎	1925. . -1938. .	
三浦伊八郎	1939. . -1940. .	
吉田 正男	1941. . -1947. .	
中村賢太郎	1948. . -1950. .	
島田 錦蔵	1951. . -1953. .	
中村賢太郎	1954. . -1955. .	
藤林 誠	1956. . -1957. .	
永田竜之介	1958. . -1959. .	
島田 錦蔵	1960. . -1963. .	
荻原 貞夫	1964. . -1965. .	
平井 信二	1966. . -1971. .	
扇田 正二	1972. . -1973. .	
朝日 正美	1974. . -1976. .	
郷 正士	1977. . -1978. .	
前沢完次郎	1979. . -1987. .	
熊谷 洋一	1988. 4. 1-1989.12.31	併任 助教授
井出 雄二	1990. 1. 1-1993. 3.31	併任 助教授
大橋 邦夫	1993. 4. 1-1996. 3.31	併任 助教授

## 2) 富士演習林組織図

組織 (主任職員)	配置職員 (教職員)	配置職員 (非常勤職員)
林長 (併) 助教授 大橋 邦夫		
試験・業務掛	技 官 西山 教雄 技 官 千島 茂	高村 洋子 坂本 松雄 大森三千男

## 1) 歴代所長

氏名	任期期間	備考
渡辺 資仲	1943. 2.26-1954. 3.28	
渡辺 章	1954. 4. 9-1962.12. 1	
郷 正士	1963. 2. 1-1984. 4. 1	
若林 義男	1984. 4. 1-1989. 3.31	
大橋 邦夫	1989. 4. 1-1989. 7.31	事務取扱 助教授
諸戸 清一	1989. 8. 1-1993.11.30	併任 講師
井出 雄二	1993.12. 1-1996. 3.31	併任 助教授

## 2) 樹芸研究所組織図

組織 (主任職員)	配置職員 (教職員)	配置職員 (非常勤職員)
所長 (併) 助教授 井出 雄二		
所長補佐 助手 池田 裕行		
事務掛 総括主任 山田 博明 庶務主任 高橋 久恵		
試験掛 主任 (併) 池田 裕行	技官 渡邊 良広 技官 村瀬 一隆 技官 辻 和明	山田 必子 須藤 和子 土屋 福江
青野作業所 主任 鈴木 一郎		鈴木 光子 鈴木恵美子

## 1) 歴代主任

氏名	任期期間	備考
杉田 英時	1929.10.31-1943. 2. 8	雇
桜井 正衛	1943. 2. 9-1956. 3.	技官
八木喜徳郎	1956. 3.16-1962.11.30	助手
渡辺 章	1962.12. 1-1981. 3.31	教授
八木喜徳郎	1981. 4. 1-1991. 3.31	講師
渡邊 定元	1991. 4. 1-1992. 3.31	併任 教授
小久保 醇	1992. 4. 1-1994. 3.31	講師
熊谷 洋一	1994. 4. 1-1994.12.31	併任 本演林長
寶月 岱造	1995. 1. 1-1995. 7.30	教授
熊谷 洋一	1995. 8. 1-1996. 3.31	併任 本演林長

## 2) 田無試験地組織図

組織（主任職員）	配置職員（教職員）	配置職員（非常勤職員）
試験地主任（併） 教授 熊谷 洋一		
試験・業務掛	技 官 石塚 孝一 技 官 岩本 則長 技 官 栗田 直明	佐々木スミ子 尾林 誠一 澤島よし江

1 1 年間行事表 (1994年度)

月	行事内容
4	火防警戒・100周年記念植樹・日本大学農学部清澄山の植物観察(千葉)、東山森林愛護組合総会・富良野市林野火災予消防対策協議会・消防訓練・生産事業安全祈願祭・布部地区林野火災予防対策協議会・林野火災予防強調期間・麓郷森林愛護組合総会(北海道)、植樹祭・林学科森林土木学実験(秩父)、造林週間・予定案作成・植樹祭(愛知)、植樹祭・新植(樹研)、概算要求ヒアリング(本部)
5	造林研修・動植物不法採取取締特別巡林・林学科造林学実験・森林植物学実験・森林経理学実習・理学部地質学専攻地質調査法実習・千葉大学園芸学部スギ林内の生態調査(千葉)、植樹祭・山部地区森林愛護組合総会(北海道)、施業会議雁坂トンネル避難坑貫通式(秩父)、風致計画学実習(富士)、実行簿作成(樹研)、林学科造林学実験・森林動物学実験(田無)、四大学林長会議・全国大学演習林協議会春季総会・演習林100周年記念実行委員会・施設長・学科主任会議・国道140号線報告会・人事関係ヒアリング(本部)
6	理学部地質学専攻地質調査法実習・静岡大学理学部地質調査実習・千葉大学園芸学部スギ林内の生態調査・君津農林高校植物実習(千葉)、日本林学会北海道支部春季研修・一般定期健康診断(北海道)、奥秩父山開き・大血川庁舎竣工式・国際基督教大学野外実習(秩父)、東大砂防工学実習(愛知)、演習林交歓会(樹研)、部局長会議・会計実施検査(本部)
7	機械器具の点検整備講習会・林産学科林学実習・千葉大学園芸学部スギ林内の生態調査・静岡大学理学部地質調査実習・宇都宮大学農学部樹木学実習(千葉)、安全会議・教育学部附属高校実習(北海道)、筑波大学応用生物土壌実習・林学科森林利用学実験・森林植物学実験・森林動物学実験・森林土壌学実験(秩父)、量水堰堤砂出し・安全会議・利用者研究集会(愛知)、高校生学生実習(樹研)、林長交渉・地方林長会議・運営委員会(本部)
8	立木処分入札・TEPCOベアウォッチング・東京農工大学農学部土壌調査実習(千葉)、林学総合実習(北海道)、予算会議・秩父農工高校樹木実習(秩父)、林業講習所実習(富士)、予定案作成・予算会議(樹研)、各演習林事務主任会議(本部)
9	理学部植物学研究室生態学野外実習・京都大学理学部地質調査法野外実習(千葉)、胃・肺ガン検診・北海道地方演習林業務担当者会議・救急法に関する講習会・教養学部小人数講義(北海道)、防災訓練参加見学(秩父市主催)・直営生産事業安全講習・立教大学一般教養部博物館学芸員課程巡検実習・雁坂トンネル本坑貫通式(秩父)、立木調査・処分入札・予算会議(愛知)、工学部土木工学科実習(富士)、千葉大学実習(樹研)、定期健康診断・林学科森林動物学実験・造林学実験(田無)、全国大学演習林協議会秋季総会(本部)
10	土木工事入札(千葉)、北海道地方演習林協議会・日本林学会北海道支部秋季大会・IUFRO国際研究集会・林内作業の安全対策講習会(北海道)、森林体験セミナー開催(秩父)、林学会中部支部会・東大測量学実習・健康診断(愛知)、健康診断(樹研)、農水産関係学部事務協議会・四大学演習林事務長会議(本部)

月	行事内容
11	営繕関係調査・業務研修発表会・TEPCOペアウォッチング・千葉大学理学部地質学野外実習・木更津高校自然観察実習（千葉）、オスシカ猟解禁・特別健康診断（北海道）、内部会計監査・健康診断・武蔵大学人文学部生物学実験野外観察・入川林道開設工事入札（秩父）、給与内部監査（愛知）、内部会計実地監査（樹研）、林長交渉・演習林100周年記念式典（本部）
12	千葉演習林100周年記念式典・内部監査・給与監査・林学科測樹学実習（千葉）、特別健康診断・健康管理講習会・交通安全講習会（北海道）、事務所構内美化作業（秩父）、内部監査・営繕関係調査・事務所各作業所構内美化作業（愛知）、地方林長会議（本部）
1	野生鹿生息調査・教養学部生物学教室野外生物学実習（千葉）、素材入札（秩父）、予算会議（愛知）、岩樟園林道延長（4工区）工事入札（樹研）、技術官等試験研究・研修会議、林長交渉・任用関係ヒアリング・組織の廃止・転換・再編成等の検討状況について説明（本部）
2	火防警戒・業務研修発表会（千葉）、北海道林業技術研究発表会・各営林支局業務研究発表会（北海道）、影森職員宿舍下水道工事入札（秩父）、松くい虫被害木伐倒処理・薬剤散布（愛知）、ミズメ植栽（樹研）
3	金庫検査（千葉）、上川地区林野火災予消防対策協議会・麓郷ラングラウフ・森林総合研究所北海道支所研究発表会（北海道）、予算会議・金庫検査・自動枝打機入札（秩父）、名古屋大測量学実習・金庫検査・有名林業地視察（愛知）、地方林長会議・運営委員会（本部）
毎週	業務予定連絡会（千葉）、業務予定連絡会・山火事危険強調期間巡視日直（1994.4.22～1994.5.28、北海道）、山火事防止のための監視（1994.11.15～1995.2.15、秩父）
毎月	主任会議・事業計画会議（千葉）、主任会議（北海道）、主任会議（秩父）、定例会議・試験研究会議（愛知）、打ち合わせ会議（樹研）、演習林会議

演習林年報  
1995

平成8年3月31日

東京大学農学部附属演習林  
文京区弥生1丁目1番1号

印刷・製本 株式会社 芳文社